

Canon



imageFORMULA

DR-9050C
DR-6050C

ユーザーマニュアル
(機能詳細編)



DR-9050C



DR-6050C

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品に適合しています。

■ ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・ 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■ 商標および登録商標について

- ・ imageFORMULA は、キャノン電子株式会社の商標です。
- ・ Microsoft Windows® は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe, Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・ ISIS は、EMC Corporation. の米国における商標です。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびはキャノンドキュメントスキャナ「imageFORMULA DR-6050C/DR-9050C」をお買い求めいただきありがとうございます。

本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、本機をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みになり、本機の機能をよく理解してからお使いください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

マニュアルの構成について

本機のマニュアルは、製品に付属している「簡単スタートガイド」と「ユーザーマニュアル基本操作編」、ソフトウェアのインストールによりプログラムメニューに登録される「ユーザーマニュアル機能詳細編（本書）」、「CapturePerfect3.0操作ガイド」の電子マニュアルで構成されています。

簡単スタートガイド

本機を使うようになるまでのセットアップの手順について書かれています。本スタートガイドの手順に従って本機をセットアップしてください。

ユーザーマニュアル基本操作編

ユーザーマニュアル機能詳細編（本書）からの抜粋版で、本機の概要と、本機を使用するための基本操作について書かれています。

ユーザーマニュアル機能詳細編（本書）

「ハードウェア編」と「ソフトウェア編」で構成されています。

「ハードウェア編」では、本機のセットアップから取り扱い、メンテナンス、トラブルシューティングなど、本機を取り扱う項目全般について説明しています。

「ソフトウェア編」では、スキャナを使用するためのISIS/TWAINドライバと、ジョブ登録ツールの設定について説明しています。

CapturePerfect3.0 操作ガイド（電子マニュアル）

キャノンドキュメントスキャナ専用アプリケーション CapturePerfect3.0 の操作マニュアルです。



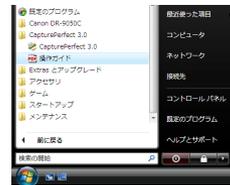
ヒント

- ユーザーマニュアル機能詳細編と、CapturePerfect 3.0 操作ガイドの電子マニュアルは、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されています。

ユーザーマニュアル機能詳細編



CapturePerfect3.0 操作ガイド



- すべてのマニュアルの電子マニュアルは、セットアップ CD から閲覧することができます。（→ P.2-5）



マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P.1- xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

本書の構成について

本書の構成は以下のようになっています。

■ ハードウェア編

第1章 お使いになる前に

本機の概要について説明します。

第2章 セットアップ

本機を使用するための動作環境とPCとの接続について説明します。

第3章 基本的な使用方法

本機の基本的な使用方法について説明します。

第4章 その他の機能

ユーザーモードやその他の機能について説明します。

第5章 メンテナンス

日常の清掃やローラーの交換などについて説明します。

第6章 こんなときは

メッセージの表示と困ったときの対処方法について説明します。

第7章 付録

仕様およびサポート情報について説明します。

■ ソフトウェア編

第8章 ISIS/TWAIN ドライバの設定

ISIS/TWAIN ドライバの設定について説明します。

第9章 ジョブ登録ツールの設定

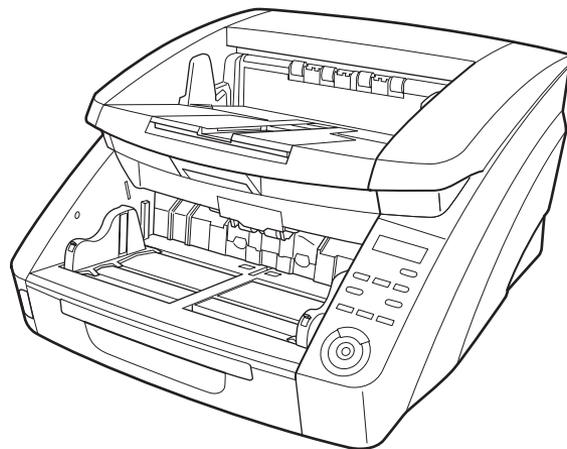
ジョブ登録ツールの設定について説明します。

第10章 こんなときは

ソフトウェアを設定する際の参考情報について説明します。

ユーザーマニュアル（機能詳細編）

「ハードウェア編」



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

目次

第1章 お使いになる前に

1. 安全にお使いいただくために	1-2
設置場所について	1-2
電源について	1-2
スキャナの移動	1-3
日常の取り扱いについて	1-3
廃棄について	1-4
2. 特長	1-5
3. 各部の名称と機能	1-8
前面、給排紙部	1-8
背面	1-9
操作パネル	1-10

第2章 セットアップ

1. セットアップの手順	2-2
2. 動作環境の確認	2-3
3. ソフトウェアのインストール	2-4
セットアップメニューについて	2-4
4. コンピュータとの接続	2-6
インターフェースコネクタの位置	2-6
コンピュータとの接続	2-6
5. 電源のオン（スキャナの認識）	2-9
電源スイッチについて	2-9
スキャナの認識	2-9

第3章 基本的な使用方法

1. 電源のオン/オフについて	3-2
電源スイッチについて	3-2
2. 原稿について	3-3
搬送できる原稿のサイズ	3-3
3. 給紙トレイ、排紙トレイの準備	3-6
給紙トレイの準備	3-6
原稿ガイドの調整	3-8
排紙トレイの準備	3-10

4. 給紙方法について	3-11
給紙方法の選択	3-11
5. スキャン	3-13
ジョブ機能について	3-13
CapturePerfect 3.0について	3-14
6. パッチコードシートの利用（オプション）	3-18
パッチコードシートについて	3-18
パッチコードシートの使い方	3-19
7. 紙詰まりや重送を検知したときの処理	3-20
紙詰まりの処理	3-20
重送を検知したときの処理	3-21

第4章 その他の機能

1. その他の機能および設定	4-2
2. 機能説明	4-4
3. ユーザーモード	4-8
ユーザーモードの操作手順	4-8
4. ユーザーモードの機能	4-10

第5章 メンテナンス

1. 日常のお手入れ	5-2
本体の清掃	5-2
センサーの清掃	5-2
読み取りガラスとローラーの清掃	5-3
電源プラグ	5-4
2. 給紙ローラーの交換	5-5
ローラーの交換時期	5-5
カウンタ（搬送枚数）の確認とリセット	5-6
ローラーの取り外し/取り付け	5-7
3. インクカートリッジの交換と清掃	5-14
（インプリンタをお使いの場合）	5-14
インプリンタについて	5-14
インクカートリッジの交換	5-14
印字位置の調整	5-17
インプリンタの清掃	5-17
インプリンタテスト	5-18

第6章 こんなときは

- 1. メッセージ 6-2
 - ステータス表示 6-2
 - エラーメッセージ 6-3
- 2. 困ったときは 6-5
 - トラブルの種類 6-5
 - 現象と対処方法 6-5
- 3. ソフトウェアのアンインストール 6-9
 - ISIS/TWAIN ドライバのアンインストール 6-9

第7章 付 録

- 1. 仕 様 7-2
 - 本体仕様 7-2
 - 別売品 7-3
 - 消耗品 7-3
 - 外形寸法図 7-4
- 2. オプション仕様 7-5
 - バーコード仕様 7-5
 - インプリンタ仕様 7-6
- 3. 保証とアフターサービス 7-7
 - 保証とアフターサービス 7-7
 - サービス&サポートのご案内 7-7
 - 保守サービスのご案内 7-8
- 4. 索引 7-10

第 1 章 お使いになる前に

1. 安全にお使いいただくために	1-2
設置場所について	1-2
電源について	1-2
スキャナの移動	1-3
日常の取り扱いについて	1-3
廃棄について	1-4
2. 特長	1-5
3. 各部の名称と機能	1-8
前面、給排紙部	1-8
背面	1-9
操作パネル	1-10

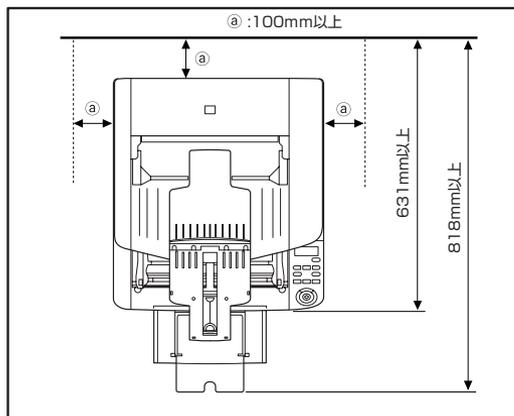
1. 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。

- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。

室温 10℃—32.5℃

湿度 20%—80%RH

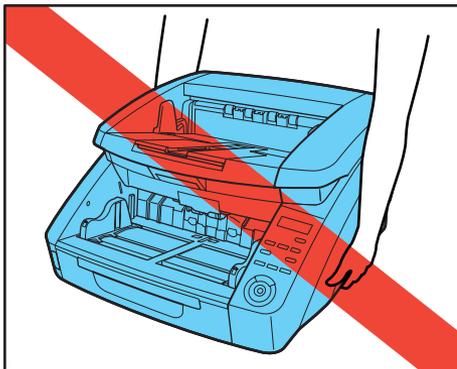
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

電源について

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- 電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。
- 安全のため、必ずアース線を接続してください。アース線は絶対にガス管や水道管には接続しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

スキャナの移動

- 本製品は、質量が約22.5kgあります。本製品を持ち上げたり移動させるときは、必ず両側から2人で持ち、絶対に1人で持ち上げたりしないでください。落としたり手をはさんだりして大ケガをすることがあります。また、移動の際は十分注意して移動させてください。



- スキャナを移動する場合は、インターフェースケーブルや電源コードを必ず外してください。ケーブル類を接続したまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷したり、本体を落としてけがをする原因になります。

日常の取り扱いについて



警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- リール式の延長コードを使用するときはすべてのコードを引き出して使用してください。コードをリールに巻き込んだ状態で長時間使用した場合、発熱や火災の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 本機の分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

 **注意**

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 通気孔をふさがないようにください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステープルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間で使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などは注意してください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源スイッチを切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄について

- 本機および付属品を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するかお買い求めの販売店にご相談ください。

2. 特長

本機的主要な特長は以下のとおりです。

スキャナ本体の特長

● 多様な読み取りモード

読み取りモードとして、以下のモードが用意されています。

「白黒」、「誤差拡散」、「アドバンスドテキストエンハンスメント」、「アドバンスドテキストエンハンスメントII」、「256 階調グレー」、「24 ビットカラー」

* アドバンスドテキストエンハンスメントは、原稿の背景や地色を処理して文字を読みやすくするモードです。

● 高速原稿給紙

白黒、グレースケール、カラーすべての読み取りモードでA4サイズの原稿を最大90枚/分（DR-9050Cの場合）で読み取ります。

* 読み取り条件：A4 縦 / 両面 / 200dpi

● 大容量給紙

給紙トレイには普通紙で最大500枚（DR-6050Cの場合は最大300枚）の原稿をセットすることができます。

● カウントオンリーモード

スキャナ単体で動作し、セットした原稿の枚数をカウントします。（→P.4-4「カウントオンリーモード」）

● 給紙トレイ位置の変更

給紙トレイの位置を原稿の枚数に合わせて変更することができます。（→P.3-6「給紙トレイの準備」）

● 長尺モード

ユーザーモードの設定により、最大3,000mmまでの長さの原稿をスキャンすることができます。（→P.3-4「長尺モードの設定」）

● ジョブ機能

スキャン条件、画像ファイルの保存先をジョブに登録し、操作パネルのキー操作のみでスキャンを実行することができます。（→P.3-13「ジョブ機能について」）

● フレキシブル原稿ガイド

左右の原稿ガイドを任意の位置に動かすことにより、原稿を左右に寄せてスキャンすることができます。

（→P.3-8「原稿ガイドの調整」）

● ユーザーモード

ユーザーモードの各機能により、スキャナの機能を任意に変更することができます。（→P.4-8「ユーザーモード」）

検知機能

● カラー白黒検知

スキャンした原稿が白黒原稿か、カラー原稿かを自動検知します。

● 自動原稿サイズ検知

スキャンした原稿のサイズを検知してスキャンします。



● 斜行検知

原稿が斜めに搬送され、原稿が搬送路の端に接触したことを検知して搬送を停止します。（→P.4-5「斜行検知」）

● ステープル検知

ステープルで綴じられた原稿を検知して搬送を停止します。（→P.4-6「ステープル検知」）

● 超音波重送検知

超音波センサーによって原稿の重なりを検知して搬送を停止します。（→P.4-5「重送検知」）

* 原稿に貼られたラベルなどを重送として検知させないようにするための非検知領域を設定できます。

- **長さによる重送検知**

原稿の長さの比較によって原稿の重なりを検知し、搬送を停止します。(→P.4-5「重送検知」)

* 1枚目の原稿の長さを基準とし、長さの異なる原稿が搬送されたときに重送を検知します。

- **プレスキャン**

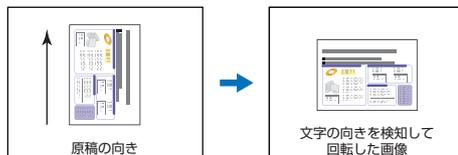
スキャンを開始したときに原稿を1枚スキャンして中断し、1枚目の画像で明るさとコントラストを調整してからスキャンを行います。

- **ベリファイスキャン**

カウントオンリーモードでカウントした枚数または、あらかじめ設定した枚数と、スキャンした枚数を照合しながらスキャンします。(→P.4-4「ベリファイスキャン」)

- **文字向き検知**

原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を90度単位で回転します。



画像処理

- **裏写り / 地色除去**

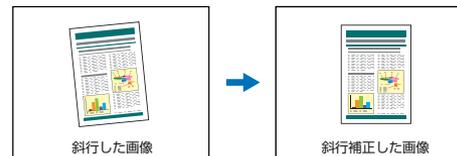
薄い原稿をスキャンしたときに起きる原稿の裏写りや原稿の地色を除去します。

- **画像回転**

スキャンした画像を90度単位で回転または、原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を90度単位で回転します。

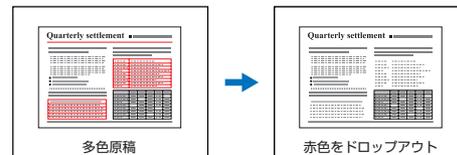
- **斜行補正**

スキャンした画像から原稿が斜めに搬送されたと判断したときに、画像をまっすぐに補正します。



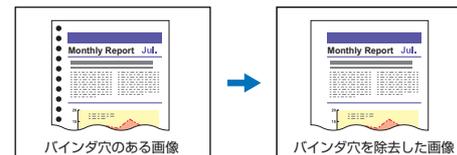
- **ドロップアウト / 色強調**

スキャン時に赤、青、緑色から1色を指定または中間色を色の範囲で指定して読み取らないようにするドロップアウト機能または、指定した色を強調する機能を備えています。



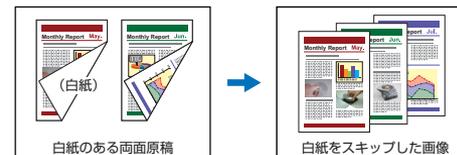
- **バインダ穴除去**

バインダに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い穴の部分を除去します。



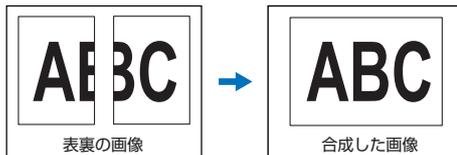
- **白紙スキップ**

原稿の両面をスキャンして、白紙として判断した面の画像の保存をスキップします。



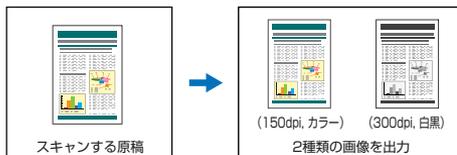
● 半折りスキャン

給紙口にセットできない原稿を半折りにして両面をスキャンし、スキャンした表裏の画像を 1 枚の画像に合成します。
(→P.4-6 「半折りスキャン」)



● マルチストリーム

用途に合わせて読み取り条件の異なる 2 つの画像を 1 回のスキャンで同時に出力することのできるマルチストリーム機能に対応しています。ただし、この機能は本機に付属している「CapturePerfect3.0」または、お使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合にのみ使用できます。



その他

● 継続モード

紙詰まりや重送など、原稿が正常に搬送されなかったことをセンサーが検知して搬送を停止したときに、スキャンを中断状態にするモードで、原稿を処理した後、異常を検知した原稿からスキャンを継続します。(→P.3-20 「紙詰まりや重送を検知したときの処理」)

* 継続モードは、「紙詰まり」、「重送」、「斜行」、「ステーブル」を検知して搬送が停止したときに有効です。

オプション

● インプリンタ

オプションとして、スキャンした原稿に印字することができます。

● バーコード検知

オプションのバーコードモジュールをインストールすることにより、原稿内のバーコードを検知することができます。

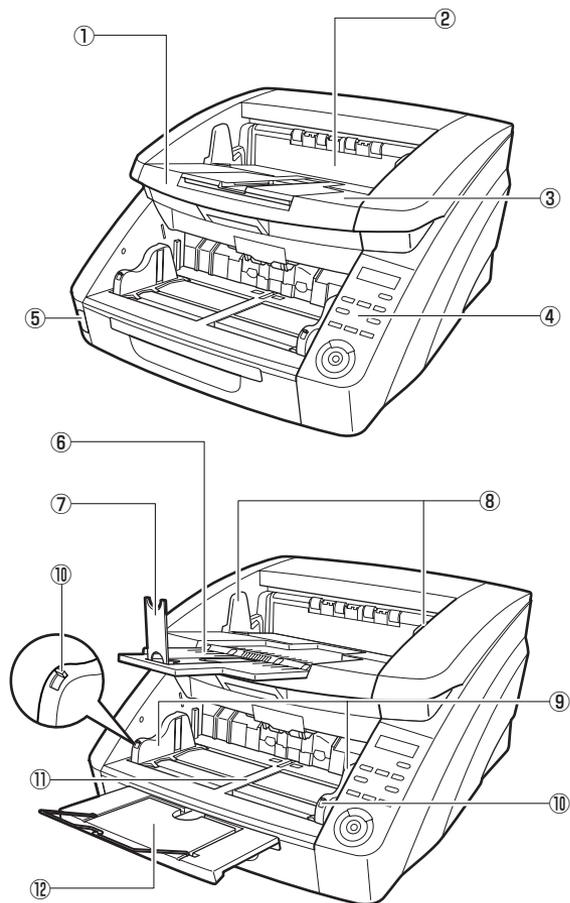
● パッチコード対応

オプションのパッチコードデコーダを装着することにより、原稿内に挿入されたパッチコードシートを検知してパッチ区切りを行うことができます。(→P.3-18 「パッチコードシートの利用」)

3. 各部の名称と機能

各部の名称と機能は以下のとおりです。

前面、給排紙部



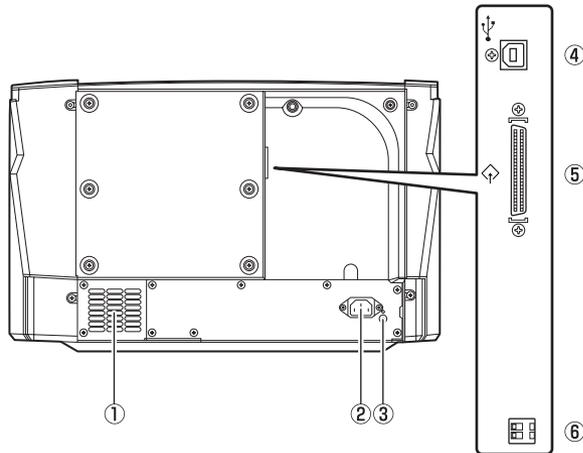
- ① 上部ユニット
原稿が詰まったときやローラーの清掃時に開きます。
(→P.3-20)
- ② インプリンタカバー
オプションのインプリンタのインクカートリッジを交換するときや、インプリンタの清掃時に開きます。(→P.5-14)
- ③ 排紙トレイ
スキャンした原稿が排出されます。(→P.3-10)
- ④ 操作パネル (→P.1-10)
- ⑤ 電源スイッチ
スキャナの電源をオン/オフします。(→P.3-2)
- ⑥ 排紙補助トレイ
原稿が排紙トレイから落ちるようなときに開きます。
(→P.3-10)
- ⑦ 排紙ストッパー
原稿の長さに合わせて調整することで、原稿の飛び出しを防ぎます。
(→P.3-10)
- ⑧ 排紙原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調整することで、排出される原稿をそろえます。
(→P.3-10)
- ⑨ 給紙原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調整します。(→P.3-7、P.3-8)
- ⑩ 原稿ガイドロックレバー
原稿ガイドをロックします。(→P.3-8)
- ⑪ 給紙トレイ
スキャンする原稿をセットします。(→P.3-6)
- ⑫ 給紙補助トレイ/ワイヤ
原稿の長さに合わせて引き出します。(→P.3-7)



注意

インプリンタカバーは、オプションのインプリンタが装着されていない場合には、開けないでください。

背面

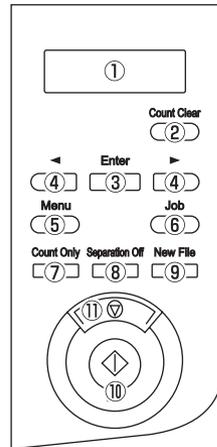


- ① 通気孔 (排気ファン)
本機内部の熱を排熱します。
- ② 電源コネクタ
付属の電源コードを接続します。(→ P.2-6)
- ③ アース端子
付属のアースを接続します。(→ P.2-6)
- ④ USB コネクタ (Type B)
付属の USB ケーブルを接続します。(→ P.2-6)
- ⑤ SCSI コネクタ (D-sub ハーフピッチ 50 ピン)
SCSI コネクタを接続します。(→ P.2-7)
- ⑥ ディップスイッチ (SCSI ID)
SCSI ID を設定します。(→ P.2-8)



注意 通気孔はふさがらないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

操作パネル



- ① **表示パネル**
ユーザーモードやジョブ、メッセージ、カウンターなどを表示します。
- ② **Count Clear キー**
表示パネルのカウンターをクリアします。
- ③ **Enter キー**
ユーザーモードを選択、確定します。
- ④ **◀ ▶ キー**
ユーザーモードやジョブなどの機能を選択します。
- ⑤ **Menu キー**
ユーザーモードを表示します。(→ P.4-8)
- ⑥ **Job キー**
ジョブを選択します。(→ P.3-13)
- ⑦ **Count Only キー**
カウントオンリーモードになり、原稿の枚数をカウントします。(→ P.4-4)
- ⑧ **Separation Off キー**
給紙トレイが上昇して手差し給紙になります。(→ P.3-11)
- ⑨ **New file キー**
キー操作によるファイル区切りを選択したときにファイルを区切ります。
- ⑩ **スタートキー**
スキャンを開始します。
- ⑪ **ストップキー**
スキャンを終了します。

第2章 セットアップ

1. セットアップの手順	2-2
2. 動作環境の確認	2-3
3. ソフトウェアのインストール	2-4
セットアップメニューについて	2-4
4. コンピュータとの接続	2-6
インターフェースコネクタの位置	2-6
コンピュータとの接続	2-6
5. 電源のオン（スキャナの認識）	2-9
電源スイッチについて	2-9
スキャナの認識	2-9

1. セットアップの手順

本機を使用するためには以下の手順に従って本機をセットアップしてください。

手順1：動作環境の確認 (→P.2-3)

手順2：ソフトウェアのインストール (→P.2-4)

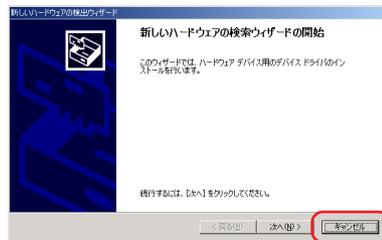
手順3：コンピュータとの接続 (→P.2-6)

手順4：電源のオン (スキャナの認識) (→P.2-9)



- コンピュータとの接続は、必ずソフトウェアのインストールの後に行ってください。
- ソフトウェアをインストールする前にスキャナを接続し、スキャナの電源をオンにすると以下のウィザード画面が表示されます。この場合、[キャンセル] ボタンをクリックしてウィザード画面を終了させてからスキャナの電源をオフにします。

・ Windows 2000



・ Windows XP



・ Windows Vista



2. 動作環境の確認

本書に記載されている仕様を満たし、本機を快適にお使いいただくためには次のシステム要件を推奨します。

■ オペレーティングシステム

- ・ Microsoft Windows 2000 Professional SP4 以上
- ・ Microsoft Windows XP Professional SP3 以上
- ・ Microsoft Windows XP Home Edition SP3 以上
- ・ Microsoft Windows XP Professional x64 Edition SP2 以上
- ・ Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate/Enterprise SP1 以上



Microsoft Windows Vistaは、32ビット版、64ビット版で動作します。

■ パーソナルコンピュータ

- ・ CPU : Celeron 1.6GHz 以上
- ・ メモリ : 512MB 以上
- ・ ハードディスク : 1GB 以上の空き容量
- ・ CD-ROM ドライブ
- ・ インターフェース : コンピュータに標準装備されたUSBポート (Hi-Speed USB2.0) または、拡張 SCSI カード
- ・ モニタ : 解像度 1024 × 768(XGA) 以上

■ 拡張 SCSI カードは、本機が推奨する以下の SCSI カードをお使いください。

Adaptec 社製 SCSI カード (PCI バス用)

- ・ AVA-2915LP
- ・ AVA-2930LP

ラトックシステム社製 SCSI カード (Card bus 用)

- ・ REX-CB31

■ 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア。



重要

- お使いのコンピュータのシステム要件が不明な場合には、コンピュータをお買い求めになった販売店または、コンピュータメーカーのサポート窓口にお問い合わせください。
- USBケーブルとSCSIケーブルは同時に接続しないでください。

● コンピュータに標準装備された USB ポートに接続して使用する場合、以下の点に注意してください。

- ・ USB インターフェースは Hi-Speed USB2.0 インターフェースを使用してください。
- ・ コンピュータに標準装備されたUSBポートがUSB Full-Speed (USB1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。この場合、SCSIカードでのご使用をお勧めします。
- ・ USB2.0 ドライバはマイクロソフト社から提供されている最新のドライバをお使いください。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・ コンピュータに標準装備されたすべてのUSBインターフェースにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・ USBケーブルは、同梱品またはHi-Speed USB2.0対応のケーブルをお使いください。

● SCSI カードで使用する場合、以下の点に注意してください。

- ・ SCSIカードのコンピュータへの取り付けは、必ずお使いのSCSIカードおよびコンピュータの取扱説明書に記載されている手順に従って行ってください。
- ・ 使用できる SCSI ケーブルの総延長は、SCSI の規格によって決められています。詳細は、お使いの SCSI カードの取扱説明書を参照してください。

● CPU、メモリ、インターフェースカードなど、コンピュータの推奨仕様を満たさない場合、スキャン速度が大幅に低下したり転送に時間を要する場合があります。

● コンピュータの推奨仕様を満たしている場合でも、読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。

● 同梱されているISIS/TWAINドライバは、すべてのISIS互換アプリケーションソフトウェアまたはTWAIN互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

3. ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストールについて説明します。

セットアップメニューについて

本機に同梱されているセットアップディスクをCDドライブにセットすると、以下のメニュー画面が起動します。セットアップディスクをCDドライブにセットしてもメニュー画面が起動しないときは、エクスプローラからセットアップディスクを開き、「SETUP.EXE」を実行してください。



重要

- ソフトウェアをインストールするときは、必ずAdministrator 権限のアカウントでWindowsにログインしてください。
- Windows Vistaをお使いの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。この場合、Administrator権限でログインしているユーザーのパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックしてください。



■ 「おまかせインストール」画面

メニュー画面の「おまかせインストール」をクリックしたときに表示される画面で、「インストール」ボタンをクリックすると表示されているすべてのソフトウェアのインストールが実行されます。



おまかせインストールの手順については、別冊の「簡単スタートガイド」を参照してください。

■ 「選んでインストール」画面

メニュー画面の「選んでインストール」をクリックしたときに表示される画面で、インストールするソフトウェアを選択してチェックします。「インストール」ボタンをクリックするとチェックしたソフトウェアのインストールが実行されます。



■ 「マニュアルを読む」画面

本製品に同梱されている「簡単スタートガイド」と「ユーザーマニュアル基本操作編」の電子マニュアルと、電子マニュアルで用意されている「ユーザーマニュアル機能詳細編（本書）」と「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を閲覧するための画面です。

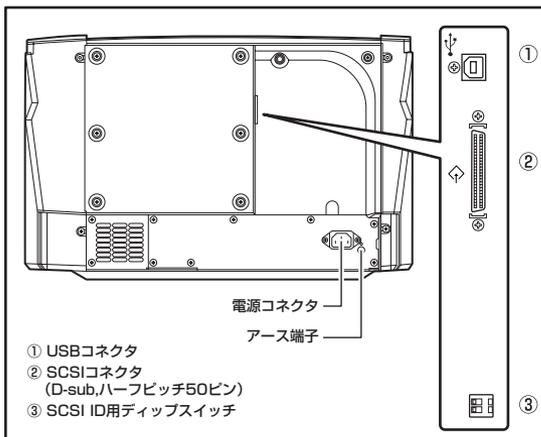


4. コンピュータとの接続

本機とコンピュータを接続する方法としてコンピュータに標準装備されているUSBポートを使用する「USB接続」と、コンピュータの拡張スロットにSCSIカードを装着して使用する「SCSI接続」の2つの接続方法があります。お使いのコンピュータの環境に合わせて接続方法を選択してください。

インターフェースコネクタの位置

USBコネクタおよびSCSIコネクタは背面の以下の場所に配置されています。



重要

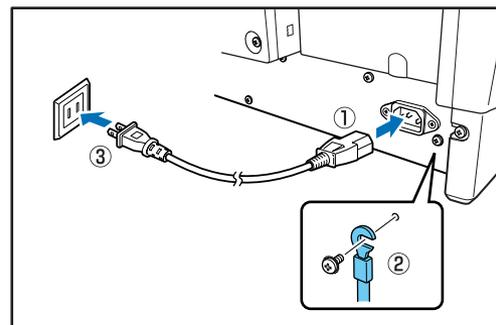
- USBケーブルと、SCSIケーブルは同時に接続しないでください。
- 電源コード、アースコードは必ず付属品をお使いください。
- コンピュータとの接続はスキャナとコンピュータの電源がオフの状態で行ってください。
- SCSIケーブルで接続する場合は、コンピュータの電源をオフにしてから行ってください。コンピュータの電源をオンにしたまま本機を接続すると、本機の認識が正常に行われません。
- SCSIケーブルは付属していません。本機とSCSIカードのコネクタ形状に適合したSCSIケーブルを用意してください。

コンピュータとの接続

接続方法に合わせた手順でコンピュータと接続します。

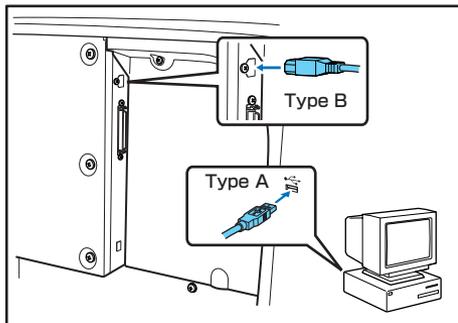
■ USB接続で使用する場合

1. 付属の電源コードを本体背面の電源コネクタに差し込みます。(①)
 2. 本体背面のアース端子のビスをゆるめ、付属のアースコードを接続します。(②)
- !** 重要 アースコードを接続する際は、絶対にガス管や水道管には接続しないでください。スキャナ使用時に引火や爆発および感電の恐れがあります。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。(③)



4. 付属のUSBケーブルでコンピュータと接続します。

USBケーブルは、四角いプラグ (Type B) をスキャナ側に差し込みます。



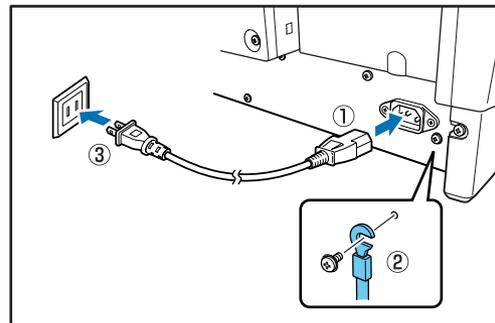
■ SCSI 接続で使用する場合

重要 SCSIケーブルで接続するときは、必ずコンピュータの電源をオフにしてください。コンピュータの電源をオンにした状態でスキャナを接続すると、コンピュータがスキャナを正常に認識できない場合があります。

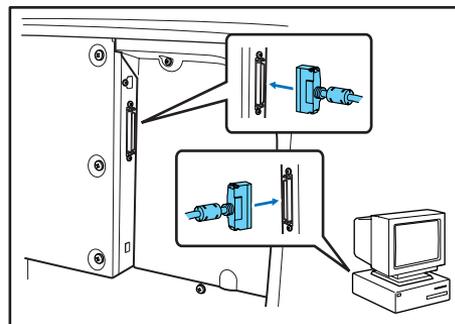
1. Windows をシャットダウンしてコンピュータの電源をオフにします。
2. 付属の電源コードを本体背面の電源コネクタに差し込みます。(①)
3. 本体背面のアース端子のビスをゆるめ、付属のアースコードを接続します。(②)

重要 アースコードを接続する際は、絶対にガス管や水道管には接続しないでください。スキャナ使用時に引火や爆発および感電の恐れがあります。

4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。(③)

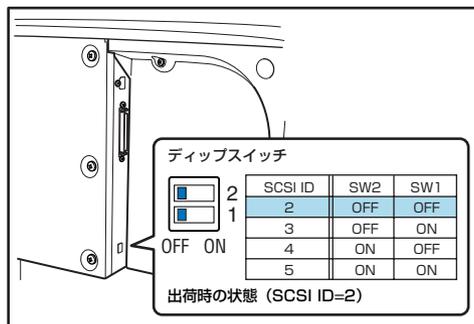


5. 用意した SCSI ケーブルでコンピュータと接続します。



重要 本機を他のSCSI機器とディジーチェーン接続で使用する
場合、以下の点に注意してください。

- SCSI IDは、工場出荷時に「SCSI ID=2」に設定されています。他のSCSI機器とディジーチェーン接続で使用する場合には、他のSCSI機器とSCSI IDが重複しないようにディップスイッチを設定してください。



- 本機はターミネータを内蔵し、[ON] に固定されています。他のSCSI機器とディジーチェーン接続で使用する場合には、必ず本機が終端になるように接続し、他のSCSI機器のターミネータはすべて [OFF] にしてください。

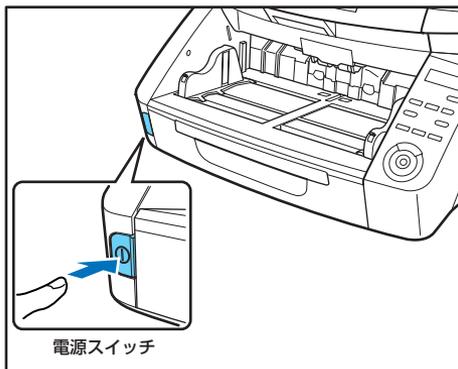
5. 電源のオン（スキャナの認識）

本機の電源をオンにしてコンピュータの電源をオンにすると、プラグアンドプレイ機能によりWindowsが本機を認識し、デバイスドライバのインストールを自動で行います。

電源スイッチについて

電源スイッチは本機の前面左下にあります。電源をオンにするときは、電源スイッチを押します。

電源をオフにするときは、電源スイッチを再度押してオフにします。



重要

- SCSI ケーブルで接続している場合は、必ずスキャナー→コンピュータの順に電源をオンにしてください。コンピュータの電源を先にオンにするとスキャナを正常に認識できない場合があります。
- 電源をオフにし、再度電源をオンにするときは10秒以上待ってから電源をオンにしてください。
- 長時間で使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

スキャナの認識

スキャナの認識は、本機をコンピュータに初めて接続したときに実行されます。

1. 本機とコンピュータの接続を確認します。
2. 本機の電源をオンにします。
3. コンピュータの電源をオンにします。
4. Administrator 権限のアカウントで Windows にログインします。
5. Windows が新しいハードウェアとして本機を認識し、インストールを自動で行い、完了します。

・ Windows 2000



・ Windows XP



・ Windows Vista





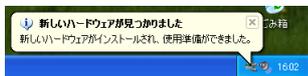
ヒント

- Windows Vistaの場合、バルーンヘルプに表示される「開始するにはここをクリックしてください。」のメッセージにかかわらずインストールを実行して完了します。「開始するにはここをクリックしてください。」をクリックするとインストールの進捗を表示します。



- Windows XP、Windows Vista では、インストールが完了するとバルーンヘルプにインストール完了のメッセージが表示されます。

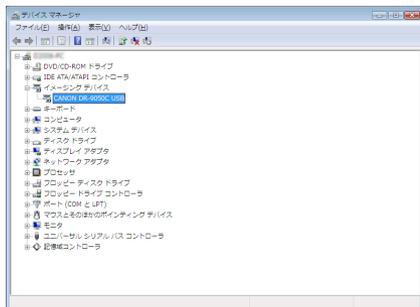
- ・ Windows XP



- ・ Windows Vista



- 本機は、デバイスマネージャの「イメージングデバイス」に [CANON DR-XXXX USB] または、[CANON DR-XXXX SCSI] の名称で登録されます。(XXXXはお使いの機種により異なります)



- デバイスマネージャは、コントロールパネルから以下の手順で表示させます。

- Windows 2000 の場合、[システム] を開き、「ハードウェア」タブにある [デバイスマネージャ] をクリックします。
- Windows XPの場合、最初にコントロールパネルをクラシック表示に切り替えて [システム] を表示させます。その後 [システム] を開き、「ハードウェア」タブにある [デバイスマネージャ] をクリックします。
- Windows Vista の場合、[システムとメンテナンス] を開き [デバイスマネージャ] をクリックします。または、コントロールパネルをクラシック表示にして [デバイスマネージャ] をクリックします。

第3章 基本的な使用方法

1. 電源のオン/オフについて	3-2
電源スイッチについて	3-2
2. 原稿について	3-3
搬送できる原稿のサイズ	3-3
3. 給紙トレイ、排紙トレイの準備	3-6
給紙トレイの準備	3-6
原稿ガイドの調整	3-8
排紙トレイの準備	3-10
4. 給紙方法について	3-11
給紙方法の選択	3-11
5. スキャン	3-13
ジョブ機能について	3-13
CapturePerfect 3.0について	3-14
6. パッチコードシートの利用（オプション）	3-18
パッチコードシートについて	3-18
パッチコードシートの使い方	3-19
7. 紙詰まりや重送を検知したときの処理	3-20
紙詰まりの処理	3-20
重送を検知したときの処理	3-21

1. 電源のオン/オフについて

本機の電源のオン/オフについて説明します。

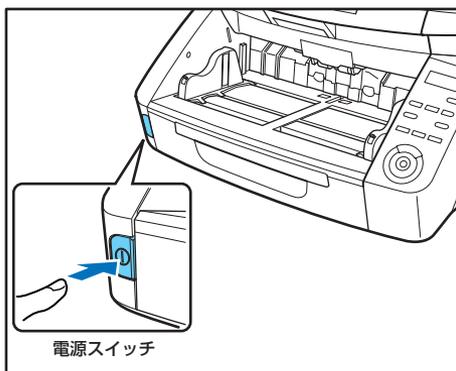


- 本機の電源をオフにしたときは、約 10 秒待ってから電源をオンにしてください。
- **注意** SCSIケーブルで接続しているときは、必ず本機→コンピュータの順で電源をオンにしてください。コンピュータ→本機の順に電源をオンにするとコンピュータが本機を正常に認識できない場合があります。

電源スイッチについて

電源スイッチは本機の前面左下にあります。電源をオンにするときは、電源スイッチを押します。

電源をオフにするときは、電源スイッチを再度押してオフにします。



ヒント

ユーザーモードでトレイ位置が最下位以外の高さに設定されている場合は、電源をオンにすると給紙トレイが上下に動きます。このとき、給紙トレイは一度一番低い位置まで下りてから、設定されている高さに移動します。電源をオフにしたときは給紙トレイは動かず、設定された高さが維持されます。(→ P.3-6)



重要

- SCSIケーブルで接続している場合は、必ずスキャナー→コンピュータの順に電源をオンにしてください。コンピュータの電源を先にオンにするとスキャナを正常に認識できない場合があります。
- 電源をオフにし、再度電源をオンにするときは 10 秒以上待ってから電源をオンにしてください。
- 長時間ご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. 原稿について

本機は、名刺、小切手などの小さいものから、A3サイズまでの原稿をスキャンすることができ、搬送できる原稿は給紙方法によって以下のサイズ、紙厚の原稿が使用できます。

搬送できる原稿のサイズ

本機では、以下のサイズの原稿を搬送することができます。

サイズ

幅 : 50.8 ~ 305 mm

長さ : 70 ~ 432 mm (長尺モードが[OFF]の場合)

70 ~ 1,000 mm (長尺モードが[ON1]の場合)

70 ~ 3,000 mm (長尺モードが[ON2]の場合)



ヒント

ユーザーモードで本機を「長尺モード」にした場合、用紙サイズ検知でスキャンすることにより最大3,000mmの長さの原稿をスキャンすることができます。
(→ P.3-4 「長尺モードの設定」)

紙厚

連続給紙 : 52 ~ 209 g/m² (0.06 ~ 0.25mm)

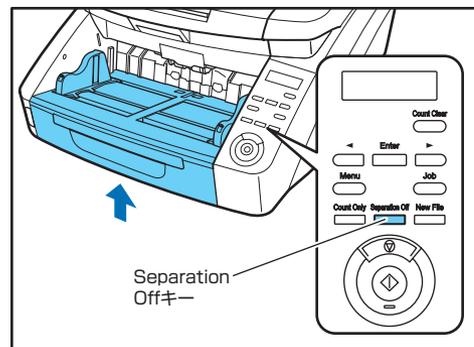
手差し給紙 : 42 ~ 255 g/m² (0.05 ~ 0.30mm)



ヒント

● 連続給紙は、原稿の束を給紙トレイにセットして、フィードローラーとリタードローラーで原稿を1枚ずつ分離しながら連続給紙を行います。

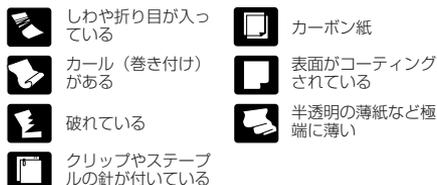
- 手差し給紙は、操作パネルの [Separation Off] キーが点灯し、給紙トレイが上昇した状態で原稿を1枚ずつセットします。



重要

- 読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。
- 複数枚の原稿を一度に読み取るときは、原稿のサイズ、厚さ、紙質をそろえてください。異なる条件の原稿を給紙すると、紙詰まりの原因になります。
 - インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
 - 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取った後は、スキャナの内部を清掃してください。
 - 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整するか、「裏写り/地色除去」の設定を有効にしてから実行してください。

- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙詰まりや故障の原因になりますので注意してください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから行ってください。



- 複数枚綴りの伝票をスキャンするときは、綴じられている側を給紙口に向けて、「手差し給紙」でスキャンします。
- 長尺モードの場合、手差し給紙で1枚ずつスキャンします。

積載枚数

DR-6050C :

上質紙 300 枚または高さ 28 mm 以下（最大）

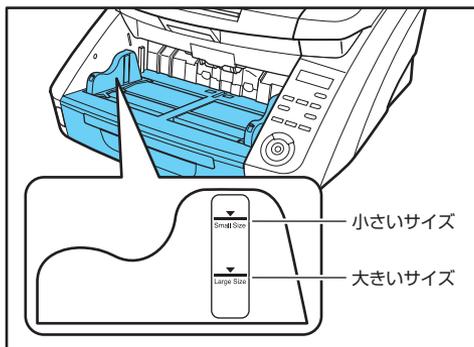
DR-9050C :

上質紙 500 枚または高さ 48 mm 以下（最大）



重要

給紙トレイの積載制限マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙詰まりの原因になります。



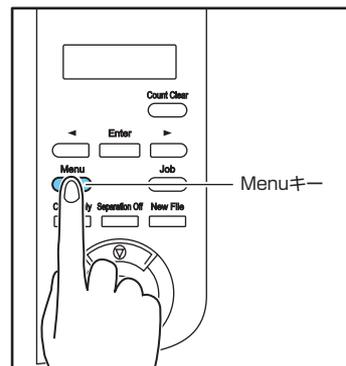
小さいサイズ：A4 以下の大きさの原稿をセットするとき
大きいサイズ：A4 より大きい原稿をセットするとき

■ 長尺モードの設定

本機を長尺モードにすると、最大3,000mmまでの原稿をスキャンすることができます。

長尺モードの設定を変更するときは、ユーザーモードの「チョウジャクモード」で設定を変更します。

7. 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

フ ` サ ` ー セ ッ テ イ
[ON 2] ON 1 OFF

2. [▶] キーを4回押して【チョウジャクモード】を表示させます。(→P.4-8)

チ ョ ウ シ ` ャ ク モ ー ト `
ON 2 ON 1 [OFF]

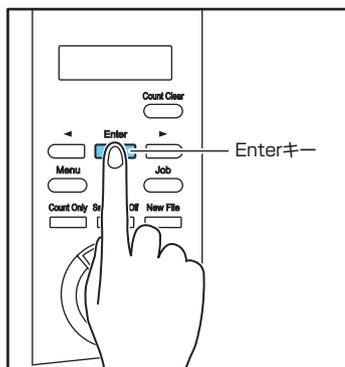
3. 設定を確認します。

[ON2] : 用紙サイズの設定を [自動検知] または最大サイズにしたときに、最大3,000mmまでの長さの原稿を検知します。

[ON1] : 用紙サイズの設定を [自動検知] または最大サイズにしたときに、最大1,000mmまでの長さの原稿を検知します。

[OFF] : 用紙サイズの設定を [自動検知] にしたときに、432mmまでの長さの原稿を検知します。

4. [Enter] キーを押します。



[] が点滅して設定モードになります。

5. [◀]、[▶]キーで選択し、[Enter] キーで確定します。

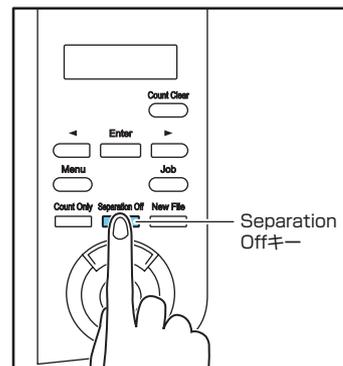
6. ストップキーを押してユーザーモードを終了します。



重要

- 長尺モードでスキャンする場合、処理速度が低下することがあります。
- 長尺モードを [ON1] に設定してスキャンする場合、読み取りモードをカラー、画像品質を「画質優先」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、白黒にしたり、画像品質を低くしてスキャンしてください。

- 長尺モードを [ON2] に設定してスキャンする場合、400/600dpi でスキャンしたり、読み取りモードをカラー、読み取り面を「両面」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、解像度を低くしたり、白黒にしたり、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。
- 長尺モードでスキャンする場合、「高画質モアレ除去」、「斜行補正」および画像回転の「90度」または「270度」は使用できません。
- 長い原稿をスキャンする場合、原稿が傾いてセットされると原稿の後部が給紙部の両端に当たり原稿を破損する場合があります。原稿の傾きには十分注意してください。
- 長い原稿をスキャンする場合、紙詰まりの検知が遅れて原稿を破損する場合があります。紙詰まりには十分注意してください。
- 長い原稿をスキャンする場合、操作パネルにある [Separation Off] キーを押して、手差しで1枚ずつ給紙してください。



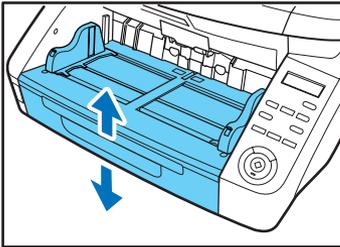
3. 給紙トレイ、排紙トレイの準備

原稿をスキャンする前に、原稿に合わせて給紙トレイと排紙トレイの準備を行います。

給紙トレイの準備

■ 給紙トレイ

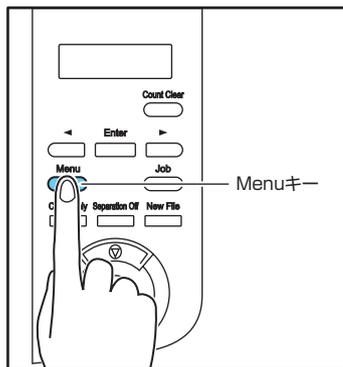
給紙トレイの高さはセットする原稿の量によって調整することができます。初期値では一番低い位置に設定されています。



トレイ位置の設定

給紙トレイの高さは、ユーザーモードの「トレイ イチ」で設定し、セットする原稿の枚数に適した位置に設定することにより搬送を開始するまでの時間が短くなります。

1. 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

```
フ ッ サ ー セ ッ テ イ
[ ON 2 ] ON 1 OFF
```

2. [◀] キーを5回押して【トレイ イチ】を表示させます。(→P.4-8)

```
トレイ イチ
2 1 [ 0 ]
```

3. 設定を確認します。

DR-6050C の場合

[0] : 原稿のセット枚数が300枚以下

[1] : 原稿のセット枚数が100枚以下

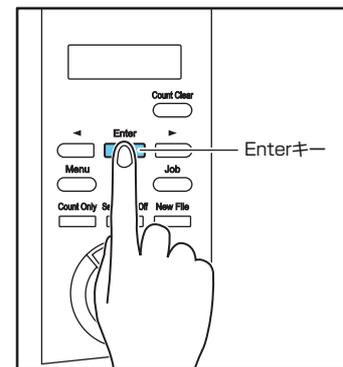
DR-9050C の場合

[0] : 原稿のセット枚数が500枚以下

[1] : 原稿のセット枚数が300枚以下

[2] : 原稿のセット枚数が100枚以下

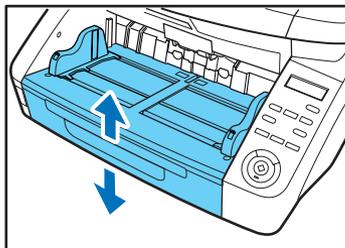
4. [Enter] キーを押します。



[] が点滅して設定モードになります。

5. [◀]、[▶]キーで選択し、[Enter]キーで確定します。

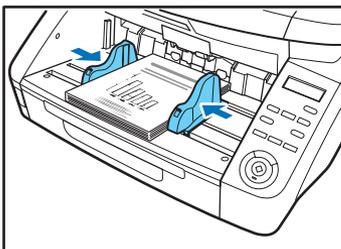
給紙トレイが設定した高さに移動します。



6. ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

■ 原稿ガイド

原稿の幅に合わせて原稿ガイドの位置を調整します。

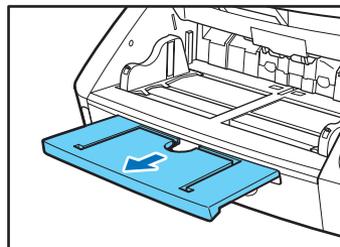


ヒント

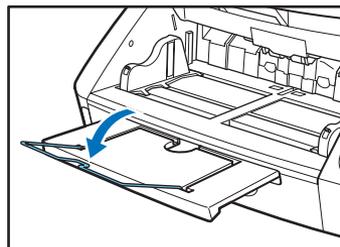
原稿ガイドをロックして左右の位置を変えることができます。詳細については「原稿ガイドの調整」(→P.3-8)を参照してください。

■ 給紙補助トレイ/ワイヤ

原稿の長さに合わせて給紙補助トレイを引き出します。



補助ワイヤを開きます。



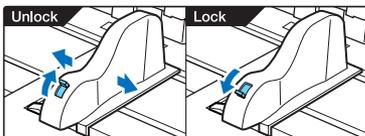
ヒント

補助ワイヤは、原稿が給紙補助トレイよりはみ出す場合に使用します。

原稿ガイドの調整

原稿ガイドは給紙口中心に対して左右均等に開き、原稿を給紙口の中心にセットします。

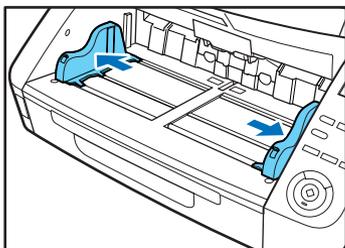
原稿ガイドにはロックレバーがあり、原稿を右または、左に寄せてセットするときは、原稿ガイドをロックして原稿ガイドの左右の位置を変更することができます。



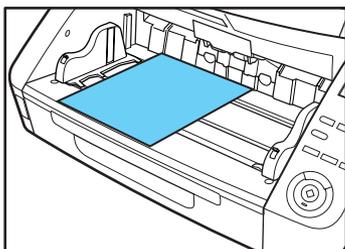
■ 原稿を左に寄せる場合の調整手順

原稿を左に寄せてセットする手順を一例として説明します。

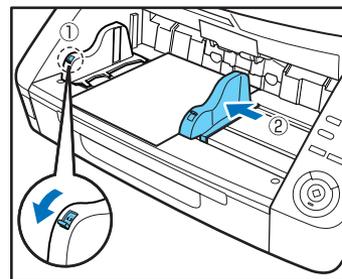
1. 原稿ガイドを左右いっぱいに開きます。



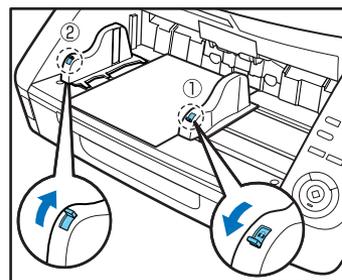
2. 原稿をセットします。



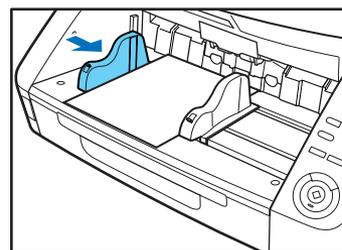
3. 左側の原稿ガイドをロックし(①)、右側の原稿ガイドを原稿に合わせます(②)。



4. 右側の原稿ガイドをロックし(①)、左側の原稿ガイドのロックを解除します(②)。



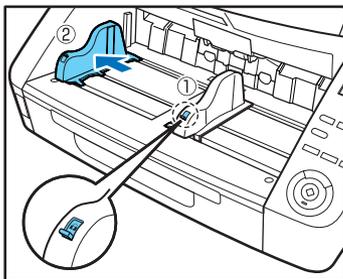
5. 左側の原稿ガイドを原稿に合わせます。



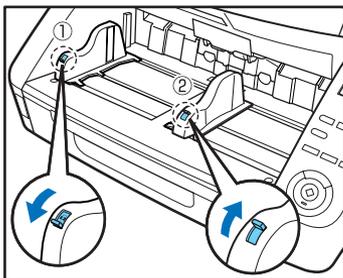
■ 原稿ガイドのリセット

原稿ガイドを左右均等の位置に戻すときは、以下の手順で原稿ガイドを左右いっぱいに開きます。

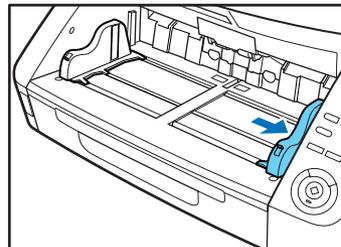
1. 右側の原稿ガイドのロックを確認し (①)、左側の原稿ガイドを左側いっぱいまで開きます (②)。



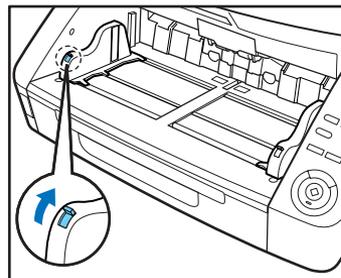
2. 左側の原稿ガイドをロックし (①)、右側の原稿ガイドのロックを解除します (②)。



3. 右側の原稿ガイドを右側いっぱいまで開きます。



4. 左側の原稿ガイドのロックを解除します。



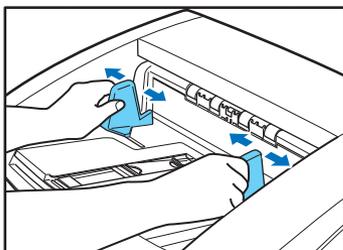
排紙トレイの準備

排紙トレイには、原稿ガイドと排紙補助トレイ、排紙ストッパーがあり、それぞれセットした原稿の幅と長さに合わせて調整します。

■ 原稿ガイド

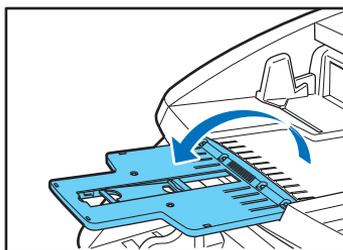
両側の原稿ガイドを持ち、セットする原稿の幅に合わせて位置を調整します。

原稿の排紙位置は、カウントオンリーモードで原稿を1枚搬送することで確認できます。(→P.4-4「カウントオンリーモード」)



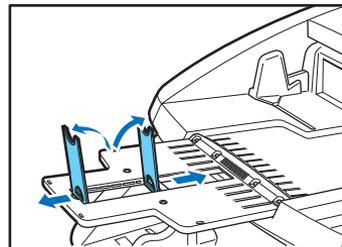
■ 排紙補助トレイ

原稿が排紙トレイから落ちるようなときは、排紙補助トレイを開きます。



■ 排紙ストッパー

原稿が排紙トレイから飛び出して落下するようなときは、排紙ストッパーを立てて原稿が飛び出さないようにします。



排紙ストッパーは排紙補助トレイに設けられており、原稿の長さに合わせて位置を調整します。

A4サイズの原稿をセットするときは、排紙補助トレイを閉じて、上側の排紙ストッパーを立てます。A3サイズの原稿をセットするときは、排紙補助トレイを開いて、上側の排紙ストッパーを立てます。

4. 給紙方法について

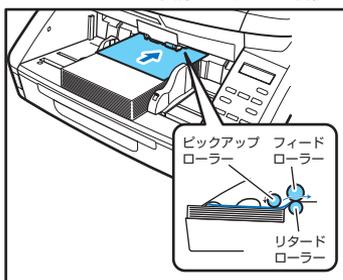
原稿の給紙方法には、給紙トレイにセットした原稿をピックアップローラーで連続して搬送する「連続給紙」と、ピックアップローラーを停止させ、原稿がフィードローラーで搬送される位置まで1枚ずつ手で差し込む「手差し給紙」があります。

給紙方法の選択

給紙方法は標準で「連続給紙」に設定されており、ISIS/TWAINドライバの「給紙オプション」で「手差し給紙」を選択または、操作パネルの「Separation Off」キーを押したときに「手差し給紙」になります。また、滑りの悪い原稿の束をスキャンする際に原稿の分離を確実にを行う方法として、「連続手差しモード」が用意されています。

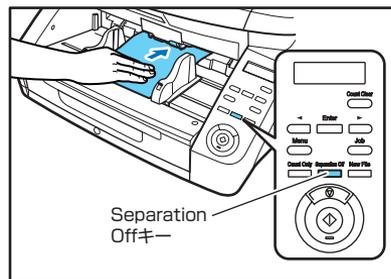
連続給紙

連続給紙では、ピックアップローラーで引き込まれた原稿を、フィードローラーで搬送するとともに、原稿が重送しないようにリタードローラーで原稿を1枚ずつ分離します。



手差し給紙

「Separation Off」キーが点灯し、給紙トレイが上昇して1枚ずつの給紙になります。手差し給紙のときはピックアップローラーが停止しているため、原稿をフィードローラーで引き込まれる位置まで挿入します。



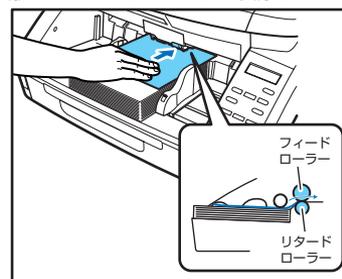
- 重要**
- 手差し給紙では、リタードローラーによる原稿の分離を行いません。複数枚の原稿をセットすると、まとめて搬送されて紙詰まりになる場合があります。
 - 複数枚綴りの伝票をスキャンするときは、綴じられている側を給紙口に向け、「手差し給紙」でスキャンします。

ヒント 「Separation Off」キーは、ISIS/TWAINドライバで設定する「給紙オプション」(→P.8-19)の「手差し給紙」と相互に連動しています。

操作パネルの「Separation Off」キーを押す、または「給紙オプション」を「手差し給紙」に設定すると「Separation Off」キーが点灯して給紙トレイが上昇します。

連続手差しモード

連続手差しモードはユーザーモードで設定し、連続給紙で原稿の分離がうまくできないような原稿をスキャンするときに使用します。



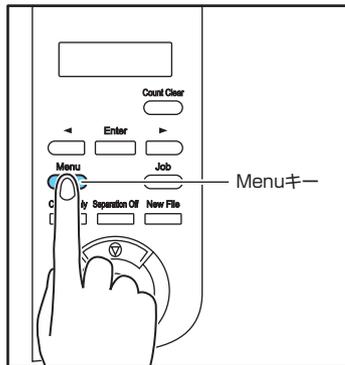
重要 ユーザーモードで「連続手差しモード」を [ON] にしたときは、スキャンが終了したら必ず「連続手差しモード」を [OFF] に戻してください。他の人が使用するとき連続給紙ができなくなります。

ヒント 通常の手差し給紙では、原稿の束をスキャナの横に置いて、原稿を1枚ずつ取り上げて給紙するのに対して、連続手差しモードでは、原稿の束を給紙トレイに置いて1枚ずつ差し込むため作業が楽になります。

■ 連続手差しモードの設定

連続手差しモードは、ユーザーモードの「レンゾク テザシ モード」で設定します。

1. 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

```

ユーザー セッテイ
[ ON 2 ] ON 1 OFF
  
```

2. [▶] キーを5回押して [レンゾク テザシ モード] を表示させます。(→P.4-8)

```

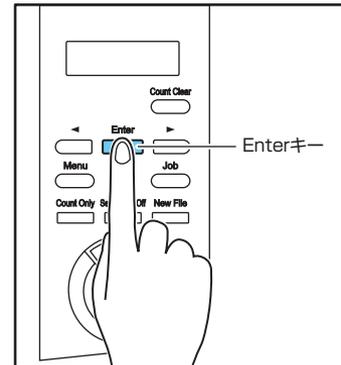
レンゾク テザシ モード
ON [ OFF ]
  
```

3. 設定を確認します。

[ON] : ピックアップローラーを無効にし、セットした原稿は1枚ずつフィードローラーで搬送されるまで差し込みます。

[OFF]: 「Separation Off」キーが点灯している場合を除き、ピックアップローラーにより原稿が連続搬送されます。

4. [Enter] キーを押します。



[] が点滅して設定モードになります。

5. [◀]、[▶] キーで選択し、[Enter] キーで確定します。

6. ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

5. スキャン

本機のスキャン方法には、本機に付属の「CapturePerfect3.0」などのスキャニングアプリケーションでスキャンする他に、操作パネルの操作でスキャンを実行する「ジョブ機能」があります。

本項では、「ジョブ機能」と「CapturePerfect3.0」の概略について説明します。

ジョブ機能について

ジョブ機能は、「ジョブ登録ツール」でジョブを登録し、操作パネルの[Job]キーで登録したジョブを選択/実行してスキャンを行う機能です。

ジョブには、スキャン条件や、保存する画像データのファイル形式、保存先が登録され、ジョブ機能でスキャンした画像データはジョブに登録されている条件で処理されます。



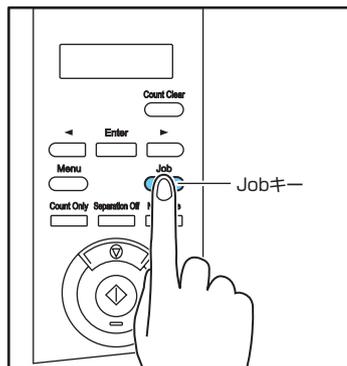
ヒント

ジョブ登録ツールは、ISIS/TWAINドライバと一緒にインストールされる TWAIN 互換アプリケーションです。詳細については、「第9章 ジョブ登録ツールの設定」を参照してください。

■ ジョブの実行

ジョブ登録ツールで登録したジョブは、以下の手順で実行します。

1. 操作パネルの「Job」キーを押します。



登録されているジョブが表示されます。

```
01 : A4 B / W 200
Documents
```

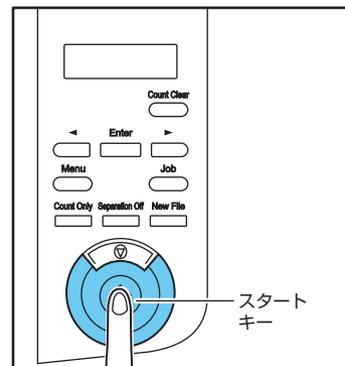


ヒント

ジョブが表示されないときは、ジョブ登録ツールでジョブを登録してください。

2. [◀],[▶]キーでジョブを選択します。

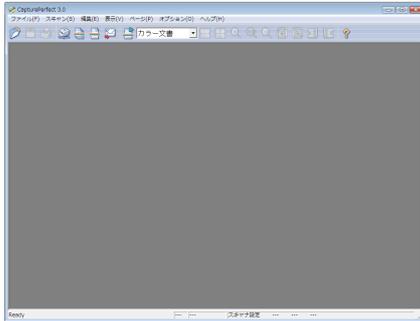
3. スタートキーでジョブを実行します。



4. 指定されているフォルダを開いて画像ファイルを確認します。

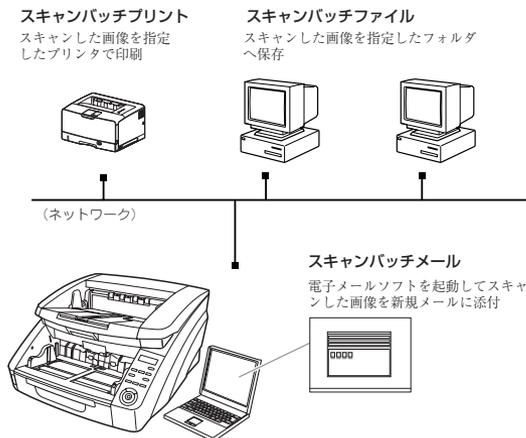
CapturePerfect 3.0 について

CapturePerfect 3.0は、キヤノンドキュメントスキャナ専用のISIS互換アプリケーションです。CapturePerfect 3.0の詳細については「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を参照してください。



■ CapturePerfectのスキャン方法

CapturePerfect 3.0には以下のスキャン方法がありスキャンメニューからスキャン方法を選択して実行します。



スキャンバッチファイル

設定した読み取り条件でスキャンを行い、指定したフォルダに画像ファイルを保存します。

スキャンバッチプリント

設定した読み取り条件でスキャンを行い、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。

スキャンバッチメール

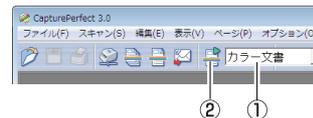
設定した読み取り条件でスキャンを行い、MAPIに対応した電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。

スキャン1ページ

原稿を1枚スキャンして終了します。

スキャンジョブ

ジョブ機能と同様に、読み取り条件とスキャン方法(スキャンバッチファイル、スキャンバッチプリント、スキャンバッチメール)をあらかじめジョブとして登録しておき、スキャンジョブの実行は、ツールバーからジョブを選択(①)→実行(②)の2つの操作で行います。



スキャンジョブにはあらかじめ以下の2つのジョブが登録されており、最大99個のジョブを登録することができます。

- **カラー文書**
原稿を24ビットカラー、片面300dpiでスキャンし、画像ファイルを「ピクチャ」フォルダにPDF形式で保存します。
- **白黒文書**
原稿を白黒、片面200dpiでスキャンし、画像ファイルを「ピクチャ」フォルダにPDF形式で保存します。

スキャンバッチプレゼンテーション

小型のスキャナをプレゼンテーションの会場などに持ち込み、大型ディスプレイやプロジェクトが接続された環境で使用する場合に有効なモードで、CapturePerfectを全画面表示に切り替えてスキャンを行い、スキャンした画像をディスプレイに表示します。



本機能は、大型のスキャナでの使用には適していません。

ヒント

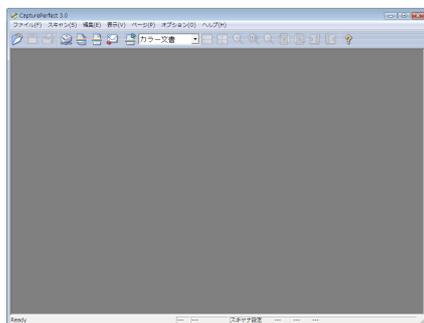
■ CapturePerfect の操作手順

CapturePerfect 3.0の起動から「スキャンバッチファイル」でのスキャン手順について説明します。
その他のスキャン方法の手順については「CapturePerfect 3.0操作ガイド」を参照してください。

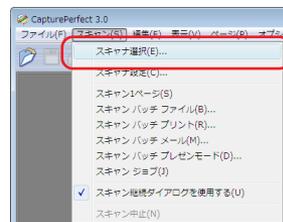
1. [スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[CapturePerfect3.0]-[CapturePerfect3.0]をクリックします。



CapturePerfect3.0が起動します。

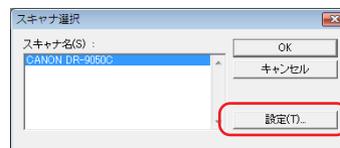


2. [スキャン]メニューから[スキャナ選択]をクリックします。



[スキャナ選択] ダイアログボックスが表示されます。

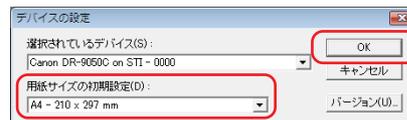
3. [CANON DR-XXXX]を選択し、[設定]ボタンをクリックします。(XXXXはお使いの機種により異なります)



重要

[CANON DR-XXXX]が表示されないときは、ISIS/TWAINドライバのインストールをやり直してください。

4. 用紙サイズの初期値を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

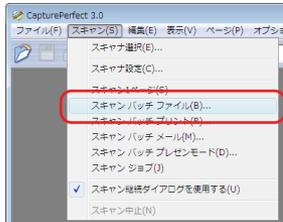


重要

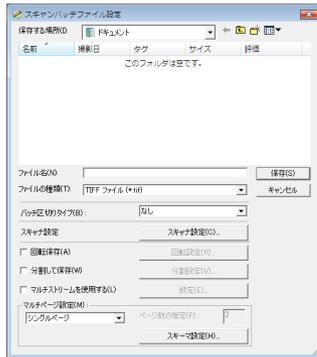
ISISドライバの設定ダイアログボックスで[初期値]ボタンをクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。

5. [OK]ボタンをクリックしてスキャナの選択を終了します。

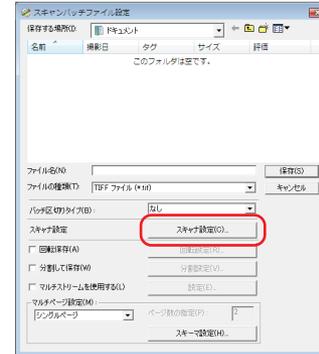
6. [スキャン]メニューから[スキャンバッチファイル]をクリックします。



[スキャンバッチファイル設定]ダイアログボックスが表示されます。



7. [スキャナ設定]ボタンをクリックします。



ISIS ドライバの設定ダイアログボックスが表示されます。



8. 読み取り条件を設定します。

 設定ダイアログボックスの詳細については、「ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス」(→ P.8-4) を参照してください。

9. [OK]ボタンをクリックしてスキャナの設定を終了します。

10. 保存するファイル名、ファイル形式を指定します。

スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスのその他の設定については「CapturePerfect 3.0操作ガイド」を参照してください。

11. 原稿をセットし、[保存] をクリックしてスキャンを開始します。

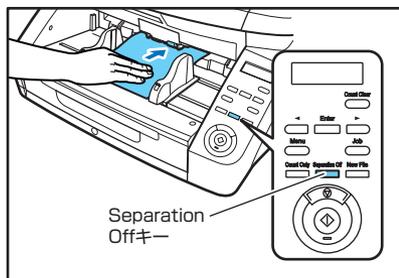


読み取り条件の給紙オプションの設定によって、原稿のセットが以下ようになります。

- 給紙オプションが [標準給紙] のときはスキャンを開始する前に原稿をセットし、原稿がなくなると「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。



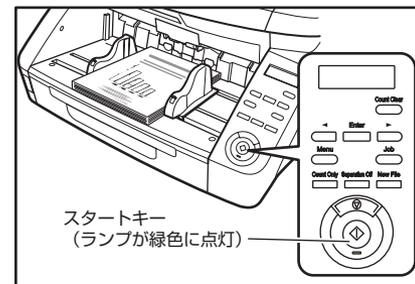
- 給紙オプションが [手差し給紙] のときは「Separation Off」キーが点灯して給紙トレイが上昇しています。原稿を1枚ずつ奥まで差し込みながらスキャンを繰り返し、ストップキーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。



- 給紙オプションが [自動給紙]、[パネルで給紙] の場合、スキャンを開始したときに原稿がセットされているとスキャンを行い、原稿がセットされていないときは待機状態になります。
- 給紙オプションが [自動給紙] の場合、給紙トレイのセンサーが原稿のセットを検知するたびにスキャンを行い、ス

トップキーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。

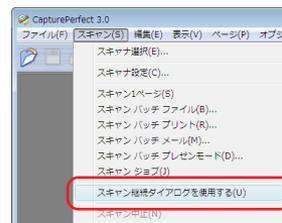
- 給紙オプションが [パネルで給紙] の場合、スタートキーのランプが点灯します。原稿をセットしてスタートキーを押すとスキャンを行い、ストップキーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。



12. [スキャン継続] ダイアログボックスが表示されたら、原稿の有無を確認し、[スキャン継続] または [スキャンストップ] をクリックします。



「[スキャン] メニューの「スキャン継続ダイアログを使用する」にチェックがない場合、「スキャン継続」ダイアログボックスを表示しないでスキャンを終了します。



13. スキャンが終了したら [ファイル] メニューから [アプリケーションの終了] を選択して CapturePerfect を終了させます。

6. パッチコードシートの利用 (オプション)

本機は、オプションのパッチコードデコーダを装着することにより、原稿内に挿入されたパッチコードシートを検知してパッチ区切りを行う「自動ファイル区切り」に対応することができます。

パッチコードシートについて

パッチコードシートは、ファイルを自動区切りするためのパッチコードパターンが印刷されたシートで、ISIS/TWAINドライバのインストールにより以下の場所にパッチコードシートのアイコンが登録されます。



重要

- パッチコードシートは、お使いのアプリケーションがパッチコードシートによる自動パッチ区切りをサポートしている場合に有効です。
- パッチコードシートはPDF形式のファイルで、用紙サイズとパターンの組み合わせで [PATCH T (A4)]、[PATCH T (LTR)]、[PATCH II (A4)]、[PATCH II (LTR)] の4種類のシートが用意されています。
- 「マルチストリーム」(→P.1-7)を使用するときはパッチコードシートは使用できません。

パッチコードシートの印刷

パッチコードシートは、CapturePerfectまたは、PDF形式のファイルに対応したアプリケーションで開き、必ず等倍で印刷してください。



重要

- [PATCH T (A4)]、[PATCH II (A4)] はA4サイズ用の紙、[PATCH T (LTR)]、[PATCH II (LTR)] はレターサイズの用紙に等倍で印刷してください。
- パッチコードシートを拡大、縮小して印刷した場合、パッチコードとして正常に認識できない場合があります。

パッチコードパターンの機能

パッチコードは「PATCH T」、「PATCH II」の2種類のパターンに対応し、パターンによって機能が異なります。

PATCH T



このパターンが印刷されたシートを認識したときは、このシートの次の原稿の画像からファイルが区切られ、アプリケーションによってこのシートの画像を保存する/しないを設定します。

PATCH II



このパターンが印刷されたシートを認識したときは、このシートの画像からファイルが区切られ、このシートの画像は、アプリケーションの設定にかかわらず必ず保存されます。

パッチコードシートの使い方

CapturePerfect 3.0 でのパッチコードシートの使用方法について説明します。

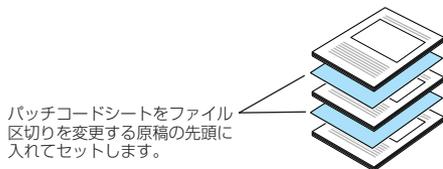
1. パッチコードシートをプリンタで印刷します。



重要

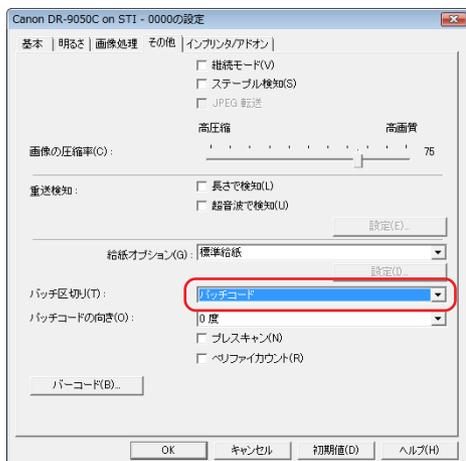
- [PATCH T (A4)]、[PATCH II (A4)] は A4 サイズの用紙、[PATCH T (LTR)]、[PATCH II (LTR)] はレターサイズの用紙に等倍で印刷してください。
- パッチコードシートを拡大、縮小して印刷した場合、パッチコードとして正常に認識できない場合があります。

2. パッチコードシートをファイルを区切る原稿の前に挿入してから給紙トレイにセットします。



パッチコードシートをファイル区切りを変更する原稿の先頭に入れてセットします。

3. ISIS ドライバの「その他」タブにあるパッチ区切りの設定を [パッチコード] にします。



重要

パッチコードデコーダが装着されていない場合、パッチ区切りの設定に [パッチコード] は表示されません。
(→ P.8-20 「パッチ区切り」)

4. スキャンパッチファイルを実行します。

5. 「パッチ区切りタイプ」の設定を [記録して、スキャン継続] または [記録せず、スキャン継続] にします。



ヒント

- [記録して、スキャン継続] は、パッチコードのパターンにかかわらず、パッチコードシートの画像を保存してスキャンを継続します。
- [記録せず、スキャン継続] は、PATCH T のパターンを認識したときに、パッチコードシートの画像を保存しないでスキャンを継続します。

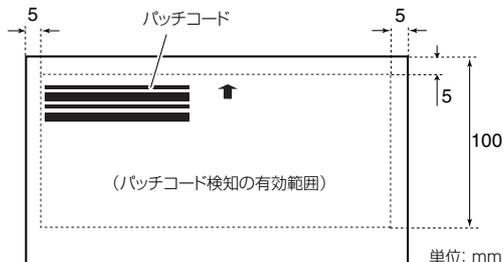
■ パッチコードシートの作成

パッチコードパターンをコピーして他のサイズのパッチコードシートを作成するときは、以下に注意して作成してください。



重要

- パッチコードは、以下の有効範囲に入るように調整してください。



- パッチコードパターンをコピーするときは、オリジナルのパターンと同サイズになるようにしてください。
- 印刷または作成したパッチコードシートは、汚さないように注意してください。また、折り曲げたり、しわのあるシートは使用しないで、印刷または作成し直したものを使用してください。

7. 紙詰まりや重送を検知したときの処理

スキャン中に紙詰まりや重送が発生したらコンピュータのディスプレイおよび表示パネルに紙詰まりのメッセージが表示されます。以下の手順に従って紙詰まりの処理を行ってください。



- 詰まった紙を取り除くときは、慎重に行ってください。原稿を破損したり、紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。
- 詰まった用紙はすべて取り除いてください。破れた用紙などが内部に残っていると、紙詰まりや故障の原因になります。
- 上部ユニットを開閉するときは、手をはさまないように注意してください。

紙詰まりの処理

スキャン中に紙詰まりが発生したとき、表示パネルに以下のメッセージを表示して搬送を停止します。

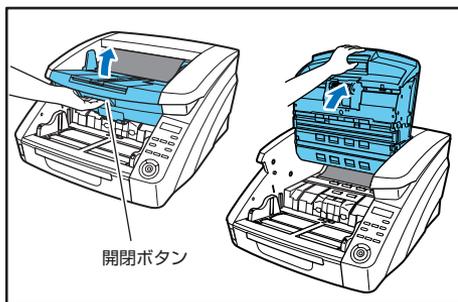
カミカゝツマリマシタ

P 0 0 1



エラーコードは、詰まった原稿の位置によって変わります。詳細については「エラーメッセージ」(→P.6-3)を参照してください。

1. 排紙トレイに残っている原稿を取り除きます。
2. 開閉ボタンを押しながら上部ユニットを止まるところまで静かに開きます。

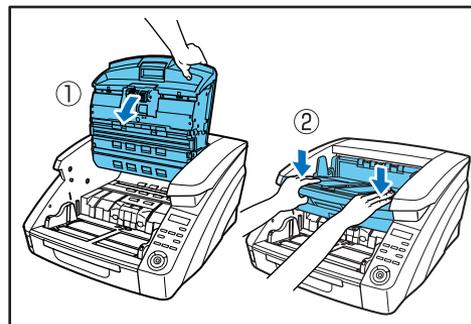


3. 詰まっている原稿を取り除きます。



- 排紙トレイに排紙の途中で止まっている原稿は、上部ユニットを少し開いた状態にして取り除きます。
- 本体の内部で止まっている原稿は、上部ユニットを止まるところまで開いて取り除きます。

4. 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)



5. 保存されている最後の画像を確認して、スキャンをやり直します。

■ 「スタートキー オシテクダサイ」が表示された場合

ISIS/TWAINドライバの設定で「継続モード」が設定されている場合、紙詰まりを処理した後、表示パネルに以下のメッセージが表示されます。

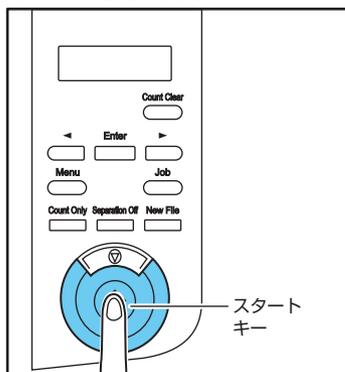
スタートキー オシテクダサイ

- 重要** ! ISIS/TWAINドライバの「継続モード」の設定により、紙詰まりになったときの画像ファイルの処理が以下のようになります。(→P.8-18「継続モードチェックボックス」)



- 継続モードを設定していない場合、紙詰まりを検知する前までの画像をファイルに保存してスキャンを終了し、エラーメッセージを表示します。この場合、紙詰まりを起こした原稿から、または最初からスキャンをやり直します。
- 継続モードを設定している場合、紙詰まりを検知した状態でスキャンを中断し、エラーメッセージを表示します。

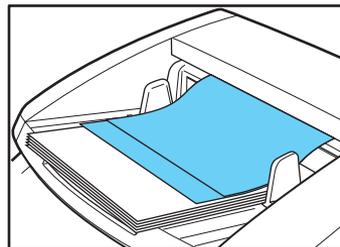
詰まった原稿を残っている原稿の先頭に戻し、スタートキーを押してスキャンを続けます。



- 重要** !
- スタートキーを押すと、紙詰まりを起こした原稿の画像を破棄してスキャンを続けます。
 - ストップキーを押すと、紙詰まりを検知する前までの画像をファイルに保存してスキャンを終了します。この場合、紙詰まりを起こした原稿から、または最初からスキャンをやり直します。

重送を検知したときの処理

スキャン中に重送を検知した場合、表示パネルにエラーメッセージを表示して搬送を停止します。



- 重要** ! ISIS/TWAINドライバの「継続モード」の設定により、重送を検知したときのメッセージおよび画像ファイルの処理が以下のようになります。(→P.8-18「継続モードチェックボックス」)



- 継続モードを設定していない場合、重送を検知する前までの画像をファイルに保存してスキャンを終了し、以下のメッセージを表示します。

原稿の長さで重送を検知した場合

```
シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 2
```

超音波で重送を検知した場合

```
シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 4
```

- 継続モードを設定している場合、重送を検知した状態でスキャンを中断し、以下のメッセージを表示します。

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
[ムスル] ヤリナオス

■ 継続モードを設定していない場合

重送した原稿が残っている原稿の先頭に戻してスキャンをやり直します。

■ 継続モードを設定している場合

1. 重送した原稿を確認します。



ヒント

- ラベル紙など原稿に貼り付けられた用紙の隙間を重送として検知したときは重送検知を無視することができます。
- 原稿が重送して重なっているときは、重送した原稿のスキャンをやり直します。

2. [◀]、[▶]キーで処理を選択し、[Enter] キーを押します。

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
[ムスル] ヤリナオス

[ムスル]:

重送を検知したときの原稿の画像を保存して、スキャンを再開します。

[ヤリナオス]:

表示パネルが以下の表示になります。重送した原稿をトレイに戻してスタートキーを押してください。

スタートキーヲ オシテクダサイ



重要

- スタートキーを押すと、重送を検知したときの画像を破棄してスキャンを再開します。
- ストップキーを押すと、重送を検知する前までの画像をファイルに保存してスキャンを終了します。この場合、重送した原稿から、または最初からスキャンをやり直します。

第4章 その他の機能

1. その他の機能および設定	4-2
2. 機能説明	4-4
3. ユーザーモード	4-8
ユーザーモードの操作手順	4-8
4. ユーザーモードの機能	4-10

1. その他の機能および設定

本機にはその他、以下のような機能があります。詳細については参照ページをお読みください。

	操作/設定方法			参照ページ
	パネル操作 (ユーザーモード以外)	パネル操作 (ユーザーモード)	ISIS/TWAIN	
SCSI転送速度	－	○	－	P.4-11
USBショートパケット	－	○	－	P.4-11
インプリンタ (オプション)	－	－	○	P.4-7, P.8-24
インプリンタテスト	－	○	－	P.4-12, P.5-18
カウンタ (トータルカウンタ)	－	○	－	P.4-12
カウンタ (使用ローラー)	－	○	－	P.4-12
カウントオンリーモード	○	－	－	P.4-4
画面コントラスト	－	○	－	P.4-11
キーリピート	－	○	－	P.4-11
斜行検知 *常に有効	－	－	－	P.4-5
斜行補正	－	－	○	P.8-9
重送検知	－	－	○	P.4-5, P.8-19
重送検知 (カウントオンリーモード時)	－	○	－	P.4-10
ステーブル検知	－	－	○	P.4-6, P.8-18
ステーブル検知 (カウントオンリーモード時)	－	○	－	P.4-10
ステーブル検知感度	－	○	－	P.4-6, P.4-10
スリープモード	－	○	－	P.4-11

	操作/設定方法			参照ページ
	パネル操作 (ユーザーモード以外)	パネル操作 (ユーザーモード)	ISIS/TWAIN	
長尺モード	－	○	－	P.3-4
トレイ位置調整	－	○	－	P.3-6, P.4-11
半折りスキャン	－	－	○	P.4-6
ブザー設定	－	○	－	P.4-10
ベリファイスキャン	○	－	○	P.4-4, P.8-21
連続手差しモード	－	○	－	P.3-11, P.4-10



ヒント

- 「操作/設定方法」は、以下の操作または設定を行います。

パネル操作：操作パネルのキーにより操作または設定を行います。

ユーザーモード：本機の機能をユーザーモードにより任意に変更します。

ISIS/TWAIN：ISIS/TWAIN ドライバの設定によりスキャン時の機能を設定します。

- 「ベリファイスキャン」は、パネル操作で枚数を設定し、ISIS/TWAIN ドライバの「ベリファイカウント」の設定によりベリファイスキャンを実行します。

2. 機能説明

その他の機能について説明します。ユーザーモードで設定する機能については「ユーザーモード」(→P.4-8)を参照してください。

■ カウントオンリーモード

原稿の搬送のみを行い、セットされた原稿の枚数をカウントします。

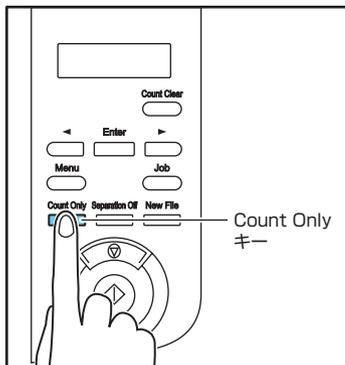


ヒント

カウントオンリーモードは操作パネルの「Count Only」キーで実行し、原稿の枚数のカウントのみであれば、コンピュータの接続に関係なく使用することができます。

1. 原稿をセットします。

2. 操作パネルの「Count Only」キーを押します。



「Count Only」キーが緑色に点灯し、カウントオンリーモードになります。

スキャン カノウ
0 0 0 0 0

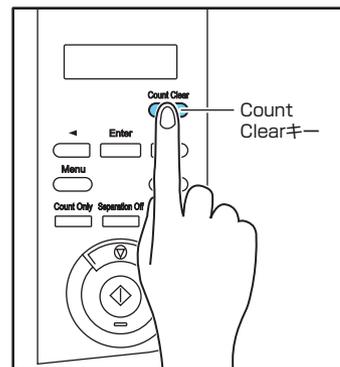
3. スタートキーを押すと原稿のカウントを開始します。

カウントチュウ . . .
X X X X X



重要

カウントした枚数は、「Count Only」キーが点灯した状態で Count Clearキーを約2秒押し続けるとリセットされます。



■ ベリファイスキャン

カウントオンリーモードでカウントした枚数または、任意に設定した枚数と、セットした原稿の枚数を照合しながらスキャンを行い、設定した枚数とスキャンした枚数に相違がある場合にエラーを表示します。

1. カウンタを設定します。

スキャン カノウ
0 0 0 0 0



ヒント

カウンタの設定は、カウントオンリーモードでカウントした枚数を利用または、[◀]、[▶]キーを押してカウンタを設定します。

2. ISIS/TWAINドライバの設定で、「ベリファイカウント」をチェックします。(→P.8-21「ベリファイカウントチェックボックス」)

3. スキャンを開始します。

ペリフェイスキャン中の表示になります。

```

ヘ` リファイチュウ . . .
                                X X X X X
  
```



スキャン中に設定した枚数を越えたときや、設定した枚数に達しないでスキャンが終了したときにエラーを表示します。

設定した枚数でスキャンが終了しないとき

```

マイスウカ` イッチ シマセン
                                U 0 0 1
  
```

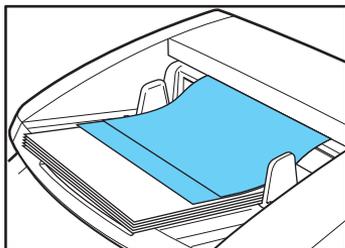
設定した枚数より少ない枚数でスキャンが終了したとき

```

マイスウカ` イッチ シマセン
                                U 0 0 2
  
```

■ 重送検知

原稿が重なって搬送されたことを検知します。重送検知には原稿の長さの比較と、超音波による原稿の隙間の検知による2つの検知方法があり ISIS/TWAIN ドライバによって設定します。



● 重送を検知したときのメッセージは、ISIS/TWAIN ドライバの「継続モード」の設定により異なります。詳細については「重送を検知したときの処理」(→ P.3-21) を参照してください。

```

シ` ユウソウヲ ケンチシマシタ
                                D 0 0 4
  
```

- カウントオンリーモード時の重送検知はユーザーモードで設定し、「超音波重送検知」で重送を検知します。
(→ P.4-10 「重送検知の設定」)

原稿の長さで重送を検知

サイズの同じ原稿の束をスキャンする際に有効な検知方法で、1枚目の原稿の長さを基準として基準の長さより35mm以上長い、または短い原稿を検知したときに重送と判断して搬送を停止させます。

超音波重送検知

サイズの異なる原稿の束をスキャンする際に有効な検知方法で、重なって搬送された原稿の隙間を超音波で検知したときに重送と判断して搬送を停止させます。



- 超音波重送検知は、原稿の重なりが50mm以上ある場合に有効です。
- 静電気などにより原稿が密着しているようなときは、超音波による重送検知が正常に機能しない場合があります。
- 付箋紙やラベルなどの隙間を重送として誤検知するようなときは、ISIS/TWAIN ドライバの設定によって非検知領域を設定することができます。(→ P.8-19 「重送検知」)

■ 斜行検知

長い原稿が斜行した場合、原稿が給紙口や搬送路の端に接触して原稿が破損することがあります。

本スキャナは、斜行した原稿が搬送路の端に接触したことを検知したときにエラーメッセージを表示して搬送を停止させます。

```

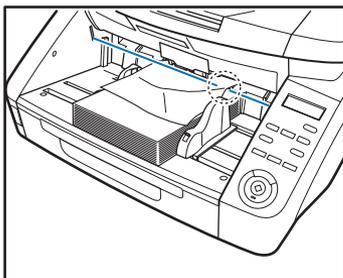
シャコウヲ ケンチシマシタ
                                J 0 1 8
  
```



- 原稿が搬送路の端に当たらない場合、斜行してもセンサーには検知されません。
- ISIS/TWAIN ドライバには、画像から原稿の斜行を検知して、画像をまっすぐに補正する斜行補正機能があります。

■ ステープル検知

ステープル検知は、ステープルで綴じられた原稿が給紙されたときに発生する原稿の跳ね上がりを給紙口の両側にあるセンサーで検知して搬送を停止させます。

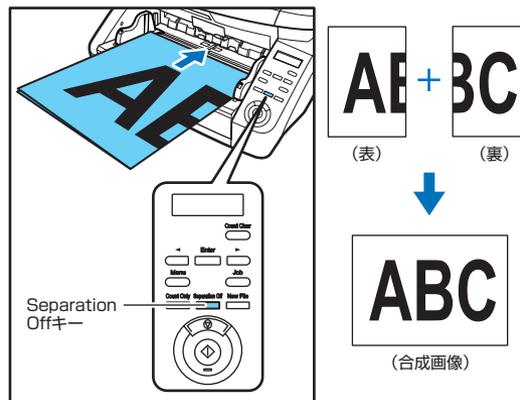


ステープル検知機能
J 0 0 1

- ! **重要**
 - ステープル検知は原稿の4隅の1箇所だけが綴じられている場合に発生する原稿の跳ね上がりを検知します。
 - 以下の場合、原稿の跳ね上がりが発生しないためステープル検知が正常に動作しないことがあります。
 - ・ 2箇所以上綴じられた原稿
 - ・ A5サイズより小さい原稿
 - ・ 左右の原稿ガイドの位置を変えて、原稿が右または左に寄っている場合 (→ P.3-8 「原稿ガイドの調整」)
- 💡 **ヒント**
 - ステープル検知は、ISIS/TWAINドライバによって設定し、ユーザーモードで検知精度を設定します。(→ P.4-10 「ステープル検知レベルの設定」)
 - カウントオンリーモード時のステープル検知はユーザーモードで設定します。(→ P.4-10 「ステープル検知の設定」)

■ 半折りスキャン

半折りスキャンは、大判の原稿(最大サイズ:A1)を半分に折った状態で両面スキャンを行い、スキャンした表裏の画像を1枚の画像に合成します。



- ! **重要**
 - 半折りスキャンは、手差し給紙(Separation Offキーが点灯)で1枚ずつ給紙します。
 - 原稿の折り目はしっかり付けてください。原稿の折り目によっては紙詰まりや画像のずれの原因になります。
 - 原稿の折り目や原稿をセットした位置のずれなどにより、画像を合成したときのつなぎ目は残ります。
 - 原稿は折り目を右側にしてセットします。
 - おもて面の画像が合成された画像の左半分になります。
 - 半折りスキャンできる原稿の最大サイズはA1サイズの原稿です。
 - A1サイズの原稿は縦長で半折りにし、以下の設定でスキャンを行います。
 - スキャナ: 長尺モード [ON1]
 - 用紙サイズ: 自動サイズ検知
 - 長尺モードを有効にしてスキャンすると、画像が欠けることがあります。A1サイズの原稿をスキャンするとき以外は長尺モードを [OFF] にしてください。

- 読み取りモードをカラー、画像品質を「画質優先」、読み取り面を「両面」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、白黒にしたり、画像品質を低くしたり、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。



ヒント

半折りスキャンは、ISIS/TWAINドライバで読み取り面の設定を「半折り」に設定してスキャンを行います。(→P.8-9)

■ インプリンタ (オプション)

スキャンした後の原稿に任意の文字列を印字するインプリンタがオプションで用意されています。詳細については、お買い求めの販売店または、担当サービスにお問い合わせください。



ヒント

- 印字する文字列や印字位置は、ISIS/TWAINドライバで指定します。(→P.8-24)
- インプリンタを装着しない場合でも、設定した文字列を画像にアドオンすることができます。

3. ユーザーモード

ユーザーモードは、本機の機能の一部をユーザーが任意に変更することができる機能です。

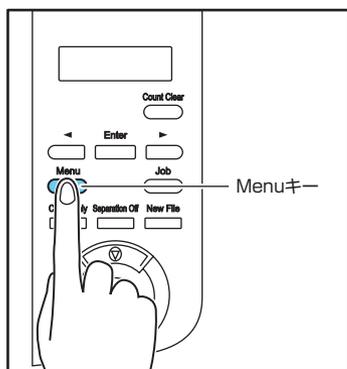
ユーザーモードの操作手順

ユーザーモードは以下の手順で操作します。



ユーザーモードの機能によっては操作手順が異なります。詳細については、それぞれの該当ページを参照してください。

1. 操作パネルの「Menu」キーを押します。



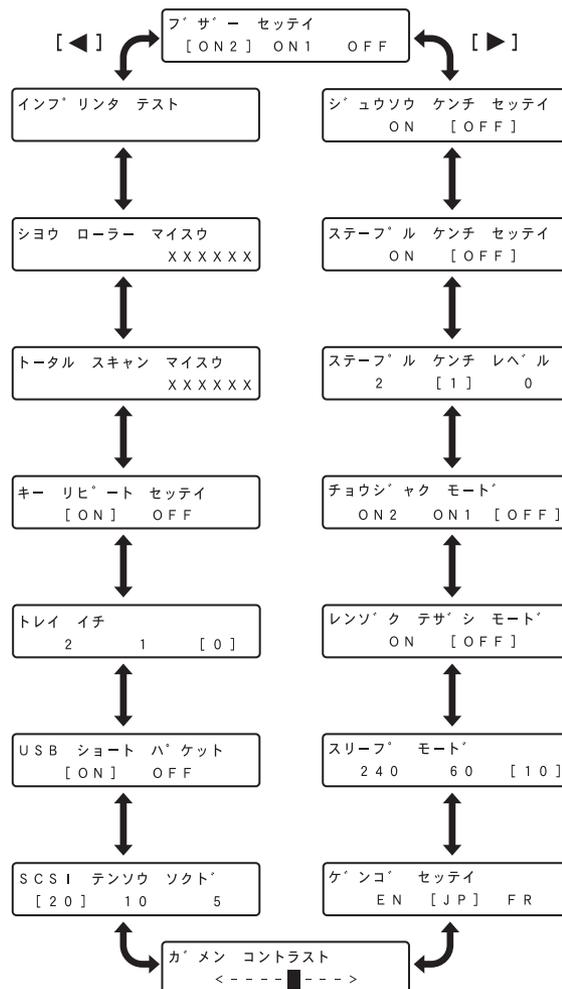
ユーザーモードになります。

```
フ' サ' - セッテイ
[ ON2 ] ON1 OFF
```

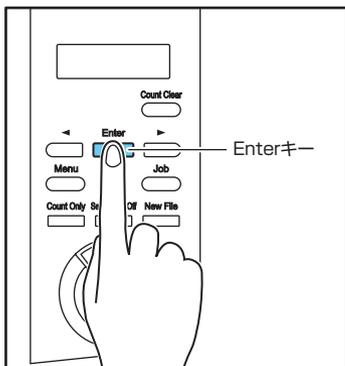
2. [◀]、[▶] キーを押してユーザーモードを選択します。

```
チョウシ' ャク モー'
ON2 ON1 [ OFF ]
```

ユーザーモードは次の順に表示されます。



3. [Enter] キーを押します。



[] が点滅して設定モードになります。



4. [◀]、[▶] キーで選択し、[Enter] キーで確認します。



5. ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

4. ユーザーモードの機能

ユーザーモードには以下の機能があります。

■ ブザーの設定

フ ザ ー セ ッ テ イ
[ON 2] ON 1 OFF

操作パネルのキーを押したときや、本機がエラーを起こしたときにブザーを鳴らします。

ON2: スキャナエラーと操作パネルのキーを操作したときにブザーを鳴らします。

ON1: スキャナがエラーのときにブザーを鳴らします。

OFF: ブザー音なし。

■ 重送検知の設定

シ ュ ウ ソ ウ ケ ン チ セ ッ テ イ
ON [OFF]

カウントオンリーモード時の重送検知機能の有効/無効を設定し、[ON]にするとカウントオンリーモードで搬送中の重送検知を有効にします。

重送検知機能についてはP.4-5「[重送検知](#)」を参照してください。

■ ステープル検知の設定

ス テ ー プ ル ケ ン チ セ ッ テ イ
ON [OFF]

カウントオンリーモード時のステープル検知を設定します。ステープル検知機能についてはP.4-6「[ステープル検知](#)」を参照してください。

ON : カウントオンリーモード時にステープルを検知します。

OFF : カウントオンリーモード時にステープルを検知しません。

■ ステープル検知レベルの設定

ス テ ー プ ル ケ ン チ レ ベ ル
2 [1] 0

ステープル検知の感度を設定します。

出荷時は [1] (標準) に設定され、[2] で感度を強く、[0] で感度を弱く設定します。

■ 長尺モードの設定

チ ョ ウ シ ャ ク モ ー ト
ON 2 ON 1 [OFF]

用紙サイズを自動検知にしてスキャンしたときに、3,000mmまでの長さの原稿を検知してスキャンできるようにします。

(→ P.3-4「[長尺モードの設定](#)」)

ON2: 3,000mmまでの長さの原稿を自動検知でスキャンできます。

ON1: 1,000mmまでの長さの原稿を自動検知でスキャンできます。

OFF: 432mmまでの長さの原稿を自動検知でスキャンできません。



自動検知でスキャンできる長さを越える原稿を搬送したときは紙詰まりで搬送を停止します。

ヒント

■ 連続手差しモードの設定

レ ン ゾ ー ク テ サ シ モ ー ト
ON [OFF]

ピックアップローラーによる原稿の引き込みを無効にし、セットした原稿の束を作業者が1枚ずつ手で送り込みます。

(→ P.3-11「[連続手差しモード](#)」)

ON : ローラーによる原稿の引き込みを無効にします。

OFF : ピックアップローラーで原稿を引き込みます。

■ スリープモードの設定

スリープ°	モード°	
240	60	[10]

スキャナを放置してからスリープモードに移行するまでの時間 (240分、60分、10分) を選択します。

■ 表示言語の設定

ケ°ンコ°	セッテイ	
EN	[JP]	FR

パネルに表示させる言語 (英語/日本語/フランス語) を設定します。

EN : パネルを英語表示にします。
 JP : パネルを日本語表示にします。
 FR : パネルをフランス語表示にします。

■ 画面コントラストの調整

カ°メン	コントラスト	
<-----	■	----->

表示パネルのコントラストを調整します。

■ SCSI 転送速度の設定

SCSI	テンソウ	ソクト°
[20]	10	5

SCSI の転送速度を設定します。

SCSI の転送速度の初期値は [20] (20MByte/sec.) に設定されており、初期値の設定でスキャナが正常に動作しない場合に転送速度を [10] (10MByte/sec.) または [5] (5MByte/sec.) に下げて使用します。

■ USB ショートパケットの設定

USB	ショート	ハ°ケット
[ON]		OFF

USB インターフェースで使用し、スキャナが正常に動作しないときに [OFF] に設定を変更します。

■ トレイ位置の設定

トレイ	イチ	
2	1	[0]

給紙トレイの基準位置をセットする原稿の量に合わせて設定します。(→ P.3-6 「給紙トレイの準備」)

DR-6050C の場合

0 : 300 枚以下
 1 : 100 枚以下

DR-9050C の場合

0 : 500 枚以下
 1 : 300 枚以下
 2 : 100 枚以下

■ キーリピートの設定

キー	リヒ°ート	セッテイ
[ON]		OFF

パネルの表示方法を設定します。

ON : キーを押し続けるとパネルの表示をスクロールします。
 OFF : キーを押すごとにパネルの表示をスクロールします。



キーリピートは以下のときに有効になります。

- ・ ジョブ機能を使用するとき
- ・ ユーザーモードの各機能を設定するとき

■ トータルスキャン枚数

トータル	スキャン	マイスウ
		X X X X X X

本機が用紙を搬送した総枚数を表示します。

■ 使用ローラー枚数

シヨウ	ローラー	マイスウ
		X X X X X X

給紙ローラー（ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー）を交換し、カウンタをリセットしてからの搬送枚数を表示します。（→P.5-6「カウンタ（搬送枚数）の確認とリセット」）

■ インプリンタテスト

インフ°	リント	テスト
------	-----	-----

オプションのインプリンタが搭載されているときに、インプリンタの印字テストを実行します。（→P.5-18「インプリンタテスト」）

第5章 メンテナンス

1. 日常のお手入れ	5-2
本体の清掃	5-2
センサーの清掃	5-2
読み取りガラスとローラーの清掃	5-3
電源プラグ	5-4
2. 給紙ローラーの交換	5-5
ローラーの交換時期	5-5
カウンタ（搬送枚数）の確認とリセット	5-6
ローラーの取り外し / 取り付け	5-7
3. インクカートリッジの交換と清掃 （インプリンタをお使いの場合） ..	5-14
インプリンタについて	5-14
インクカートリッジの交換	5-14
印字位置の調整	5-17
インプリンタの清掃	5-17
インプリンタテスト	5-18

1. 日常のお手入れ

本機の読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

- 注意**
- 清掃の際は、スプレー容器は使用しないでください。精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
 - シンナーやアルコールなどの有機溶剤はけっして使用しないでください。外装が変形、変色したり溶解する恐れがあり、故障の原因になります。
 - 上部ユニットを開閉するときは手はさまないように注意してください。

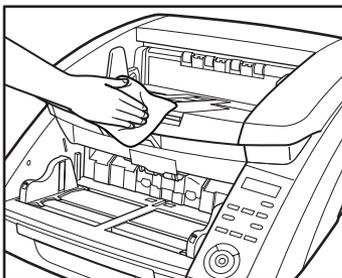
本体の清掃

■ クリーニングクロスについて

本機に同梱されているクリーニングクロスは、本体の内部の清掃の際に使用してください。

■ 本体表面の清掃

本体表面は、水を含ませて固くしぼった布で汚れを落とした後、きれいな乾いた布で拭きます。



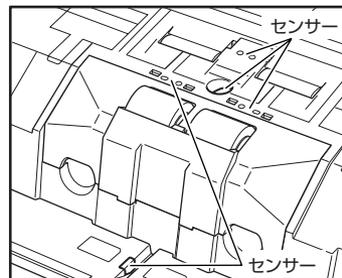
■ 給紙口、搬送路の清掃

給紙口や本体内部の搬送路にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。給紙口や搬送路にたまったほこりや紙粉はブロワーなどを使って定期的に取り除いてください。また大量の原稿をスキャンした後は、必ず紙粉の除去を行ってください。

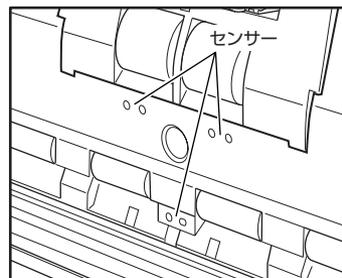
センサーの清掃

センサーにほこりやゴミがたまると誤検知の原因になります。センサー部にたまったほこりなどはブロワーなどを使い定期的に取り除いてください。

本体内部下側



本体内部上側（上部ユニット）

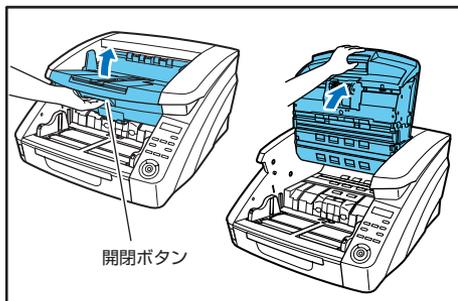


読み取りガラスとローラーの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスや搬送ローラーが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

! **重要** 読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店または、担当サービスに連絡して読み取りガラスを交換してください。

1. 電源スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 排紙補助トレイが開いているときは排紙補助トレイを閉じます。
3. 開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるところまで静かに開きます。

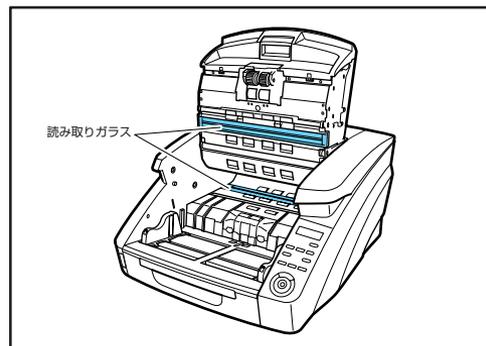


4. クリーニングクロスまたはきれいな乾いた布で、読み取りガラスの汚れを拭き取ります。

読み取りガラスは上下に2つあります。両方ともきれいに拭いてください。

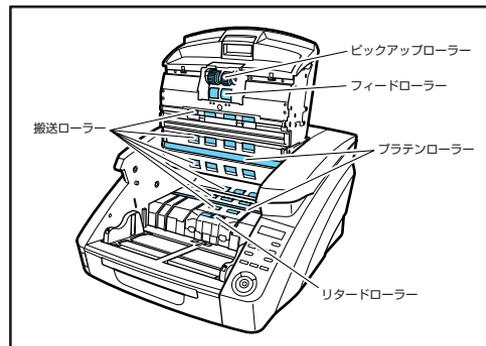


水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。



5. 水を含ませて固くしぼった布で、ローラーを回転させながら汚れを拭き取ります。

ローラーは図で示した箇所にあります。

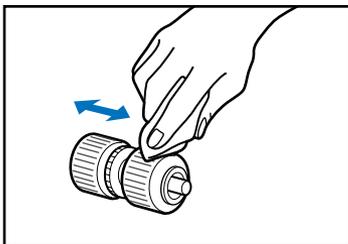


6. ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーを取り外します。(→P.5-7「ローラーの取り外し/取り付け」)

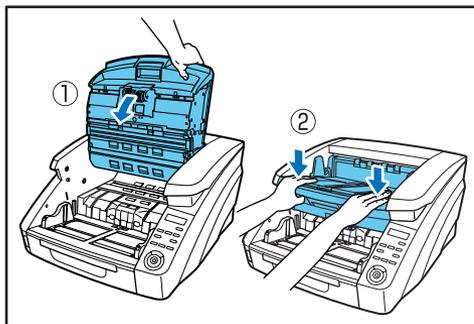


重要 ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーは、ローラーを取り外してから汚れを拭き取ってください。

7. 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラーの汚れを拭き取ります。



8. 取り外したローラーを取り付けます。(→P.5-7「ローラーの取り外し / 取り付け」)
9. 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)



! **重要** ローラーを清掃しても、紙詰まりや重送（原稿が重なって送られること）がたびたび起こる場合は、ローラーが磨耗している可能性があります。その場合はローラーの交換が必要です。お買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

電源プラグ

電源プラグを長期間コンセントに接続したままにすると、コンセントの接続部分にほこりがたまり、火災や感電の原因になります。定期的に清掃してください。

2. 給紙ローラーの交換

給紙ローラーが磨耗してくると、搬送性能が低下して紙詰まりなど原稿の搬送エラーが起きやすくなります。

ローラーの清掃を行っても原稿の搬送エラーの発生が改善されないようなときは、交換ローラーキットをお買い求めになり給紙ローラー（ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー）を交換してください。

ローラーの交換時期

給紙ローラーは消耗品で、搬送枚数25万枚を目安に交換が必要になります。

ローラーの搬送枚数が25万枚を越えた場合、スキャナの電源をオンにしたときにローラー交換のメッセージがパネルに表示されます。また、コンピュータを再起動してスキャナを認識したときにコンピュータの画面にもローラー交換のメッセージが表示されます。

ローラー コウカンシ[®] キテ[®] ス



- ローラー交換のメッセージが表示されたら交換ローラーキットをお買い求めになり、取り外し/取り付けの手順に従ってローラーを交換してください。

- ・ピックアップローラー (→P.5-7)
- ・フィードローラー (→P.5-9)
- ・リタードローラー (→P.5-11)

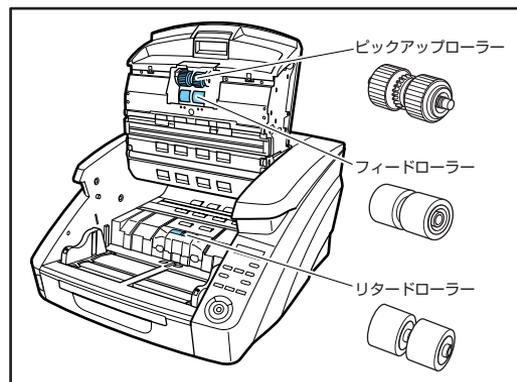
- ローラーが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは搬送枚数にかかわらず、ローラーの交換を行ってください。
- パネルに表示されたメッセージは、Count Clear キーでクリアされます。ただし、ローラーカウンタをリセットするまではスキャナの電源をオンにしたときに必ず表示されます。
- ローラーを交換したら、ローラーカウンタを必ずリセットしてください。
(→P.5-6「カウンタ（搬送枚数）の確認とリセット」)

■ 交換ローラーキットについて

交換ローラーキットは、ピックアップローラー、フィードローラーとリタードローラーの交換用キットです。詳細についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

商品名：交換ローラーキット

商品コード：4009B001



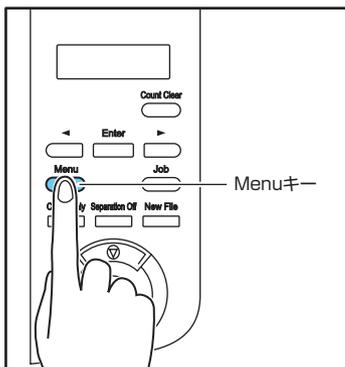
カウンタ（搬送枚数）の確認とリセット

使用中のローラーのカウンタは、ユーザーモードの「シヨウ ローラー マイスウ」で確認とリセットを行います。



- 「シヨウ ローラー マイスウ」は、交換したローラーの搬送枚数をカウントします。ローラーを交換したときは、カウンタのリセットを必ず行ってください。
- 「トータル スキャン マイスウ」は、搬送した原稿の累計枚数を表示し、「トータル スキャン マイスウ」はリセットできません。

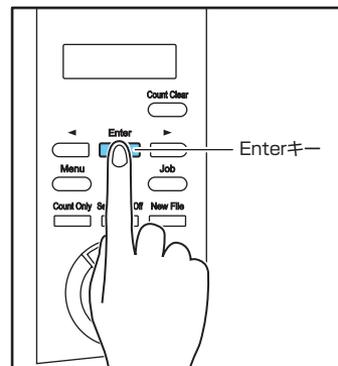
1. 操作パネルの「Menu」キーを押してユーザーモードに入ります。



2. [◀] キーを2回押して [シヨウ ローラー マイスウ] を表示させます。

シヨウ ローラー マイスウ
2 5 0 8 0 0

3. ローラーの搬送枚数を確認し [Enter] キーを押します。



カウンタのリセットモードになります。

シヨウ ローラー マイスウ
リセット [キャンセル]

4. [◀] キーを押して [リセット] を選択し、[Enter] キーを押します。

カウンタが0にリセットされます。

シヨウ ローラー マイスウ
0

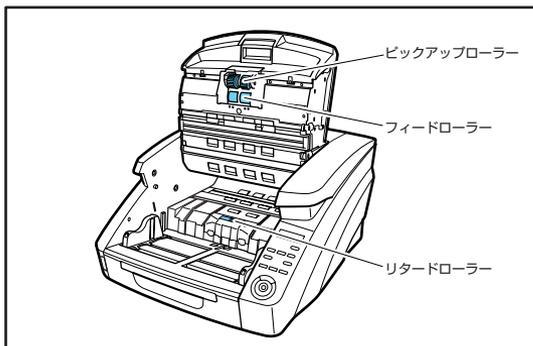
5. ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

ローラーの取り外し / 取り付け

ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーの清掃および交換の際は、以降の手順に従ってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

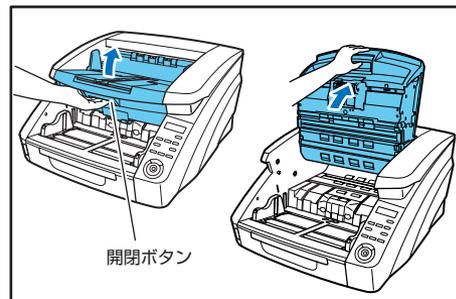


- ローラーの取り外し、取り付けを行うときには、電源スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が入ったまま作業をすると感電の原因になります。
- ローラーの取り外し、取り付けを行うときには、ローラーに無理な力を加えないでください。ローラーの変形による搬送エラーの原因になります。

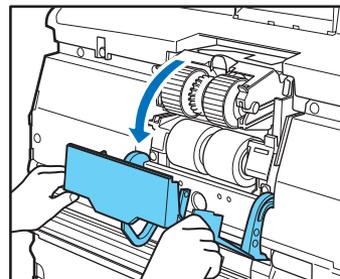


■ ピックアップローラーの取り外し / 取り付け

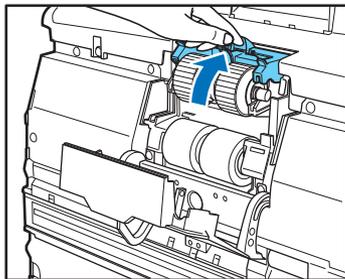
1. 開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるところまで静かに開きます。



2. ローラーカバーを開きます。



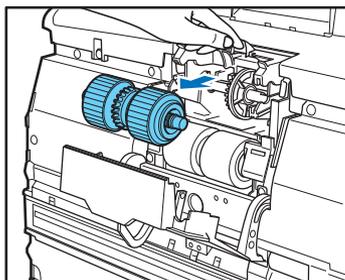
3. ローラーホルダを開きます。



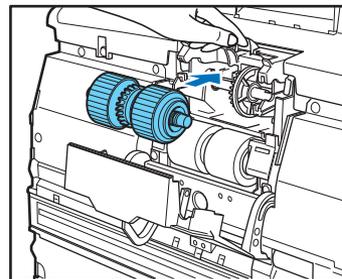
ローラーホルダは手を放すと元の位置に戻ります。

ヒント

4. ピックアップローラーを取り外します。

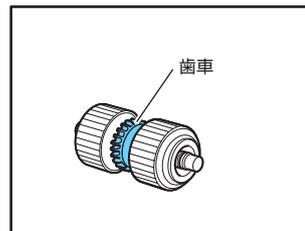


5. ローラーホルダを開き、ピックアップローラーをセットします。

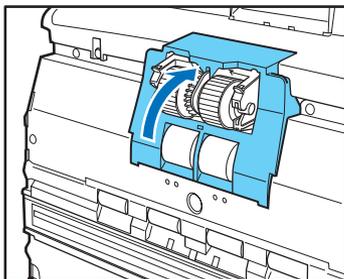


ピックアップローラーは歯車がついている側を左側にしてセットしてください。

重要

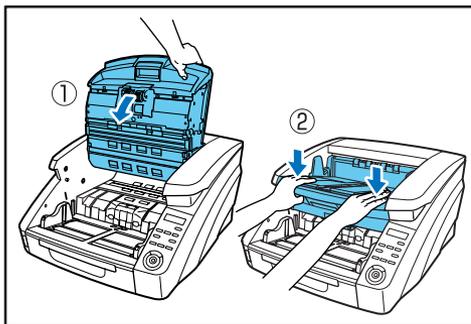


6. ローラーカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



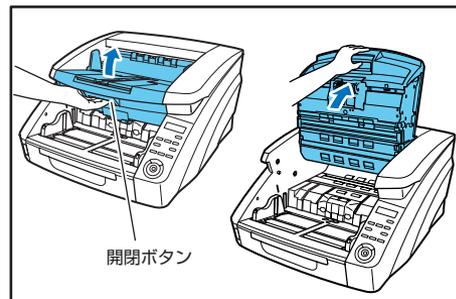
重要 ローラーホルダ、ローラーカバーがしっかり閉じていないと給紙エラーの原因になります。ローラーホルダ、ローラーカバーがしっかり閉じていることを必ず確認してください。

7. 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)

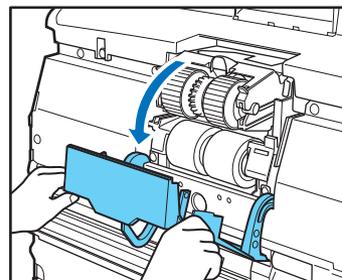


■ フィードローラーの取り外し / 取り付け

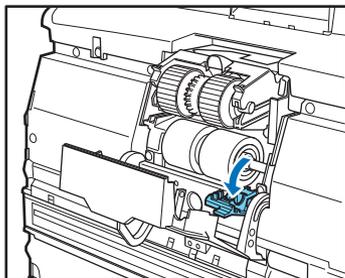
1. 開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるまで静かに開きます。



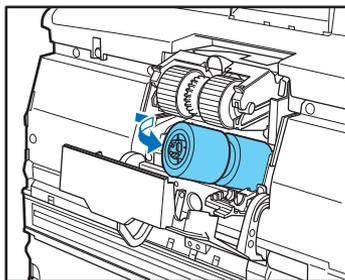
2. ローラーカバーを開きます。



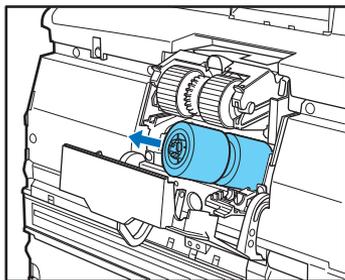
3. ローラー固定レバーを手前に倒します。



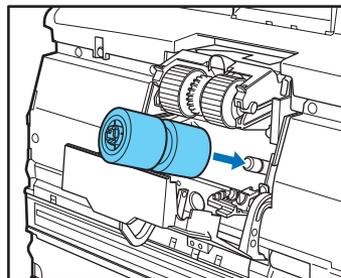
4. フィードローラーを右方向にスライドさせて手前に起こします。



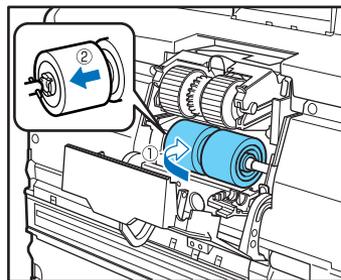
5. フィードローラーを取り外します。



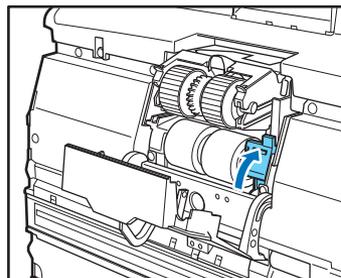
6. フィードローラーをピンにセットします。



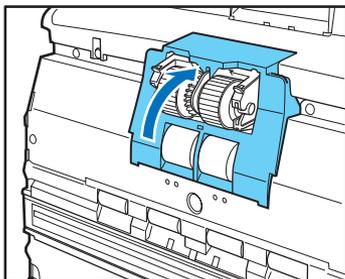
7. フィードローラーをセットし (①)、ローラーの切り欠き部を本体の軸に合わせます。(②)



8. ローラー固定レバーを起こしてフィードローラーを固定します。

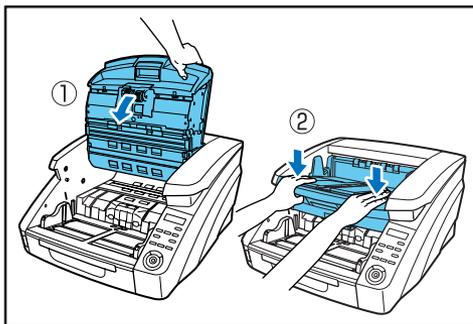


9. ローラーカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



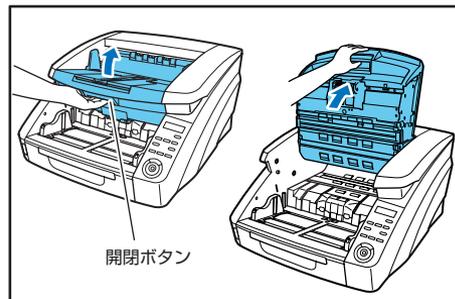
! ローラーカバーがしっかり閉じていないと給紙エラーの原因になります。ローラーカバーがしっかり閉じていることを必ず確認してください。

10. 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)

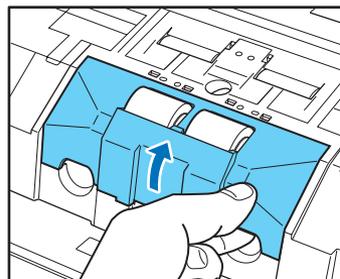


■ リタードローラーの取り外し / 取り付け

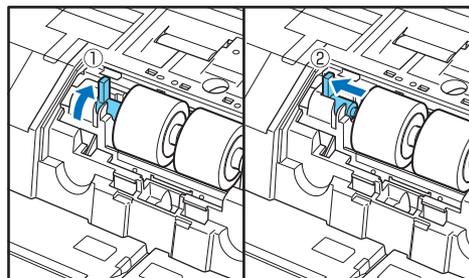
7. 開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるまで静かに開きます。



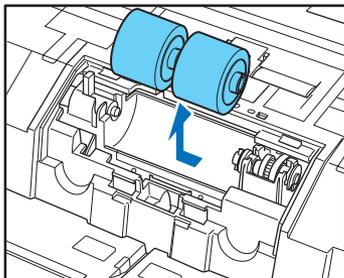
2. ローラーカバーに指をかけて取り外します。



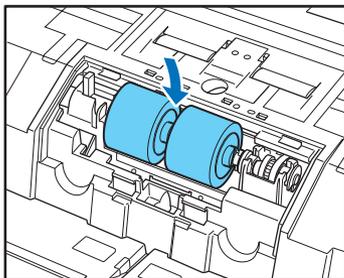
3. ローラー固定レバーを① → ②の順に動かします。



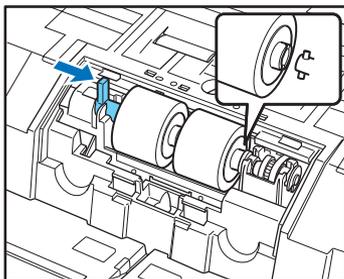
4. リタードローラーを取り外します。



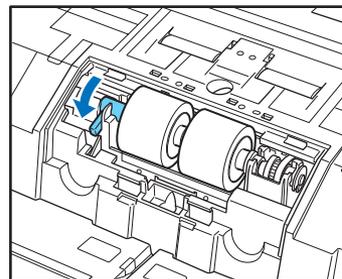
5. リタードローラーをセットします。



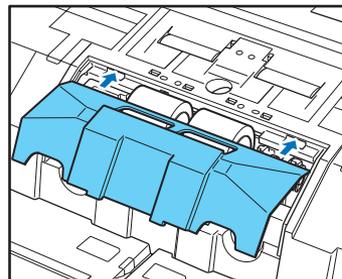
6. ローラーの切り欠き部を本体の軸に合わせて、ローラー固定レバーを矢印方向にスライドさせます。



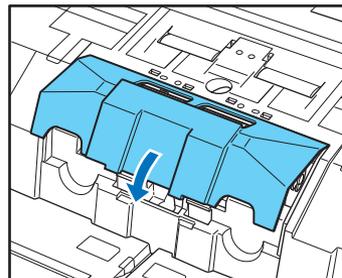
7. ローラー固定レバーを倒してリタードローラーを固定します。



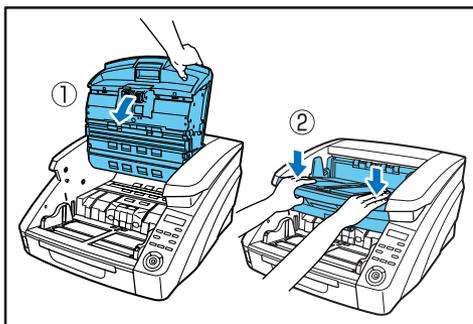
8. ローラーカバーをセットします。



9. ローラーカバーの手前を押し込みます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



10. 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。 (②)



注意

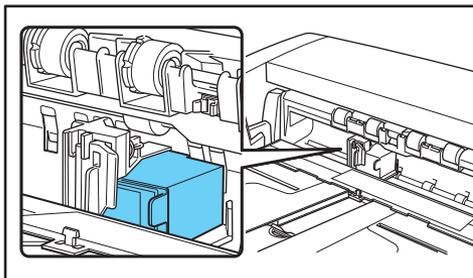
フックが完全に引っ掛かり、ローラーカバーが浮いていないことを確認してください。ローラーカバーが浮いた状態だと、給紙トレイが引っ掛かり、正常に動作しない原因になります。

3. インクカートリッジの交換と清掃（インプリンタをお使いの場合）

オプションのインプリンタをお使いの場合、インクが消耗すると印字が擦れたり印字できなくなります。インクカートリッジは予備のカートリッジを用意することをお勧めします。

インプリンタについて

スキャンした原稿に印字するインプリンタのインクカートリッジは以下の場所に収納されています。



■ インクカートリッジの準備

インクカートリッジにはHP社製のインクカートリッジを使用し、青、赤、緑の3色が用意されています。詳細についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

商品名：インクカートリッジ（青）

商品コード：3693A002

商品名：インクカートリッジ（赤）

商品コード：3693A003

商品名：インクカートリッジ（緑）

商品コード：3693A004

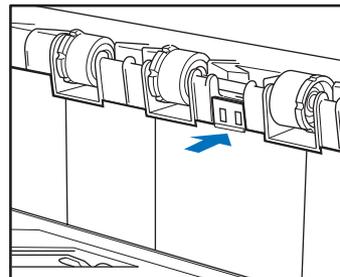
インクカートリッジの交換

インクカートリッジの交換は、以下の手順で行います。

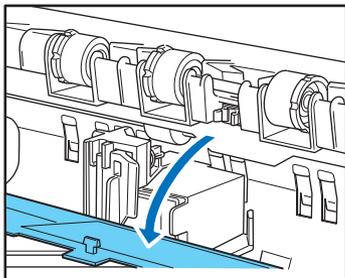
! インクカートリッジを交換したら、テスト印字で印字状態を確認します。（→P.5-18「インプリンタテスト」）
重要

1. 原稿ガイドを左右いっぱいに開きます。
2. インプリンタカバーの矢印部を指で押し込んでから離します。

インプリンタカバーのロックが外れ、手前に開きます。



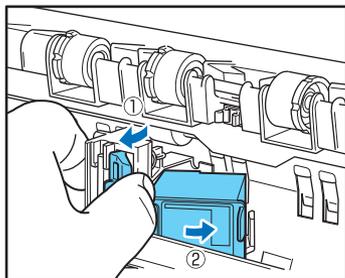
3. インプリンタカバーを排紙トレイに当たるまで開きます。



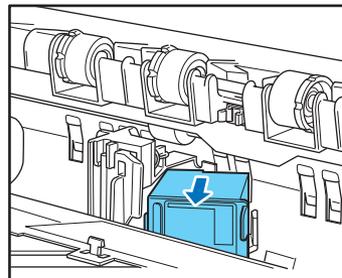
インプリンタカバーは、完全に開いた状態で作業を行ってください。

ヒント

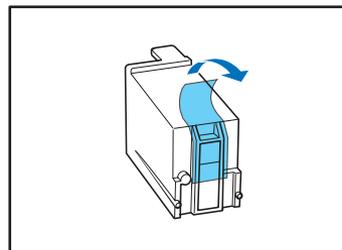
4. ロックレバーを手前に引いて (①) インクカートリッジのロックを外します (②)。



5. インクカートリッジを取り外します。

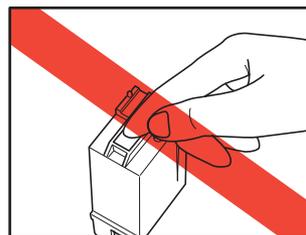


6. 新しいインクカートリッジの吐出部を覆っているシールを剥がします。

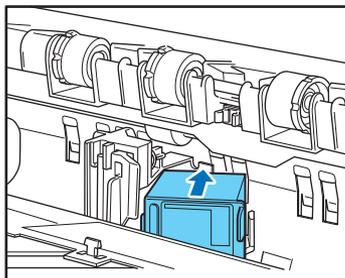


注意

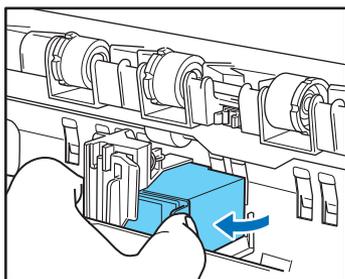
インクカートリッジの吐出部を覆っているシールは、使用するまで剥がさないでください。また、インクカートリッジの接点やインクの吐出部には絶対に触らないでください。



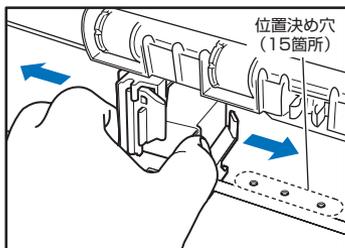
7. インクカートリッジの吐出部が右側にくるようにして
キャリッジにセットします。



8. インクカートリッジを矢印方向に「カチッ」と音がする
まで押し込みます。



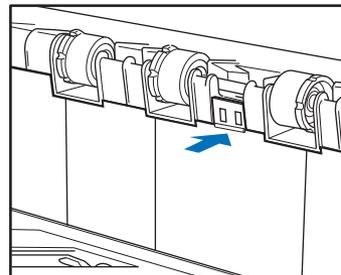
9. キャリッジを左右に動かして、クリック感がある位置に
キャリッジを調整します。(→P.5-17「印字位置の調
整」)



 クリック感がない場合、キャリッジの位置が位置決め穴と
ずれていますので、必ずクリック感がある位置に調整してく
ださい。
 ヒント

10. インプリンタカバーを閉じます。

インプリンタカバーの矢印部を指で押し込んでロックします。



 インプリンタカバーは、キャリッジが位置決め穴に正しく
入っていないと閉じることができません。インプリンタカ
バーが閉じないときは、キャリッジの位置を確認してくださ
い。
 ヒント

 インプリンタカバーを閉じたとき、インプリンタカバーが
ロックされて開かないことを確認してください。インプリン
タカバーが開いているとエラーが表示されます。
 重要

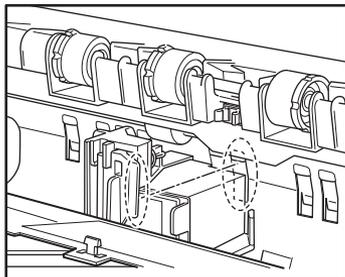
カハ[°]ーカ[°] アイテマス

C 0 0 9

印字位置の調整

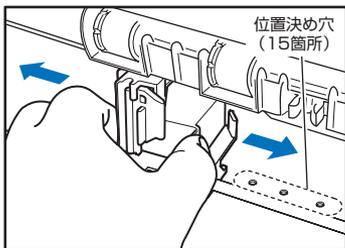
原稿の水平方向の印字位置を調整します。
 キャリッジを左右に動かして、位置決め用の穴(15箇所)にキャリッジを合わせます。

1. ロックレバーの先端を目安にして印字位置を合わせます。



ロックレバーは、先端の位置が印字位置と同じになるように設計されています。

2. キャリッジを左右に動かして、クリック感がある位置にキャリッジを調整します。

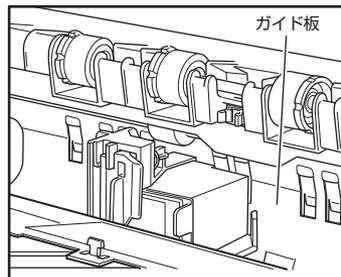


- クリック感がない場合、キャリッジの位置が位置決めのとずれていますので、必ずクリック感がある位置に調整してください。
- インプリンタカバーは、キャリッジが位置決めのとずれていると閉じることができません。インプリンタカバーが閉じないときは、キャリッジの位置を確認してください。

インプリンタの清掃

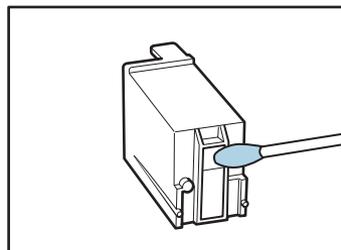
■ ガイド板の清掃

インプリンタ奥のガイド板にインクが付着していると、スキャン時に原稿が汚れることがあります。水や中性洗剤を含ませて固くしぼった布でガイド板に付着したインクを落とした後、きれいな乾いた布で拭いてください。



■ インクカートリッジの清掃

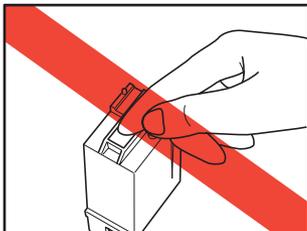
インプリンタのインクヘッドの吐出口がインクで汚れていると印字が擦れたり、原稿を汚す原因になります。インクヘッドは定期的に取り外して乾いた柔らかい布や綿棒などで清掃してください。





注意

インクカートリッジの接点部には、手を触れないでください。接触不良やドット抜けの原因になります。



インプリンタテスト

インクカートリッジを交換したときや、インクヘッドを清掃したときにテスト印字を実行して印字を確認します。テスト印字は、ユーザーモードの「インプリンタテスト」で実行します。



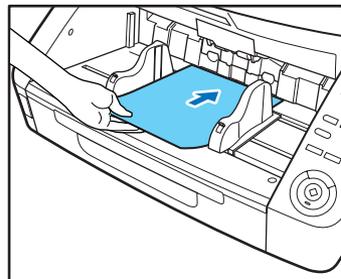
「インプリンタテスト」を実行する前に、テスト印字をする用紙を用意して、給紙トレイにセットします。

重要

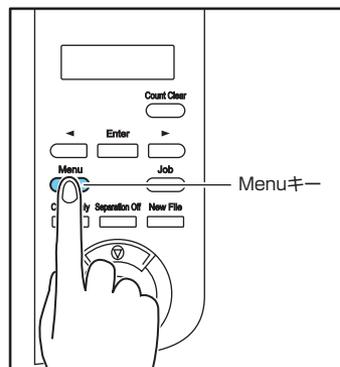
■ インプリンタテストの実行

「インプリンタテスト」は以下の手順で実行します。

1. 給紙トレイに印字テストを行う用紙を1枚セットします。



2. 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

```

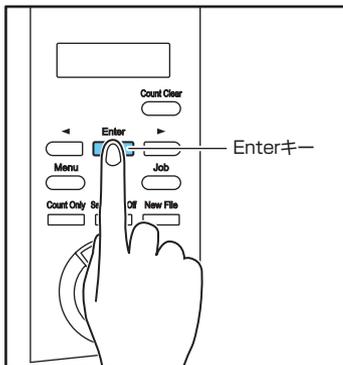
フ° サ°   セッテイ
[ ON 2 ]  ON 1   OFF
  
```

3. [◀] キーを1回押して「インプリンタテスト」を表示させます。

```

インプ° リンタ   テスト
  
```

4. [Enter] キーを押します。



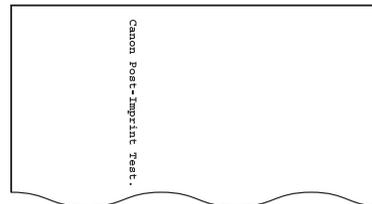
インプリンタテストモードになります。

```

インプ° リンタ   テスト
      OK   [ キャンセル ]
  
```

5. [◀] キーを押して [OK] を選択し、[Enter] キーを押します。

セットされているインプリンタのテスト印字を実行して終了します。



! テスト印字をする用紙がセットされていない場合、テスト印字を実行しないで終了します。
重要

6. ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

第6章 こんなときは

1. メッセージ	6-2
ステータス表示	6-2
エラーメッセージ	6-3
2. 困ったときは	6-5
トラブルの種類	6-5
現象と対処方法	6-5
3. ソフトウェアのアンインストール	6-9
ISIS/TWAIN ドライバのアンインストール	6-9

1. メッセージ

表示パネルに表示されるメッセージには、スキャナの状態を表示する「ステータス表示」と、スキャナにトラブルが発生したときに表示する「エラーメッセージ」があります。

ステータス表示

スキャナの状態によって表示パネルには以下のメッセージが表示されます。

● カウントチュウ...

カウントチュウ . . .
X X X X X

状態： カウントオンリーモードで動作中です。

● スタートキーヲ オシテクダサイ

スタートキーヲ オシテクダサイ

状態： 待機中です。原稿をセットして、スタートキーを押してください。

● スキャン カノウ

スキャン カノウ
0 0 0 0 0

状態： スキャナが使用可能です。

● スキャン チュウ...

スキャン チュウ . . .
X X X X X

状態： スキャン中です。

● スリープチュウ...

スリープ チュウ . . .

状態： スリープモードに移行しています。どれかキーを押すと復帰します。

● シバラク オマチクダサイ

シハラク オマチクダサイ

状態： スキャナが処理中です。表示が変わるまでお待ちください。

● ベリファイチュウ...

ヘリファイチュウ . . .
X X X X X

状態： ベリファイスキャン中です。

● ローラー コウカンジキデス

ローラー コウカンジキデス

状態： 使用中のローラーの搬送枚数が交換目安の25万枚を越えました。ローラーの状態を確認してください。
(→ P.5-5 「ローラーの交換時期」)

エラーメッセージ

表示パネルに以下のメッセージが表示された場合、本機にエラーが発生しています、対処方法に合わせて処理を行ってください。

■ インプリンタエラー

インフ^ル リンタエラー
H 0 0 1

エラーコード：H001

現象： インプリンタにインクカートリッジが装着されていません。

対処： インクカートリッジを装着してください。

■ カバーガ アイテマス

カハ^カーカ^カ アイテマス
C 0 0 1

エラーコード：C001

現象： 上部ユニットが開いています。

対処： 上部ユニットを閉じてください。(→P.5-4)

エラーコード：C009

現象： インプリンタカバーが開いています。

対処： インプリンタカバーを閉じてください。
(→P.5-16)

エラーコード：C010

現象： ピックアップローラーカバーが開いています。

対処： ピックアップローラーカバーを閉じてください。
(→P.5-9)

■ カミガツマリマシタ

カミカ^カ ツマリマシタ
P 0 0 1

エラーコード：Pxxx

現象： 紙詰まりです。

対処： 上部ユニットを開いて詰まっている原稿を取り除いてください。(→P.3-20)



ヒント

エラーコードは、詰まった原稿の位置によって変わります。

- ・ P001、P002：給紙口付近に原稿が詰まっています。
- ・ P004：スキャナ内部に原稿が詰まっています。
- ・ P006、P007：排紙口付近に原稿が詰まっています。

* P001、P006は、原稿の搬送速度が速過ぎたり、原稿の先端が正常に搬送されなかった等の原因が考えられます。

■ サービス コール エラー

サービ^ス コール エラー
E 0 0 0

エラーコード：Exxx

現象： スキャナの内部エラーです。

対処： 電源を入れ直してください。電源を入れ直してもエラーが表示されるときにはエラーコードを控えて、担当サービスに連絡してください。(→P.7-7)

■ シャコウヲ ケンチシマシタ

シャコウヲ ケンチシマシタ
J 0 1 8

エラーコード：J018

現象： 原稿が斜行して搬送路の壁に接触しました。

対処： 原稿を取り除いて確認してください。

■ ジュウソウヲ ケンチシマシタ

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 4

エラーコード：D002

現象： 原稿の長さで重送を検知しました。

対処： 原稿を確認し、スキャンをやり直してください。
(→P.3-21)

エラーコード：D004

現象： 超音波で重送を検知しました。

対処： 原稿を確認し、スキャンをやり直してください。
(→P.3-21)

■ ジュウソウヲ ケンチシマシタ (継続モード時)

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
[ムシスル] ヤリナオス

現象： 継続モードでスキャン中に原稿の重送を検知しました。

対処： 原稿を確認し、スキャンを継続してください。(→P.3-22)

■ ステープルヲ ケンチシマシタ

ステーフ° ルヲ ケンチシマシタ
J 0 0 1

エラーコード：J001

現象： ステープルで綴じられた原稿を検知しました。

対処： ステープルを取り除いてからやり直してください。

■ トレイ エラー

トレイ エラー
E 0 2 1

エラーコード：E021

現象： 給紙トレイの動作エラーです。

対処： 電源を入れ直してください。

■ マイスウガ イッチ シマセン

マイスウカ° イッチ シマセン
U 0 0 1

エラーコード：U001

現象： 設定した枚数でスキャンが終了しません。

対処： 原稿の枚数を確認してからやり直してください。

エラーコード：U002

現象： 設定した枚数より少ない枚数でスキャンが終了しました。

対処： 原稿の枚数を確認してからやり直してください。

2. 困ったときは

スキャナを使用するとき起こりうるトラブルと対処方法について説明します。

トラブルの種類

トラブルには以下のような現象が考えられます。

- 電源が入らない
- スキャナが認識されない
- スキャンできない (→ P.6-6)
- スキャン速度が遅い (→ P.6-6)
- 正しく給紙されない (→ P.6-6)
- 保存した画像ファイルが開けない (→ P.6-7)
- スキャン結果がおかしい (→ P.6-7)

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または担当サービス、サービス窓口にご相談ください。

現象と対処方法

■ 電源が入らない

スキャナの電源が入らないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ 電源コードが正しく接続されているか？
- ✓ 電源プラグがコンセントに差し込まれているか？

■ スキャナが認識されない (USB 接続の場合)

USB接続でスキャナが認識されないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因 お使いのUSBインターフェースにスキャナが対応していない

対処方法 本製品は、すべてのUSBインターフェースでの動作を保証していません。詳細については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。

原因 USBケーブルにスキャナが対応していない

対処方法 同梱のUSBケーブルをお使いください。

原因 USBハブを使用している

対処方法 USBハブを取り外してお使いください。

■ スキャナが認識されない (SCSI 接続の場合)

SCSI接続でスキャナが認識されないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？
- ✓ お使いのSCSIカードが正常に動作しているか？
- ✓ PCの電源をオンにしてからスキャナの電源をオンにしているか？

! SCSIの場合、スキャナの電源を後からオンにするとPCが正常に認識できない場合があります。
重要

その他、以下のような原因が考えられます。

原因 お使いのSCSIインターフェースにスキャナが対応していない

対処方法 推奨のSCSIカードをお使いください。(→ P.2-3)

原因 SCSI IDの重複

対処方法 デジチェーン接続で使用している他のSCSI機器とSCSI IDが重複しないように設定してください。

原因 SCSIターミネータの設定ミス

対処方法 本機とPCの間にSCSI機器を接続する場合、ターミネータは必ずオフに設定してください。

原因 デジチェーン接続による不具合

対処方法 デジチェーン接続を中止してお使いください。

■ スキャンできない

読み取りの操作を行ってもスキャンできないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	ISIS/TWAINドライバとジョブ登録ツールが正常にインストールされていない
-----------	---

対処方法	ISIS/TWAINドライバとジョブ登録ツールをアンインストールして、インストールを最初からやり直してください。
-------------	--



- システムエラーなどによりスキャナがまったく動作しなくなったときは、スキャナの電源をオフにし、10秒以上待ってからスキャナの電源をオンにしてください。その後、エラーが続けて発生するようときは、スキャナとコンピュータを再起動してください。
- コンピュータのメモリ容量を多く使用する設定でスキャンした場合、1度目のスキャンでは正常にスキャンできますが、同じ設定でもう一度スキャンするとメモリ不足エラーとなってスキャンできないことがあります。この場合は、使用するアプリケーションを再起動し、設定を変更してから再度スキャンしてください。

■ スキャン速度が遅い

スキャン速度が遅いときは最初に次のことを確認してください。USBインターフェースがHi-Speed USB2.0の速度を得られていない環境では、スキャン速度が低下します。

- ✓ USBインターフェースにUSB Full-Speed (USB 1.1相当)を使用していないか？
- ✓ USBケーブルは同梱品 (Hi-Speed USB2.0に対応)を使用しているか？
- ✓ USBハブでUSB 1.1相当のデバイスを同時に使用していないか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	他のアプリケーションが起動している
-----------	-------------------

対処方法	起動中のアプリケーションを終了させてください。
-------------	-------------------------

原因	ウイルス対策アプリケーションなど常駐しているアプリケーションによりメモリが不足している
-----------	---

対処方法	常駐しているアプリケーションを終了させてください。
-------------	---------------------------

原因	ハードディスクの空き容量が少ないため、TEMPフォルダに一時ファイルを作成できない
-----------	---

対処方法	ハードディスクのファイルを整理して空き容量を増やしてください。
-------------	---------------------------------

■ 正しく給紙されない

原稿が正しく給紙されないときは、最初に次のことを確認してください。

- ✓ 静電気などで原稿が密着していないか？
- ✓ スキャナが対応していないサイズや紙厚、紙質の原稿を使用していないか？ (→ P.3-3 「原稿について」)
- ✓ 給紙ローラーが汚れていないか？
- ✓ 給紙ローラーが磨耗していないか？



- 原稿が密着していると重送の原因になったり、紙厚や紙質によっては紙詰まりの原因になります。原稿をセットする前には、原稿をよく確認してからセットしてください。
- ローラーは消耗品です。ローラーを清掃しても改善が見られないようときは、お買い求めの販売店または担当サービスに連絡し、「交換ローラーキット」をお買い求めになり給紙ローラー (ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー) の交換を行ってください。(→ P.5-5 「給紙ローラーの交換」)

その他、以下のような現象と原因が考えられます。

現象	原稿を搬送しない
-----------	----------

原因	連続手差しモードになっている
-----------	----------------

対処方法	ユーザーモードで連続手差しモードを[OFF]にします。(→ P.3-12 「連続手差しモードの設定」)
-------------	---

■ 保存した画像ファイルが開けない

CapturePerfect 3.0 で保存した画像ファイルが他のアプリケーションで開けないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ 開こうとしたアプリケーションがCaptureperfect3.0で保存した画像ファイル (*.bmp, *.tif, *.jpg, *.pdf) に対応しているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	マルチページTIFFファイルに対応していない
対処方法	マルチページTIFFファイルに対応したアプリケーションで開いてください。または、CapturePerfect 3.0で保存するTIFFファイルをシングルページTIFFファイルで保存してください。
原因	CapturePerfect 3.0で設定する圧縮形式に対応していない
対処方法	CapturePerfect 3.0で画像ファイルを開き、圧縮形式を「なし」にして保存し直してください。

■ スキャン結果がおかしい

スキャンした画像がおかしかったりするときは、ISIS/TWAINドライバの設定が適切でない場合が多くあり、また、お使いのアプリケーションによっては、本機の機能に対応していないためにスキャンした画像がおかしくなる場合があります。

現象	スキャンした画像が濃い（または薄い）
原因	明るさの設定が適正な値になっていない。
対処方法	画像が濃いときは明るさの設定値を高く、画像が薄いときには明るさの設定値を低く調整してください。
現象	原稿の裏面の文字が写り込む
原因	明るさの設定値が低い。
対処方法	明るさの設定値を高くします。または、「裏写り/地色除去」の設定を有効にします。
原因	紙厚が薄い
対処方法	複写機で原稿をコピーしてからスキャンします。

現象	両面スキャンができない
原因	読み取り面の設定が「片面」になっている
対処方法	読み取り面を「両面」にてスキャンします。読み取り面の設定を「白紙をスキップする」にすると、白紙の面の画像が保存されません。

現象	スキャンした画像の周りに黒い枠ができる
原因	指定したサイズより小さい原稿をスキャンした。または、セットした原稿の位置がずれている。
対処方法	以下の対処方法から選択します。 (1) 用紙サイズの設定を「自動検知」にする (2) マージンの設定を一方向に調整する (3) 「黒枠消し」を有効にする

現象	スキャンした画像が斜めになる（斜行）
原因	原稿ガイドの位置が原稿より広くなっています。
対処方法	原稿ガイドの位置を原稿の幅に合わせます。

現象	画像にすじや汚れが入る
原因	読み取りガラスやローラーが汚れています
対処方法	読み取りガラスおよびローラーを清掃してください。 (→ P.5-2 「日常のお手入れ」) 読み取りガラスにキズが付いている場合にも画像にすじが入る原因になります。このようなときは、お買い求めの販売店に連絡してください。

現象	原稿によって画像が異常になる
原因	黒枠消しなどの検知機能を有効にしてスキャンした原稿の中に、原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれている（原稿の端を正常に処理できない）
対処方法	原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれているときは、検知機能をオフにしてスキャンするか、原稿を分けてスキャンしてください。

現象	アプリケーションによって画像が異常になる
原因	アプリケーションが対応していない機能を使用した
対処方法	自動サイズ検知などの設定は、アプリケーションが対応していない場合があります、このような機能を使用してスキャンした場合、スキャン結果が異常になることがあります。 アプリケーションによって画像が異常になるときは、検知機能をオフにしてスキャンしてください。

3. ソフトウェアのアンインストール

スキャナが正常に動作しないようなときは、ソフトウェアを再インストールすることにより解決することがあります。ソフトウェアを再インストールするときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてから再インストールを行ってください。

ISIS/TWAIN ドライバのアンインストール

本項では ISIS/TWAIN ドライバの手順を例に説明します。ジョブ登録ツール、CapturePerfect 3.0 についても同様の手順で行います。それぞれの手順に置き換えてお読みください。



重要

ソフトウェアをアンインストールするときは、必ず Administrator 権限のアカウントで Windows にログインしてください。



ヒント

本項では、Windows Vista での操作を例に説明します。

1. [スタート] ボタンをクリックし [コントロールパネル] をクリックします。

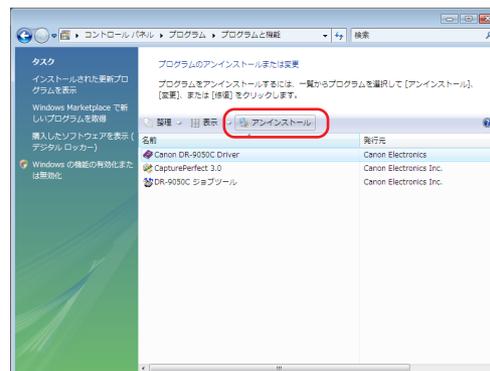


コントロールパネルが表示されます。

2. [プログラムのアンインストール] をクリックします。



3. プログラムの一覧から削除するアプリケーションを選択し、[アンインストール] ボタンをクリックします。



「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

4. [続行] ボタンをクリックします。

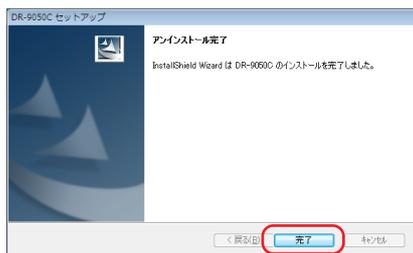


ファイル削除の確認画面が表示されます。

5. [はい] ボタンをクリックしてアンインストールを実行します。



6. アンインストールが完了したら [完了] ボタンをクリックして終了します。



第7章 付 録

1. 仕 様.....	7-2
本体仕様.....	7-2
別売品.....	7-3
消耗品.....	7-3
外形寸法図.....	7-4
2. オプション仕様.....	7-5
バーコード仕様.....	7-5
インプリンタ仕様.....	7-6
3. 保証とアフターサービス.....	7-7
保証とアフターサービス.....	7-7
サービス&サポートのご案内.....	7-7
保守サービスのご案内.....	7-8
4. 索引.....	7-10

1. 仕様

本体仕様

形式	卓上型シートスルースキャナ
読み取り原稿サイズ	
幅：	50.8 - 305 mm
長さ：	70 - 432 mm
厚さ：	52 - 209 g/m ² (0.06mm - 0.25mm) (連続給紙)
	42 - 255 g/m ² (0.05mm - 0.3mm) (手差し給紙)
給紙方法	連続給紙 / 手差し給紙 / 連続手差し給紙
積載枚数	
DR-6050C	上質紙300枚または高さ28 mm以下(最大)
DR-9050C	上質紙500枚または高さ48 mm以下(最大)
読み取りセンサー	コンタクトイメージセンサー
光源	LED
読み取り面	片面 / 両面 / 白紙スキップ
読み取りモード	白黒、誤差拡散、アドバンステキストエンハンスメント、アドバンステキストエンハンスメントII、256階調グレー、24ビットカラー
読み取り解像度	100dpi / 150dpi / 200dpi / 240dpi / 300dpi / 400dpi / 600dpi

読み取り速度 (A4 縦送り)

	DR-6050C		DR-9050C	
白黒	片面	200dpi	60 枚/分	90 枚/分
		300dpi	60 枚/分	90 枚/分
	両面	200dpi	120 面/分	180 面/分
グレー	片面	200dpi	60 枚/分	90 枚/分
		300dpi	60 枚/分	90 枚/分
	両面	200dpi	120 面/分	180 面/分
カラー	片面	200dpi	60 枚/分	90 枚/分
		300dpi	60 枚/分	90 枚/分
	両面	200dpi	120 面/分	180 面/分
		300dpi	120 面/分	170 面/分
その他	重送検知、斜行補正、ユーザーモード、長尺モード、半折りスキャン			
外形寸法	480 (W) × 531 (D) × 311 (H) mm			
最大外形寸法 (給紙補助トレイ/ワイヤ、排紙補助トレイ/排紙ストッパーを開いた状態)	480 (W) × 718 (D) × 390 (H) mm			
質量	約22.5kg			
電源	AC100V 50/60Hz			
消費電力	動作時 (最大) : 86 W			
	Sleep Mode時 : 3.3 W			
騒音	72 dB以下			
使用環境	温度 : 10℃-32.5℃			
	湿度 : 20%-80%RH			

* 製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

別売品

インプリンタユニット（商品コード：4009B003）

スキャンした後の原稿に任意の文字列を印字するためのインプリンタユニットです。（→P.4-7「インプリンタ」）

バーコードモジュール（商品コード：8927A003）

ISIS/TWAINドライバでバーコードを認識させるためのアドオンソフトウェアです。

（→P.8-21「バーコードダイアログボックスの設定」）

バッチコードデコーダ（商品コード：4009B002）

原稿内にあるバッチコードを検知するためのユニットです。

（→P.3-18「バッチコードシートの利用」）

消耗品

交換ローラーキット（商品コード：4009B001）

給紙ローラー（ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー）の交換用キットです。（→P.5-5「給紙ローラーの交換」）



重要

- ・給紙ローラーは消耗品です。ローラーが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは搬送枚数にかかわらず、ローラーの交換を行ってください。
- ・交換ローラーキットについての詳細については、お買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

インクカートリッジ：青（商品コード：3693A002）

インプリンタで使用する青色のインクカートリッジです。（→P.5-14「インクカートリッジの交換」）

インクカートリッジ：赤（商品コード：3693A003）

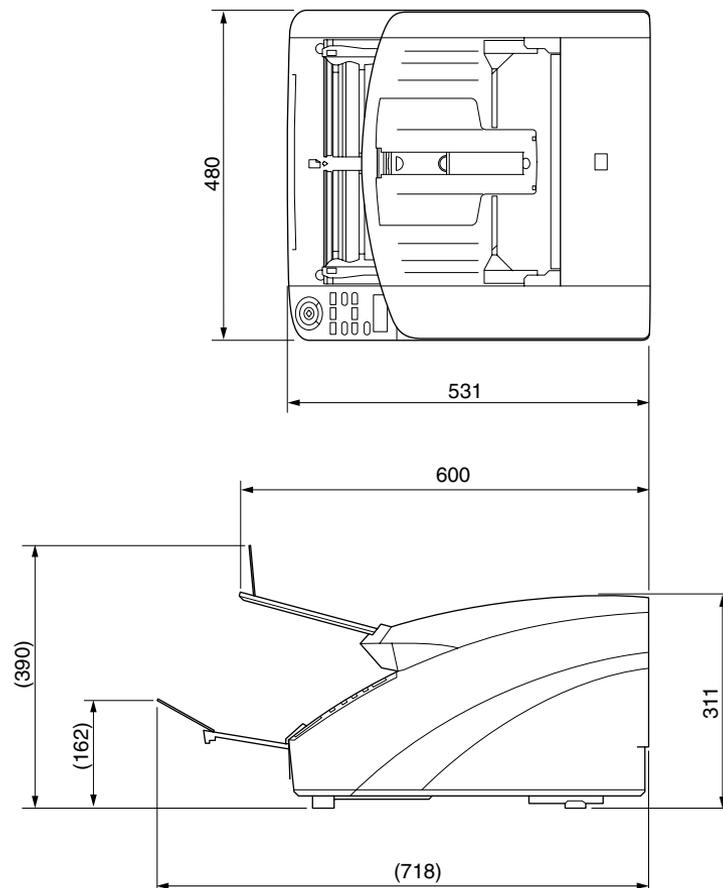
インプリンタで使用する赤色のインクカートリッジです。

インクカートリッジ：緑（商品コード：3693A004）

インプリンタで使用する緑色のインクカートリッジです。

外形寸法図

単位：mm



2. オプション仕様

本項では、別売品 (→P.7-3) のバーコードモジュールとインプリンタの仕様について説明します。パッチコードデコーダで検知するパッチコードの仕様については「パッチコードシートの利用」(→P.3-18) を参照してください。

バーコード仕様

バーコードは、オプションのバーコードモジュールをインストールすることにより以下の仕様のバーコードを読み取ることができます。

■ バーコードの種類

コード	桁数	チェックデジット
EAN/JAN	8または13	モジュラス10/ウェイト3
CODABAR	3~32 (START/STOP CHARACTER 含む)	モジュラス16、7DR
CODE39	3~32 (START/STOP CHARACTER 含む) (スタンダードASCII/フルASCII)	モジュラス43
ITF	2~32 (偶数桁のみ)	モジュラス10/ウェイト3
CODE128	1~32 (有効データのみ)	モジュラス103
UPC-A	13	モジュラス10/ウェイト3
UPC-E	8	モジュラス10/ウェイト3

* EAN/JAN, UPC-A, UPC-E はアドオンに対応

■ 認識条件

項目	条件	
印刷面	表または裏面 (両面可、ただし速度低下あり)	
向き	搬送方向に対し直角 (0度) および水平 (90度)  あらかじめ読み取り方向を指定すること 注) 両方向を指定した場合は速度低下あり	
大きさ	ライン幅	0.3 mm ~ 1.0 mm CODE128、UPC-A、UPC-E、 EAN/JANはモジュール幅が0.508 mmを 越えると誤認識する
	コード幅	105 mm以下(クワイエットゾーン含む)
	バー高さ	10 mm以上
	余白	片側につき1キャラクタ以上
傾き	±3度以内	
エレメント比	2.2~3.0	
PCS値	0.60以上 (白の反射率75%以上)	
位置	搬送方向	原稿端部から 2mm 以上内側
	幅方向	原稿端部から 5mm 以上内側
数	最大4個/1原稿	
間隔	5mm 以上	
条件	バーコードに背景、かぶりなきこと	

インプリンタ仕様

印字面	おもて面
印字位置	ISIS/TWAIN ドライバで設定 (→ P.8-26) 15箇所
印字内容	ISIS/TWAIN ドライバで設定
印字フォント	12x12 ドット、12x 8 ドット
文字間設定	あり (ISIS/TWAIN ドライバで設定)
印字桁数	最大 32 文字
印字紙	撥水処理をしていない普通紙
インクカートリッジ	HP 社製インクカートリッジ 色：青、赤、緑 (→ P.5-14)
画像密度	12 ノズル / スラント 1 列 (96dpi)
インク	水系インク

3. 保証とアフターサービス

保証とアフターサービス

- この商品には保証書が付いています
保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- 保証期間
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 修理サービスのご相談
修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または お客様相談センターへご相談ください。
- 修理を依頼される前に
「困ったときは」(→P.6-5) にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。
- 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと
 - － お客様のお名前
 - － ご住所、お電話番号
 - － 商品の品番
 - － 故障の内容（できるだけ詳しく）
- 補修用性能部品について
保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

サービス&サポートのご案内

- お客様相談センター
取り扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げいただいた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター  050-555-90072
全国共通電話番号

受付時間：＜平日＞9:00～12:00 / 13:00～17:00
(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。)

- ※ 上記番号は050から始まるIP電話(株式会社エヌ・ティ・ティエムイー (NTT-ME) のXePhion Call Direct) を利用しています。
NTTの固定電話(一般回線)から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金(10.4円/3分)でご利用になれます。
- ※ 携帯電話・PHSをご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承願います。
- ※ お客様が050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP電話からのご利用は、IP電話事業者間の接続状況によります。NTT-MEのXePhion Call Directの上記番号との通話(接続)可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP電話からつながらない場合の事象(話中音、アナウンス、ブザー音など)はプロバイダーによって異なります。
また、IP電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、043-211-9156におかけくださいますようお願いいたします。
- ※ お客様相談センターの詳細につきましてはキヤノンホームページ(<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>)をご参照ください、

● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取扱店およびキヤノンマーケティングジャパン(株)販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

● キヤノンホームページ <http://canon.jp/>

- ※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、ドライバのダウンロード、QA検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
- ※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ※ 通信料はお客様のご負担になります。

保守サービスのご案内

● ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任を持って機能の維持・管理など、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。)



● 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ発生費用が発生します。そこで、トラブルが起ってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

- **都度の修理料金は不要**
保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。
- **保守点検の実施**
お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。
(別途、有料となります。)

※天災、火災、第三者の改造などに起因するトラブルは除きます。

※消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

購入時契約のお勧め

ご愛用品を安心してお使いいただく為に、保守契約に加入をお勧めいたします。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン(株)までお願いします。

4. 索引

英字

CapturePerfect 3.0	3-14
SCSI コネクタ	2-6
SCSI 接続	2-7
USB コネクタ	2-6
USB 接続	2-6

ア行

安全にお使いいただくために	1-2
インクカートリッジ	5-14
インクカートリッジの交換	5-14
インクヘッドの清掃	5-17
インプリンタ	4-7, 5-14
インプリンタカバー	5-14
インプリンタテスト	5-18
エラーメッセージ	6-3
選んでインストール	2-4
おまかせインストール	2-4

カ行

カウンタ	5-6
カウントオンリーモード	4-4
各部の名称と機能	1-8
紙詰まり	3-20
給紙トレイ	3-6
トレイ位置	3-6
給紙方法	3-11
手差し給紙	3-11
連続給紙	3-11
連続手差しモード	3-11
給紙補助トレイ	3-7
給紙ローラーの交換	5-5
交換時期	5-5
クリーニングクロス	5-2

継続モード	3-22
原稿ガイド	3-6, 3-10
調整	3-8
原稿について	3-3
現象と対処方法	6-5
交換ローラーキット	5-5
困ったときは	6-5
コンピュータとの接続	2-6

サ行

斜行検知	4-5
重送	3-20
重送検知	3-21, 4-5
上部ユニット	5-3
ジョブ機能	3-13
スキャナの移動	1-3
スキャナの認識	2-9
スキャン	3-13
ステータス表示	6-2
ステーブル検知	4-6
清掃	
ガラス	5-3
センサー	5-2
電源プラグ	5-4
本体	5-2
ローラー	5-3
設置場所	1-2
セットアップ	2-2
セットアップメニュー	2-4
操作パネル	1-10
その他の機能	4-2

ソフトウェア	
アンインストール	6-9
インストール	2-4
タ行	
ターミネータ	2-8
超音波重送検知	4-5
長尺モード	3-4
ディジーチェーン接続	2-8
デバイスマネージャ	2-10
電源スイッチ	2-9, 3-2
電源について	1-2
電源のオン/オフ	3-2
動作環境	2-3
トラブルの種類	6-5
ナ行	
日常のお手入れ	5-2
日常の取り扱い	1-3
ハ行	
廃棄	1-4
排紙ストッパー	3-10
排紙トレイ	3-10
排紙補助トレイ	3-10
はじめに	i
パッチコードシート	3-18
パッチコードパターン	3-18
半折りスキャン	4-6
ベリファイカウント	4-4
ベリファイスキャン	4-4
マ行	
マニュアルの構成	i
マニュアルを読む	2-5
メッセージ	6-2

ヤ行	
ユーザーモード	4-8
操作手順	4-8
ユーザーモードの機能	4-10

ユーザーマニュアル（機能詳細編）

「ソフトウェア編」



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

目次**第 8 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定**

- 1. お使いになる前に 8-2
- 2. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス 8-4
 - 「基本」タブ 8-6
 - 「明るさ」タブ 8-13
 - 「画像処理」タブ 8-16
 - 「その他」タブ 8-18
 - 「インプリンタ / アドオン」タブ 8-24

第 9 章 ジョブ登録ツールの設定

- 1. お使いになる前に 9-2
 - ジョブ機能 9-2
 - ジョブ登録ツールの起動 9-2
- 2. ジョブ登録ツール 9-3
- 3. 設定ダイアログボックス 9-4
 - 「新規 / 編集」ダイアログボックス 9-4
 - 「管理」ダイアログボックス 9-7

第 10 章 こんなときは

- 1. 基本条件の設定について 10-2
 - 読み取りの基本条件の確認 10-2
- 2. こんなときは 10-3
 - 用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り 10-3
 - スキャン領域の指定 10-4
 - 目的に合わせたスキャナ設定 10-5
 - 設定の登録 10-9

第8章 ISIS/TWAIN ドライバの設定

- 1. お使いになる前に 8-2
- 2. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス 8-4
 - 「基本」タブ 8-6
 - 「明るさ」タブ 8-13
 - 「画像処理」タブ 8-16
 - 「その他」タブ 8-18
 - 「インプリンタ / アドオン」タブ 8-24

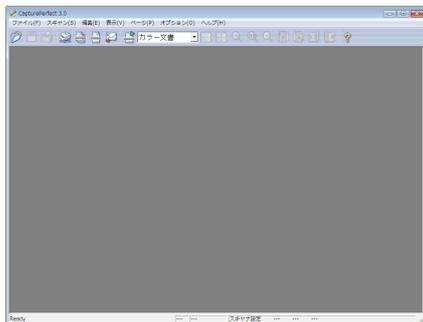
1. お使いになる前に

本機をISIS/TWAIN互換アプリケーションで使用するためには、最初に使用するスキャナとして本機を選択する必要があります。本項では、CapturePerfect3.0 (ISIS 互換アプリケーション) でのスキャナの選択方法について説明します。スキャナの選択方法は使用するアプリケーションによって手順が異なるので、使用するアプリケーションの使用説明書を参照してスキャナの選択を行ってください。

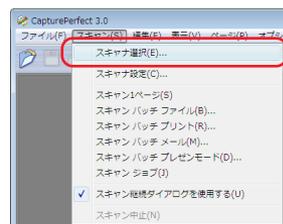
1. [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[CapturePerfect3.0]-[CapturePerfect3.0]をクリックします。



CapturePerfect3.0 が起動します。

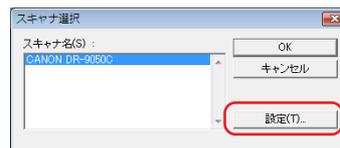


2. [スキャン] メニューから[スキャナ選択]をクリックします。



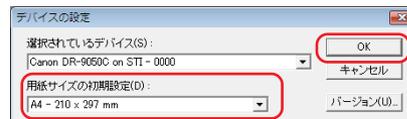
[スキャナ選択] ダイアログボックスが表示されます。

3. [CANON DR-XXXX] を選択し、[設定] ボタンをクリックします。(XXXX はお使いの機種により異なります)



重要 [CANON DR-XXXX]が表示されないときは、ISIS/TWAINドライバのインストールをやり直してください。

4. 用紙サイズの初期値を設定し、[OK] ボタンをクリックします。





重要

- ISIS ドライバの設定ダイアログボックスで [初期値] ボタンをクリックしたときに、ここでの設定が反映されません。
- TWAIN ドライバの場合、用紙サイズの初期値は A4 に設定され変更はできません。

5. [OK] ボタンをクリックしてスキャナを選択を終了します。

2. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス

CapturePerfect3.0やジョブ登録ツールなどのアプリケーションでスキャナの設定を行うメニューやボタンを選択すると、以下のISIS/TWAINドライバの設定ダイアログボックスが表示されます。ISIS/TWAINドライバの設定ダイアログボックスは「基本」、「明るさ」、「画像処理」、「その他」、「インプリンタ/アドオン」のタブで構成されます。詳細についてはそれぞれのタブの説明を参照してください。



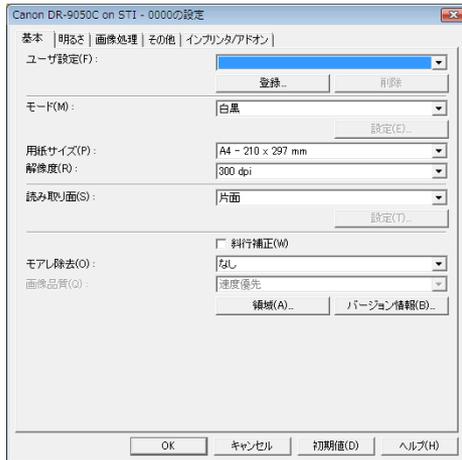
スキニングアプリケーションからスキャンを実行する手順については、「CapturePerfect3.0について」(→P.3-14)を参照してください。

ヒント

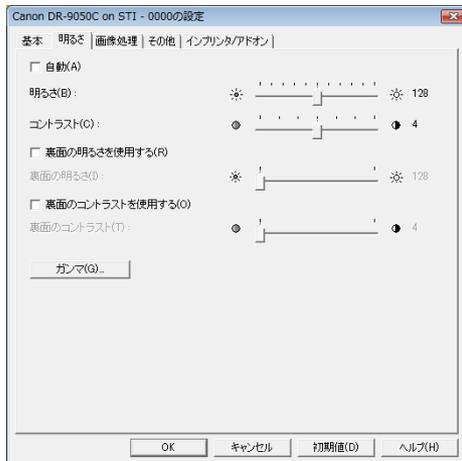
ISIS ドライバ設定ダイアログボックス

TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス

・「基本」タブ→P.8-6



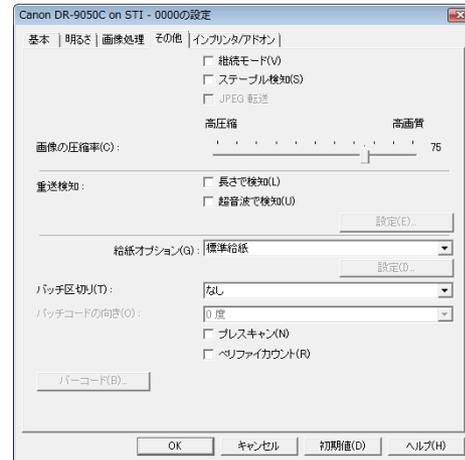
・「明るさ」タブ→P.8-13



・「画像処理」タブ→P.8-16



・「その他」タブ→P.8-18



・「インプリンタ/アドオン」タブ→P.8-24



ボタン

[OK] ボタン

設定した内容を反映させてダイアログボックスを閉じます。



ヒント

TWAINドライバで設定ダイアログボックスからスキャンを実行するアプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに[スキャン] ボタンが表示され、設定した内容でスキャンを実行します。(→ P.8-11 「スキャン領域ダイアログボックス」)

[キャンセル] ボタン

設定した内容を反映させないでダイアログボックスを閉じます。

[初期値] ボタン

設定を初期状態に戻します。

[ヘルプ] ボタン

開いているタブおよびダイアログボックスのヘルプを表示します。

「基本」タブ

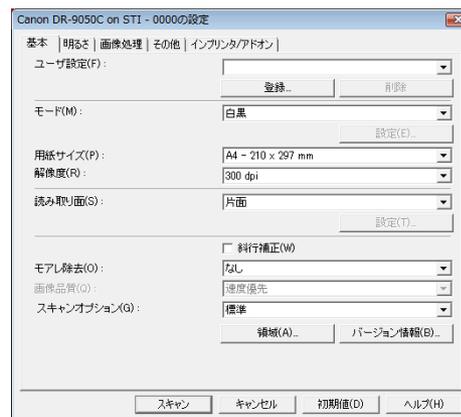
「基本」タブでは、基本的なスキャン条件の設定を行い、使用するアプリケーションによって設定できる項目が異なります。実際に表示される画面に合わせて設定を行ってください。

■ 「基本」タブの種類

基本タブには、以下の種類があります。

「基本」タブ (ISIS/TWAIN ドライバ)

CapturePerfectやジョブ登録ツールなどのアプリケーションで表示される「基本」タブです。

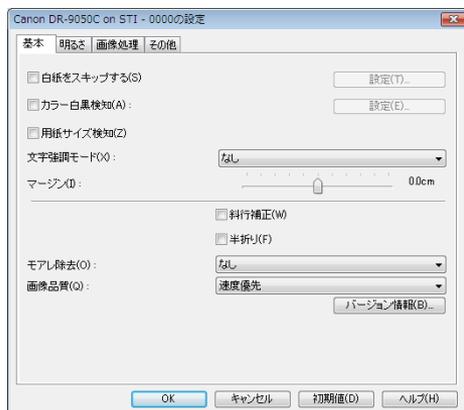


重要

- 「スキャンオプション」は、TWAINドライバで設定する機能で、ISISドライバでは表示されません。
- 設定ダイアログボックスからスキャンを実行するTWAIN互換アプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに[スキャン] ボタンが表示されます。

「基本」タブ拡張版 (ISIS ドライバのみ)

ISIS互換アプリケーションで、スキャンまたは設定用に用意された独自のダイアログボックスから「DR-6050C/9050C ISIS ドライバ」を呼び出したときに表示される「基本」タブです。この「基本」タブでは、独自の設定ダイアログボックスでサポートされない本機の機能の設定を行います。



● 「白紙をスキップする」、「カラー白黒検知」、「用紙サイズ検知」、「文字強調モード」、「マージン」、「半折り」については、以下の設定を参照してください。

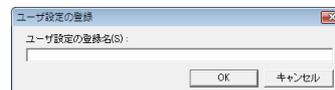
- ・ 「白紙をスキップする」 → 「読み取り面」
- ・ 「カラー白黒検知」 → 「モード」
- ・ 「用紙サイズ検知」 → 「用紙サイズ」
- ・ 「文字強調モード」 → 「モード」
- ・ 「マージン」 → 「スキャン領域」ダイアログボックス
- ・ 「半折り」 → 「読み取り面」
- [基本] タブ (拡張版) の [カラー白黒検知] は、ISIS 互換アプリケーションの独自の設定ダイアログボックスで読み取りモードをカラーに設定している場合のみ有効です。

■ 「基本」タブの設定項目

基本タブでは以下の設定を行います。

ユーザ設定

「登録」ボタンをクリックすると「ユーザ設定の登録」ダイアログボックスが開きます。



「ユーザ設定の登録」ダイアログボックスは、現在の設定をユーザ設定として名前を付けて登録します。

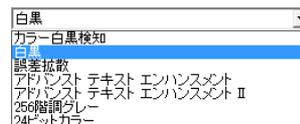
登録したユーザ設定をリストボックスから選択すると、選択したユーザ設定の内容がダイアログボックスに反映されます。



● 入力できる文字数は、半角で32文字、全角で16文字以下です。

モード

スキャンするモードを選択します。



- モードの設定によって機能の一部が制限されます。
(→ P.8-10 「モードによる機能の制限」、P.8-13 「明るさタブ」)
- アドバンスドテキストエンハンスメントは、文字の背景に色や模様がある原稿を白黒で読み取るときに適したモードで、文字の周りの背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。
- アドバンスドテキストエンハンスメントは背景の種類に合わせて2種類のモードが用意されています。原稿に適したモードを選択し、スキャン前にプレスキャンで画像を確認することをお勧めします。
- 画像ファイルをJPEGで保存するときは [256階調グレー] または [24ビットカラー] を選択します。
- モードが [256階調グレー]、[24ビットカラー] の2種類しか表示されないときは、[明るさ] タブのガンマ設定が [e-文書モード] に設定されています。

【カラー白黒検知】

スキャンした原稿が、白黒かカラーかを検知して、白黒画像またはカラー画像で保存します。

カラー白黒検知を選択すると「設定」ボタンが有効になり、「カラー白黒検知設定」ダイアログボックスを開いてカラー白黒検知の設定を行います。

(→ P.8-11 「カラー白黒検知設定ダイアログボックス」)

重要 アプリケーションによっては、【カラー白黒検知】を使用すると動作が不安定になる場合があります。このようなときは、【カラー白黒検知】を使用しないでください。

【白黒】

文字や線画の原稿を白黒 2 値で読み取ります。

【誤差拡散】

写真などの原稿を白黒 2 値で読み取るためのモードです。

【アドバンスドテキストエンハンスメント】

背景色が濃い原稿や、背景が模様など均でない原稿を読み取るときに適しています。

- ヒント** ● 背景が 均一 のときは、文字の周りの背景を除去します。
- 背景が模様など均でない場合には、文字が読みやすくなるように背景を処理します。

【アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ】

解像度が 300dpi 以下のときに表示され、背景色が均一で、文字や背景が薄い原稿の読み取りに適しています。

- ヒント** ● 文字の間隔が狭い部分の背景は除去できない場合があります。
- 文字が薄い原稿は、「明るさ」タブにあるコントラストを調整することにより文字が読みやすくなります。
- 背景が模様など均でない場合には、背景が表示され文字が読みにくくなる場合があります。

【256 階調グレー】

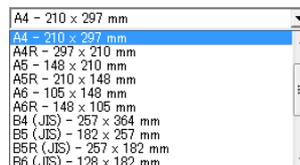
写真などの原稿をグレースケールで読み取ります。

【24 ビットカラー】

カラー写真などの原稿をフルカラーで読み取ります。

用紙サイズ

スキャンする原稿に合わせて読み取りサイズを選択します。



- 重要** ● 以下のような原稿をスキャンするときは、【自動検知】を選択します。
 - ・ 非定形サイズの原稿
 - ・ サイズの異なる原稿が混在している場合
 - ・ 長尺モードを使用する場合 (→ P.3-4 「長尺モードの設定」)
- 【自動検知】を選択した場合、スキャン領域ダイアログボックスの領域の設定が無効になります。
- 以下のようなときは、【自動検知】が正常に機能しないことがあります。このような原稿をスキャンするときは定形サイズ ([A4]、[レター] など) を選択するか、[領域] ボタンをクリックしてカスタム用紙サイズを登録します。(→ P.8-11 「スキャン領域ダイアログボックス」)
 - ・ 左右の端部に暗い部分がある原稿をスキャンする場合
 - ・ 光沢のある、光を反射するような原稿をスキャンする場合
 - ・ 明るさの設定が適切でない場合
 - ・ ガンマ設定ダイアログボックスが、カスタム設定になっている場合
- アプリケーションによっては、【自動検知】を使用すると動作が不安定になる場合があります。このようなときは、【自動検知】を使用しないでください。

解像度

スキャンする解像度を選択します。





ヒント

- 解像度を高くすると画像はきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなります。
- 解像度が300dpi以下のときは「モアレ除去」の設定が有効になり、解像度を400/600dpiにすると「画像品質」の設定が有効になります
- 解像度が400/600dpiのときは、モードの「アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ」が使用できません。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



【片面】

原稿のおもて面（上側）をスキャンします。

【両面】

原稿の両面をスキャンします。

【白紙をスキップする】

スキャンした画像から原稿が白紙であるかないかを判断し、白紙と判断された画像の保存をスキップします。

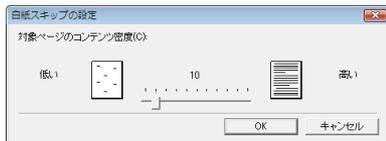


ヒント

- TWAIN ドライバで、読み取り面が【片面】で変更できないときは、「基本」タブにあるスキャンオプションが「1 ページスキャン」に設定されています。（→ P.8-10 「スキャンオプション」）



- 【白紙をスキップする】を選択すると、【設定】ボタンが有効になり、「白紙スキップの設定」ダイアログボックスを開きます。
- 白紙がスキップされなかったり、白紙でない原稿がスキップされるようなときは「白紙スキップの設定」ダイアログボックスで、コンテンツ密度を調整します。



- コンテンツ密度は白紙スキップさせる原稿に合わせて調整します。
 - ・ 白紙原稿がスキップされないときはコンテンツ密度を高く調整します。
 - ・ 白紙でない原稿がスキップされるようなときはコンテンツ密度を低く調整します。
- ガンマ設定ダイアログボックスが「カスタム」、[e-文書モード] になっている場合、白紙スキップが正常に動作しないことがあります。
- アプリケーションの設定に読み取り面の設定（片面、両面）がある場合、片面に設定してください。

【半折り】

原稿を2つ折りにしてセットし、両面をスキャンしてできた表裏の画像を1枚の画像に合成します。（→ P.4-6 「半折りスキャン」）



ヒント

- 【半折り】が表示されないときは、「その他」タブにあるバッチ区切りの設定が「バッチコード」（オプション）になっています。（→ P.8-20 「バッチ区切り」）

【斜行補正】 チェックボックス

原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像で斜行を検知して画像の傾きを修正します。



重要

以下のようなときは斜行補正が正常に動作しません。斜行補正をオフにしてください。

- ・ 周辺部に暗い部分がある原稿をスキャンする場合
- ・ 光沢のある、光を反射するような原稿をスキャンする場合
- ・ 明るさの設定が適切でない場合
- ・ ガンマ設定ダイアログボックスが、カスタム設定になっている場合

モアレ除去

解像度が300dpi以下のとき有効になり、スキャンした画像にモアレが発生するようなときに使用します。



ヒント

- 【高速モアレ除去】は、解像度が240dpi以下のとき表示されます。

[なし]

モアレ除去を行いません。

[高速モアレ除去]

読み取り速度を優先させるモードで、300dpi でスキャンした画像から指定した解像度の画像を生成します。

[高画質モアレ除去]

画質を優先させるモードで、600dpi でスキャンした画像から指定した解像度の画像を生成します。



- [高画質モアレ除去] を選択すると、画質は高画質になりますが、スキャン速度は低下します。
- 原稿サイズを「自動検知」にし、モードを「24ビットカラー」、読み取り面を「両面」にした組み合わせのときに [高画質モアレ除去] を選択してスキャンすると、スキャナ本体のメモリ不足により、原稿の一部がスキャンできないことがあります。このようなときは、「速度優先」で画質を落としてスキャンするか、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。

画像品質

解像度が 400/600dpi のときに有効になり、[速度優先]、[画質優先] を選択します。

**[速度優先]**

読み取り速度を優先させるモードで、300dpi でスキャンした画像から 400/600dpi の画像を生成します。

[画質優先]

画質を優先させるモードで、600dpi でスキャンを行います。

解像度が 400dpi の場合、スキャンした 600dpi の画像から 400dpi の画像を生成します。



- [速度優先] を選択すると、読み取り速度は速くなりますが画質が若干低下します。
- 原稿サイズを「自動検知」にし、モードを「24ビットカラー」、読み取り面を「両面」にした組み合わせのときに [画質優先] を選択してスキャンすると、スキャナ本体のメモリ不足により、原稿の一部がスキャンできないことがあります。このようなときは、「速度優先」で画質を落と

してスキャンするか、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。

スキャンオプション (TWAIN ドライバのみ)

TWAIN互換アプリケーションで連続スキャンをするときの動作を設定します。

**[標準]**

スキャンした原稿を排紙してから次の原稿をスキャンします。

[先読みスキャン]

原稿を連続してスキャンするため [標準] にくらべてスキャン速度が速くなります。

[1 ページスキャン]

「基本」タブの読み取り面の設定が [片面] になり、原稿を 1 枚だけスキャンします。

[領域] ボタン

「スキャン領域」ダイアログボックスを開き、スキャンする領域を設定します。(→ P.8-11 「スキャン領域ダイアログボックス」)



使用しているアプリケーション側に領域を設定する機能があるときは、[領域] ボタンは表示されません。

■ モードによる機能の制限

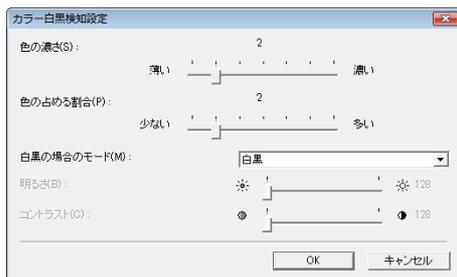
モードの設定により以下のタブの機能の一部が無効になります。「明るさ」タブの機能については「明るさ」タブ (→ P.8-13) を参照してください。

設定タブ	基本			画像処理				その他		
	斜行補正	モアレ除去	エッジ強調	孤立点除去	黒枠消し	裏写り/地色除去	カラーロックオン/オフ	JPEG圧縮	パッチ区切り (SGSドライバ)	プレスキャン
読み取りモード										
カラー白黒検知	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
白黒	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
誤差拡散	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメントII	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○
256階調グレー	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
24ビットカラー	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○

×：使用不可

■ 「カラー白黒検知設定」ダイアログボックス

モードで[カラー白黒検知]を選択したときに、スキャンした原稿をカラー原稿と判断するための設定と、白黒と判断したときのモードを選択します。



色の濃さ / 色の占める割合

原稿をカラー原稿と判断するための設定です。

色の濃さにより原稿の色彩を検知し、色の占める割合でスキャンした原稿をカラー原稿として判断します。



- 通常は、初期設定のまま使用し、色彩の薄い原稿を白黒原稿として判断させる場合に設定を変更します。

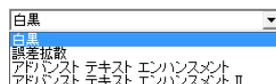
重要

- ・ 色彩の薄い原稿を白黒原稿として判断させる場合、[色の濃さ]の設定値を高く（濃く）します。
- ・ カラーの占める割合が少ない原稿を白黒原稿として判断させる場合は、[色の占める割合]の設定値を高く（多く）します。

- 初期設定でカラー原稿が白黒原稿として判断されてしまうような場合は、[24ビットカラー]を選択してください。

白黒の場合のモード

原稿を白黒と判断したときの読み取りモードを設定します。



明るさ / コントラスト

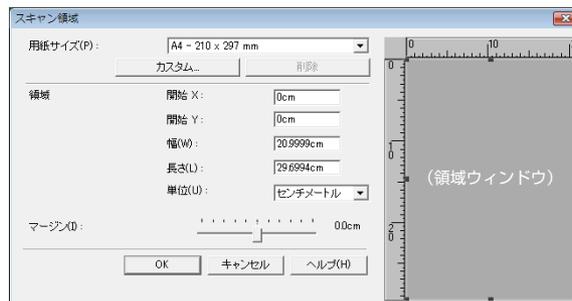
白黒の場合のモードで[アドバンスドテキストエンハンスメント]、[アドバンスドテキストエンハンスメントII]を選択したときの明るさとコントラストを調整します。その他のモードでの明るさは、「明るさ」タブの明るさとコントラストの設定が反映されます。

■ 「スキャン領域」ダイアログボックス

用紙サイズで指定したサイズの原稿の一部を読み取るときや、非定形の原稿サイズを登録するためのダイアログボックスです。

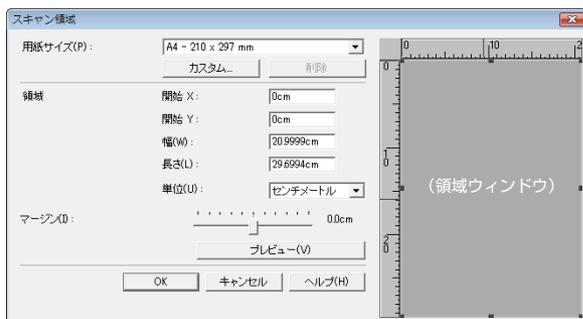
スキャン領域ダイアログボックスはISISドライバ、TWAINドライバで異なり、TWAINドライバの場合、使用するアプリケーションによって2種類のダイアログボックスが表示されます。

スキャン領域ダイアログボックス (ISISドライバ)



スキャン領域ダイアログボックス (TWAIN ドライバ)

設定ダイアログボックスに [スキャン] ボタンが表示されるアプリケーションの場合



ジョブ登録ツールなど、設定ダイアログボックスに [OK] ボタンが表示されるアプリケーションの場合、領域ウィンドウと [プレビュー] ボタンは表示されません。



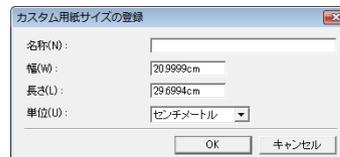
用紙サイズ

「用紙サイズ」の設定と連動し、スキャンする原稿のサイズを選択します。



ヒント

[カスタム] ボタンを押すと、「カスタム用紙サイズの登録」ダイアログボックスが開き、非定型サイズ of 原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。



領域

スキャンする領域を選択します。



ヒント

- 以下の設定のとき、領域の設定は無効になります。
 - ・用紙サイズが [自動検知]
 - ・「画像処理」タブの [文字向検知] が有効
- 「基本」タブの [斜行補正] が有効になっていると、指定した領域がずれてスキャンされます。

領域ウィンドウ

用紙サイズの設定に連動して領域ウィンドウの表示が変化し、領域の設定に合わせて領域ウィンドウ内の領域が変化します。

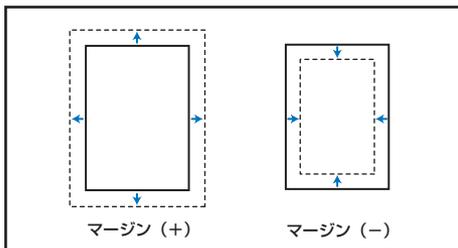


ヒント

- 領域ウィンドウ内の領域は、マウスで■をドラッグして領域を指定することもできます。
- CapturePerfect では、最後にスキャンした画像が領域ウィンドウに表示されます。

マージン

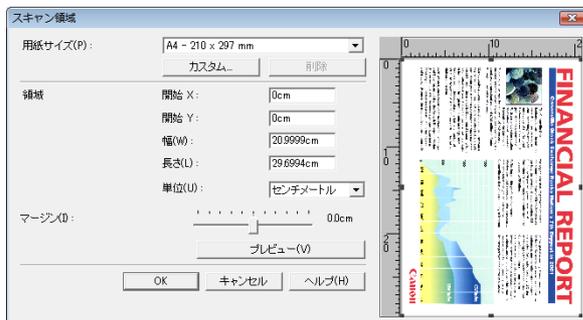
スキャン領域の上下左右にマージンを設定し、原稿の端が欠けないようにしたり、画像の周りに黒い枠が付かないようにスキャン領域を調整します。



- 原稿の端が欠けるようなときはスライダを右(+方向)に動かしてスキャン領域を広くします。
- 画像の周りに黒い枠が付かないようにするにはスライダを左(-方向)に動かしてスキャン領域を狭くします。
- マージンの単位は、「単位」の設定に合わせて変更します。ただし、「基本」タブ拡張版(→P.8-7)にあるマージンでは「単位」の変更はできません。

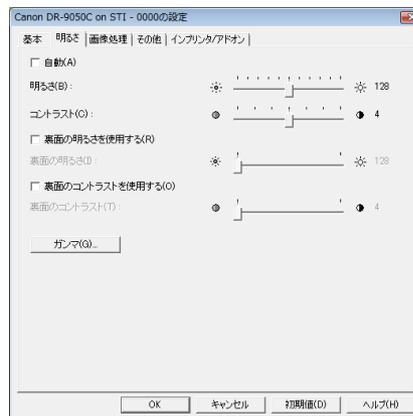
プレビューボタン (TWAINドライバのみ)

原稿をセットして「プレビュー」ボタンをクリックすると、原稿を1枚スキャンして領域ウィンドウにプレビュー画像が表示されます。



「明るさ」タブ

「明るさ」タブでは、スキャンするときの明るさとコントラストの設定とガンマの設定を行います。明るさとコントラストの設定は「基本」タブのモードの設定によって調整できる設定が異なります。



「明るさ」タブの設定がすべて無効になっているときは、ガンマ設定が「カスタム」または「e-文書モード」になっています。(→P.8-14「ガンマ設定ダイアログボックス」)

明るさとコントラストの設定は、「基本」タブのモードの設定によって調整できる設定が以下ようになります。

設定	自動	明るさ	コントラスト	裏面の明るさ	裏面のコントラスト
読み取りモード					
カラー白黒検知	×	○	○	○	○
白黒	○	○	○	○	○
誤差拡散	×	○	○	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	×	○	×	×	×
アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ	×	○	○	×	×
256階調グレー	×	○	○	○	○
24ビットカラー	×	○	○	○	○

○：設定可 ×：設定不可または自動

■ 「明るさ」タブの設定

明るさタブでは以下の設定を行います。

【自動】チェックボックス

読み取りモードが「白黒」のときに有効になり、原稿に合わせて明るさとコントラストを調整します。

明るさ

スキャンする画像の明るさを調整します。



- 画像が濃い場合や、裏面の文字が写り込むようなときにはスライダを右に動かして設定値を高くします。
- 画像が薄い場合にはスライダを左に動かして設定値を低くします。
- 【自動】チェックボックスがオンの場合、明るさの自動調整のレベルを調整します。

コントラスト

スキャンする画像のコントラストを調整します。

【裏面の明るさを使用する】チェックボックス

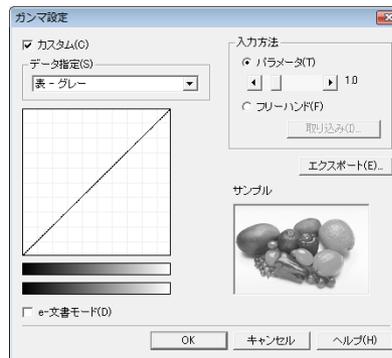
原稿の表裏の濃淡に差がある場合に、裏面の明るさを調整します。

【裏面のコントラストを使用する】チェックボックス

原稿の表裏の濃淡に差がある場合に、裏面のコントラストを調整します。

■ 「ガンマ設定」ダイアログボックス

ガンマ設定ダイアログボックスは、ガンマ補正值の設定を変更するときに設定します。



【カスタム】チェックボックス

ガンマ補正をカスタム設定にする場合にチェックします。

【e-文書モード】チェックボックス

カスタム設定を無効にし、ガンマ補正をe-文書法に適した補正值に自動調整します。



- 【カスタム】または【e-文書モード】チェックボックスをオンにした場合、【明るさ】タブの設定はすべて自動になります。



- 【e-文書モード】チェックボックスをオンにした場合、読み取りモードは「256階調グレー」、[24ビットカラー]の2種類になります。

データ指定

カスタム設定を適用する面と色を指定します。



 指定した色に合わせてカラーバー、サンプル画像の色が変わります。

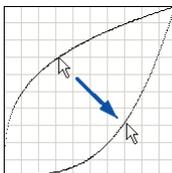
入力方法

設定方法を選択してガンマ補正値を設定します。

[パラメータ]

スライダを左右に動かして0.2～5.0の範囲でガンマ補正値を指定します。

-  **ヒント** ● ガンマ補正値とガンマカーブグラフ、サンプル画像の色は連動して変化します。
- ガンマカーブグラフ上のポイントをマウスでクリックすると、クリックしたポイントに合わせてガンマカーブ、サンプル画像の色が変化します。
- ガンマカーブグラフ上でマウスでドラッグして移動させると、ガンマカーブが追従します。



[フリーハンド]

ガンマテーブルの入力値に対する出力値をマウスで指定します。

-  **ヒント** ● ガンマカーブグラフ上のポイントをマウスでクリックすると、クリックしたポイントに出力値が設定されます。
- ガンマカーブグラフ上でマウスでドラッグして移動させると、マウスの動きに合わせて出力値が設定されます。

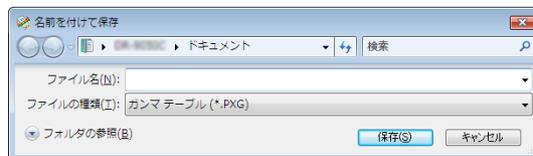
[取り込み] ボタン

[エクスポート] ボタンで書き出したガンマテーブルデータ (*.pxg) を取り込みます。

 **ヒント** 取り込んだガンマデータは、ガンマカーブグラフに反映されます。

[エクスポート] ボタン

設定したガンマ補正値を、ガンマテーブルデータ (*.pxg) としてファイルに書き出します。



「画像処理」タブ

「画像処理」タブでは、スキャンした画像を処理するための設定を行います。設定項目の一部については、「基本」タブのモードの設定によって無効になる機能があります。詳細については「モードによる機能の制限」(→P.8-10)を参照してください。



■ 「画像処理」タブの設定項目

「画像処理」タブでは以下の設定を行います。

エッジ強調

画像の輪郭を調整します。スライダを「ソフト」方向に動かすと画像の輪郭が柔らかくなり、「シャープ」方向に動かすと画像の輪郭がくっきりとします。

画像回転

画像の向きが正常になるように回転角度を指定します。



 **ヒント** セットした原稿の向きと指定した角度によりスキャンした画像が以下のように回転します。

原稿の向き				
画像回転	0度	90度	180度	270度
出力画像				

【白黒反転】チェックボックス (TWAINドライバのみ)

白黒2値でスキャンした画像を白黒反転させて出力します。

 **重要** モードが「256階調グレー」、「24ビットカラー」のときは使用できません。

【文字向検知】チェックボックス

画像の中にある文字の向きを検知し、文字の向きが正常になるように画像を90度単位で回転させます。

文字の向き				
出力画像				

 **重要**

- 文字向き検知を有効にすると、[画像回転]と、スキャン領域ダイアログボックスの領域の設定が無効になります。
- アプリケーションによっては文字向き検知に対応していない場合があります。文字向き検知を有効にするとアプリケーションが正常に動作しなくなるようなときは、文字向き検知を無効にしてください。

【孤立点除去】チェックボックス

白地の中で孤立した3×3ドット以内の黒い点を除去します。

【黒枠消し】 チェックボックス

スキャンしたとき、画像の周りにできる黒い部分を削除します。

【バイндаの穴を削除】 チェックボックス

バイндаに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い穴の部分を削除します。



重要

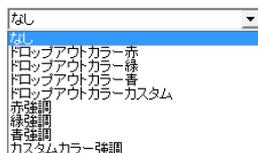
文字や図形の上に穴が開けられている場合、穴の部分が図形として認識されるため、削除されないことがあります。

【裏写り / 地色除去】 チェックボックス

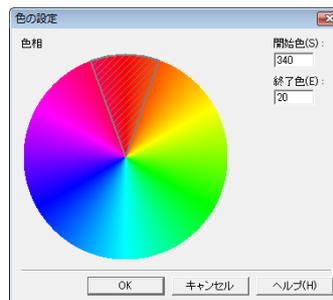
薄い原稿や裏面が濃い原稿をスキャンしたときに起きる裏写りや、原稿の地色を除去します。

カラードロップアウト

読み取りモードが [24 ビットカラー] 以外のときに有効で、赤 / 緑 / 青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、色強調を設定します。



[ドロップアウトカラーカスタム]、[カスタムカラー強調] を選択すると [設定] ボタンが有効になり、「色の設定」ダイアログボックスで色の範囲を指定してドロップアウトまたは、色強調させることができます。

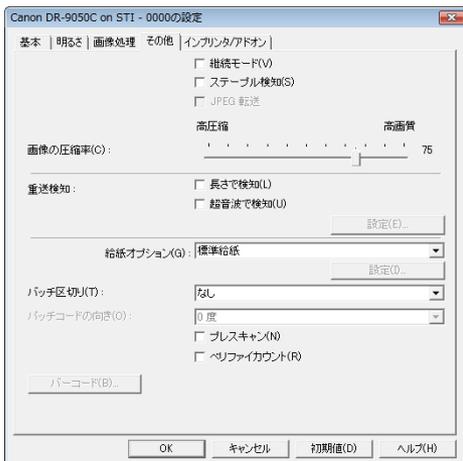


ヒント

- 斜線部の領域の色がドロップアウトまたは、色強調されません。
- 斜線部の領域は、マウスでドラッグして領域を移動することができます。
- 斜線部の枠をマウスでドラッグすると、領域の範囲を変更することができます。
- モニタ上で指定した色と実際にドロップアウト/強調される色はお使いのコンピュータの環境により異なり、指定した色が処理されない場合もあります。

「その他」タブ

「その他」タブはISISドライバ、TWAINドライバで設定できる機能が異なります。また、設定項目の一部については、「基本」タブのモードの設定によって無効になる機能があります。詳細については「モードによる機能の制限」(→P.8-10)を参照してください。



「バッチ区切り」、「バッチコードの向き」はISISドライバで設定する機能で、TWAINドライバでは表示されません。

■ 「その他」タブの設定

「その他」タブでは以下の設定を行います。

【継続モード】チェックボックス

読み取り中に紙詰まりなどで搬送が停止したときに、アプリケーション側にエラーを送信しないで読み取りを中断します。搬送が停止した原因を処理した後、通常の操作で読み取りを継続することができます。

【ステーブル検知】チェックボックス

ステーブルで綴じられた原稿を搬送しようとしたときに起きる原稿の跳ね上がりをセンサーで検知して搬送を停止させます。

(→P.4-6 「ステーブル検知」)

【JPEG 転送】チェックボックス

スキャンした画像データをJPEG圧縮してコンピュータに出力します。



- スキャンした画像データは、ISIS/TWAINドライバ、またはアプリケーションからの要求により「非圧縮転送」または「JPEG転送」によりスキャナから出力されます。
 - ・「非圧縮転送」は、読み取った画像データを圧縮しないで出力します。そのため、画像データが大きい場合、スキャナからコンピュータへのデータ転送に時間を要します。
 - ・「JPEG転送」は、グレースケール、カラー画像の出力に有効で、読み取った画像データをスキャナ内部でJPEG圧縮した画像データを出力します。出力される画像データを小さくすることにより、スキャナからコンピュータへのデータ転送時間が短くなります。
- JPEG転送をオンにすると、スキャナからの画像データは、必ずJPEG圧縮された画像データが出力されます。
 - ・アプリケーションでの保存形式が非圧縮のファイル形式になっている場合、JPEG圧縮された画像データを非圧縮データに伸長してからアプリケーションに転送します。そのため、画質が若干劣化します。
 - ・アプリケーションが「JPEG転送」を要求している場合、JPEG転送の設定は無視されます。
 - ・アプリケーションからの要求は、アプリケーションの仕様により異なります。

画像の圧縮率

スキャンした画像データの圧縮率を調整します。スライダを「高画質」方向に動かすと圧縮率が下がり画質が良くなります。「高圧縮」方向に動かすと圧縮率が上がります。画質は低下しますがファイルのサイズは小さくなります。

重送検知

原稿が重なって搬送されたことを検知して搬送を停止させる機能で、スキャンする原稿に合わせて検知方法を選択します。
(→ P.4-5 「重送検知」)

【長さで検知】

サイズの同じ原稿の束をスキャンするとき有効な検知方法で、1枚目の原稿の長さを基準とし、基準の長さより 35mm 以上長い、または短い原稿を検知したときに重送として判断して搬送を停止させます。

【超音波で検知】

サイズの異なる原稿の束をスキャンするとき有効な検知方法で、超音波センサーで重なって搬送された原稿と原稿の間を検知したときに重送として判断して搬送を停止させます。



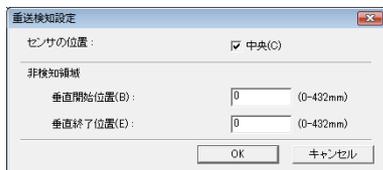
2種類の検知方法を併用して使用することができます。

ヒント

【設定】 ボタン

【超音波で検知】を選択すると有効になり、「重送検知設定」ダイアログボックスを表示させます。

「重送検知設定」ダイアログボックスでは、検知するセンサーの位置の選択や、切手やラベルが貼られている領域を重送として検知させないための「非検知領域」を設定することができます。

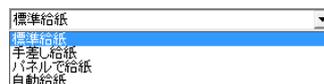


重要

原稿の重なりが50mmないときや、静電気などで原稿が密着しているときには超音波による重送検知が正常に検知できない場合があります。

給紙オプション

原稿の給紙方法を選択します。



【標準給紙】

原稿をセットしてからアプリケーションでスキャンを開始し、セットした原稿がなくなるとスキャンを停止します。

【手差し給紙】 (Separation Off)

操作パネルの [Separation Off] キーと連動し、【手差し給紙】を選択すると [Separation Off] キーが点灯して給紙トレイが上昇します。

アプリケーションでスキャンを開始し、原稿を1枚ずつ手差しでセットします。スキャナが原稿を検知してスキャンを行い、ストップキーでスキャンを停止します。



操作パネルの [Separation Off] キーを押すと、給紙オプションは【手差し給紙】になります。

ヒント

【パネルで給紙】

アプリケーションでスキャンを開始し、原稿をセットした後スタートキーでスキャンを開始します。セットした原稿がなくなると待機状態になり、次の原稿をセットしてスタートキーを押すとスキャンを継続します。原稿がなくなったらストップキーでスキャンを停止します。



【パネルで給紙】は、サイズの異なる原稿が混在しているときなど、原稿をセットした後に原稿ガイドの位置を調整しながらスキャンすることができます。

【自動給紙】

アプリケーションでスキャンを実行し、スキャナが原稿を検知するとスキャンを開始します。セットした原稿がなくなると待機状態になり、次の原稿をスキャナが検知するとスキャンを継続します。原稿がなくなったらストップキーでスキャンを停止します。

[設定] ボタン

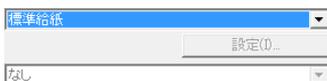
[自動給紙] を選択すると有効になり、原稿を検知してからスキャンを開始するまでの時間を設定します。



バッチ区切り

給紙オプションの設定で選択肢が異なり、アプリケーションでバッチ区切りを有効にしてスキャンを開始したときのバッチ区切りのタイミングを選択します。

給紙オプションが [標準給紙] の場合、バッチ区切りは使用できません。



給紙オプションが [手差し給紙] の場合



給紙オプションが [パネルで給紙]、[自動給紙] の場合



[自動]

原稿の束ごとにバッチが区切られます。

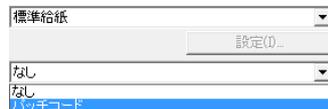
[パネル]

操作パネルの [New File] キーを押してスキャンを開始 / 継続したときにバッチが区切られます。

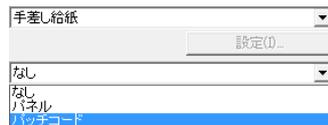
バッチ区切り (パッチコードデコーダを装着の場合)

オプションのパッチコードデコーダを装着している場合、給紙オプションのすべての設定に対してパッチコードによるバッチ区切りが有効になります。

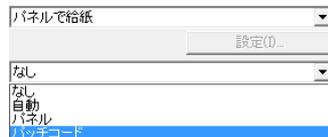
給紙オプションが [標準給紙] の場合



給紙オプションが [手差し給紙] の場合



給紙オプションが [パネルで給紙]、[自動給紙] の場合



[パッチコード]

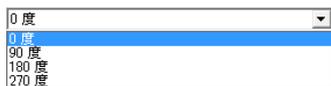
原稿の間に挿入されたパッチコードシートを検知したときにバッチが区切られます。詳細については「パッチコードシートの利用」(→ P.3-18) を参照してください。



- [パッチコード] を選択すると「基本」タブの読み取り面の設定から [半折り] が選択できなくなります。
- アプリケーションでマルチストリームが有効になっていると [パッチコード] は表示されません。

パッチコードの向き (ISIS ドライバのみ)

オプションのパッチコードデコーダを装着し、パッチ区切りの設定を「パッチコード」にしたときに有効になり、パッチコードシートのパッチコードの向きに合わせて設定します。



原稿内のパッチコードと「パッチコードの向き」設定は以下のようになります。

PATCH T (FILE A)				
PATCH II (FILE B)				
パッチコードの向き	0度	90度	180度	270度

【ブレスキャン】 チェックボックス

スキャン開始時に原稿を1枚スキャンしてブレスキャンパネルを表示します。スキャンした画像をブレスキャンウィンドウに表示し、明るさとコントラストを確認 / 調整してからスキャンを続行します。



【ベリファイカウント】 チェックボックス

スキャナのカウントオンリーモードでカウントした枚数または、任意に設定した枚数を基準としてスキャンを行い、設定した枚数とスキャンした枚数が異なるときにメッセージを表示します。

(→ P.4-4 「カウントオンリーモード」)

【バーコード】 ボタン

オプションの「バーコードモジュール」をインストールすると有効になり、「バーコード」ダイアログボックスを開いて原稿内にあるバーコードを検知する設定を行います。

■ 「バーコード」 ダイアログボックスの設定

【バーコード】ダイアログボックスは、【バーコード】ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログボックスで、バーコードの検知に関する設定を行います。



- バーコードの様については「バーコード仕様」(→ P.7-5) を参照してください。
- 検知したバーコードの情報はアプリケーションが対応している場合に有効で、CapturePerfect 3.0 の場合は指定したログファイルにバーコード情報が保存されます。

[バーコード検知有効]チェックボックス

このチェックボックスをオンにすると、読み取った原稿の中のバーコードを検知します。



ヒント

- バーコード検知は、スキャン領域内にあるバーコードに対して有効です。
- 複数のバーコードが混在する原稿をスキャンするときに、特定のバーコードだけを検知させたいときは、バーコードの領域設定で検知する領域を設定してください。

[検知する面]

原稿のバーコードを検知する面を選択します。

[表面で検知]

原稿の表面のバーコードを検知します。

[裏面で検知]

原稿の裏面のバーコードを検知します。

[原稿のバーコードの数]

原稿 1 ページの中で検知するバーコードの数 (1 - 4) を設定します。

[方向]

検知するバーコードの向きを設定します。



ヒント

バーコードの向きは、搬送方向に対して直角のバーコードを 0 度、水平のバーコードを 90 度とし、バーコードの上下は関係なく検知することができます。



[検知領域]

[有効]チェックボックス

原稿の一部の領域にあるバーコードを検知する場合にこのチェックボックスをオンにし、水平方向と垂直方向の開始/終了位置を入力します。



ヒント

- 表面の領域を指定する場合、給紙方向に対して給紙口の左側を水平方向の基準とします。
- 裏面の領域を指定する場合、給紙方向に対して給紙口の右側を水平方向の基準とします。
- 垂直方向の基準は用紙の先端からの長さを入力します。

EAN/JAN

EAN/JAN コードのバーコードを検知します。



[する]

EAN/JAN コードのバーコードを検知して読み取ります。

[アドオン]

バーコードに含まれるアドオンコードの読み取りを設定します。



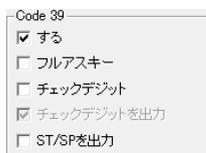
オフ：アドオンコードを読み取りません。

オン：アドオンコードを読み取ります。

自動：アドオンコードを自動で検知して読み取ります。

Code39

Code 39 コードのバーコードを検知します。



[する]

Code 39 コードのバーコードを検知して読み取ります。

[フルアスキー]

バーコードをフルアスキーコードで読み取ります。

[チェックデジット]

バーコードに含まれるチェックデジットを読み取ります。

[チェックデジットを出力]

[チェックデジット]をオンにしたときに有効になり、読み取ったチェックデジットを出力します。

[ST/SPを出力]

このチェックボックスをオンにするとスタート/ストップコードを出力します。

Codabar

Codabar コードのバーコードを検知します。



[する]

Codabar コードのバーコードを検知して読み取ります。

[チェックデジット]

バーコードに含まれるチェックデジットを読み取ります。

[チェックデジットを出力]

[チェックデジット]をオンにしたときに有効になり、読み取ったチェックデジットを出力します。

[ST/SPを出力]

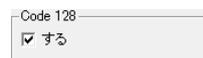
バーコードに含まれるスタート/ストップコードを出力します。

[チェックデジット計算方法]

チェックデジットの計算方法を設定します。

Code128

Code128 コードのバーコードを検知します。



[する]

Code128 コードのバーコードを検知して読み取ります。

ITF

ITF コード (インダストリアル 2 of 5 含む) のバーコードを検知します。



[する]

ITF コードのバーコードを検知して読み取ります。

[チェックデジット]

バーコードに含まれるチェックデジットを読み取ります。

[チェックデジットを出力]

[チェックデジット]をオンにしたときに有効になり、読み取ったチェックデジットを出力します。

UPC

UPC-A/UPC-E コードのバーコードを検知します。



[する]

UPC-A/UPC-E コードのバーコードを検知して読み取ります。

[アドオン]

バーコードに含まれるアドオンコードの読み取りを設定します。



オフ：アドオンコードを読み取りません。

オン：アドオンコードを読み取ります。

自動：アドオンコードを自動で検知して読み取ります。

[チェックデジット]

バーコードに含まれるチェックデジットを読み取ります。

[ヘッダーを出力]

このチェックボックスをオンにすると、ヘッダーコードを出力します。



- アドオンコードの付いているバーコードと付いていないバーコードを同時に検知する場合は、アドオンの設定を [自動] にしてからスキャンしてください。
- バーコードの種類が不明の場合は、すべてのバーコードの読み取りをオン (自動検知) にし、チェックデジットの読み取りをオフに設定してスキャンします。

「インプリンタ/アドオン」タブ

「インプリンタ/アドオン」タブはスキャンした原稿および画像に任意の文字列やカウンタを印字/アドオンするための設定を行い、[インプリンタ] チェックボックスは、オプションのインプリンタユニットを装着しているときに有効になります。



■ 「インプリンタ/アドオン」タブの設定

「インプリンタ/アドオン」タブでは以下の設定を行います。

チェックボックス

「インプリンタ」チェックボックス

スキャンした原稿に任意の文字列やカウンタを印字するための設定を行います。



インプリンタを使用するときはインクカートリッジが装着されていることを確認してください。インクカートリッジが装着されていない状態でスキャンを開始すると「インプリンタエラー」が表示されます。

[アドオン] チェックボックス

スキャンした画像に任意の文字列やカウンタをアドオンするための設定を行います。

文字列

印字 / アドオンする任意の文字列を入力します。

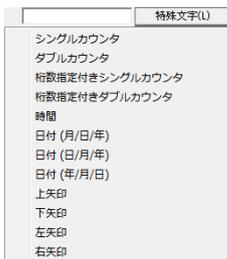


入力できる文字列は以下のとおりです。

- ヒント
- ・ 数字：0～9
 - ・ アルファベット：A～Z、a～z
 - ・ 記号：! " ' # \$ % & ' () * + - . / : ; < > = ? @ [] { } ` ~ ¥

カウンタや日時、矢印などの特殊文字は、[特殊文字] ボタンをクリックして表示されるリストから選択します。

文字列にはそれぞれの省略文字が入力されます。



[シングルカウンタ] 省略文字：<C>

9桁のカウンタを1つ印字 / アドオンします。

[ダブルカウンタ] 省略文字：<CC>

9桁のカウンタを2つ印字 / アドオンします。

[桁数指定付きシングルカウンタ] 省略文字：<Cx>

シングルカウンタの桁数を指定するダイアログボックスが表示されます。指定した桁数のカウンタを印字 / アドオンします。

[桁数指定付きダブルカウンタ] 省略文字：<CxCx>

ダブルカウンタの桁数を指定するダイアログボックスが表示されます。指定した桁数のカウンタを印字 / アドオンします。

[時間] 省略文字：<TIME>

スキャンした時刻を24時間表示で8桁印字 / アドオンします。

[日付 (月 / 日 / 年)] 省略文字：<MDY>

スキャンした日付けを月 / 日 / 年の順に西暦表示で10桁印字 / アドオンします。

[日付 (日 / 月 / 年)] 省略文字：<DMY>

スキャンした日付けを日 / 月 / 年の順に西暦表示で10桁印字 / アドオンします。

[日付 (年 / 月 / 日)] 省略文字：<YMD>

スキャンした日付けを年 / 月 / 日の順に西暦表示で10桁印字 / アドオンします。

[上矢印] 省略文字：<U>

上向きの矢印 (↑) を印字 / アドオンします。

[下矢印] 省略文字：<D>

下向きの矢印 (↓) を印字 / アドオンします。

[左矢印] 省略文字：<L>

左向きの矢印 (←) を印字 / アドオンします。

[右矢印] 省略文字：<R>

右向きの矢印 (→) を印字 / アドオンします。

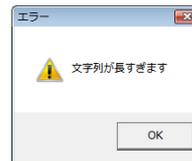


重要

- 特殊文字から入力できるカウンタは1種類です。カウンタを2種類入力して [OK] ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。



- 印字 / アドオンできる文字数は最大32文字で、フォントサイズによって入力できる文字数が制限されます。入力した文字数が制限値を越えた場合、[OK] ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。



水平方向の印字位置

給紙口左端からの距離を入力します。

垂直方向の印字位置

用紙の先端からの距離を入力します。(0-500mm)



ヒント

長尺モードが有効になっている場合、入力範囲が変わります。入力範囲は、長尺モードが [ON1] に設定されているときは (0-1,000mm)、[ON2] に設定されているときは (0-3,000mm) になります。

文字の向き

印字 / アドオンする文字の向きを指定します。



ヒント

文字の向きは搬送方向に対して以下のようになります。

文字の向き	0度	90度	180度	270度
アドオン				

印字フォント

印字 / アドオンするフォントのサイズを指定します。

[文字間隔を広く] チェックボックス
フォントの文字間を広くします。

アドオンタイプ

画像の上に文字列をアドオンする方法を指定します。

[白地に黒文字]
黒文字で背景色が白地の文字をアドオンします。

[黒地に白文字]
白文字で背景色が黒地の文字をアドオンします。

[画像に黒文字]
画像の上に黒文字を重ねます。

[カウンタ] ボタン

[カウンタ] ダイアログボックスを開いてカウンタの設定を行います。

■ 「カウンタ」ダイアログボックス

アドオンするカウンタの設定を行います。

	カウンタ1	カウンタ2
スタート値:	0	0
カウントアップ量:	1	1
カウントアップタイミング:	毎ページ	ニューファイル
リセット値:	0	0
リセットタイミング:	ニューファイル	なし

変更(C)... 変更(N)...

OK キャンセル

カウンタ 1

シングルカウンタまたは、ダブルカウンタのカウンタ1の設定を表示します。



設定の変更は [変更] ボタンをクリックして [カウンタ 1] ダイアログボックスで行います。

カウンタ 2

シングルカウンタまたは、ダブルカウンタのカウンタ2の設定を表示します。



設定の変更は [変更] ボタンをクリックして [カウンタ 2] ダイアログボックスで行います。

■ 「カウンタ 1」、 「カウンタ 2」、 ダイアログボックス

アドオンするカウンタの設定を行います。

スタート値

カウンタのスタート値を設定します。

カウントアップ量

カウンタの増加量を設定します。ここで設定した数ずつカウンタが増加します。

カウントアップタイミング

カウントアップするタイミングを指定します。

[ニューファイル] (ISIS ドライバのみ有効)

「その他」タブのバッチ区切りの設定でバッチが区切られたときにカウントアップします。(→ P.8-20 「バッチ区切り」)

[毎ページ]

1 ページごとにカウントアップします。

[なし]

カウントアップしません。

リセット値

カウンタがリセットされたときの最初の値を選択します。

リセットタイミング

カウンタをリセットするタイミングを選択します。

[ニューファイル] (ISIS ドライバのみ有効)

「その他」タブのバッチ区切りの設定でバッチが区切られたときにリセットします。(→ P.8-20 「バッチ区切り」)

[毎ページ]

1 ページごとにカウンタをリセットします。

[なし]

カウンタをリセットしません。

第9章 ジョブ登録ツールの設定

1. お使いになる前に	9-2
ジョブ機能	9-2
ジョブ登録ツールの起動	9-2
2. ジョブ登録ツール	9-3
3. 設定ダイアログボックス	9-4
「新規/編集」ダイアログボックス	9-4
「管理」ダイアログボックス	9-7

1. お使いになる前に

ジョブ登録ツールは、操作パネルの [Job] キーから実行するジョブを登録するためのアプリケーションです。本章では、ジョブ登録ツールの設定について説明します。ジョブ機能については「ジョブ機能について」(→ P.3-13) を参照してください。

ジョブ機能

ジョブ機能は、ジョブ登録ツールによって登録されたジョブを操作パネルの [Job] キーで選択/実行する機能で、ジョブ機能ではスキャンングアプリケーションを使用しないでスキャンが実行されます。



ヒント

- ジョブには、スキャン条件や、保存する画像データのファイル形式、保存先が登録され、ジョブ機能でスキャンした画像データはジョブに登録されている条件で処理されません。
- ジョブ登録ツールには最大99個のジョブを登録することができます。

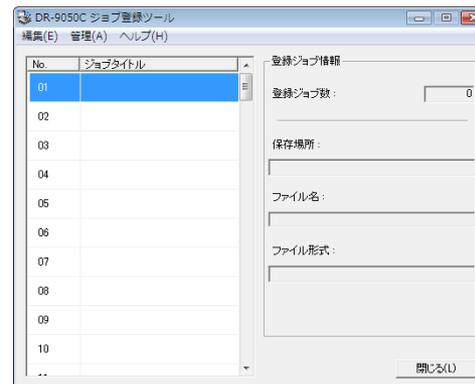
ジョブ登録ツールの起動

ジョブ登録ツールは以下の手順で起動します。

1. [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[Canon DR-XXXX]-[ジョブ登録ツール] をクリックします。(XXXX はお使いの機種により異なります)

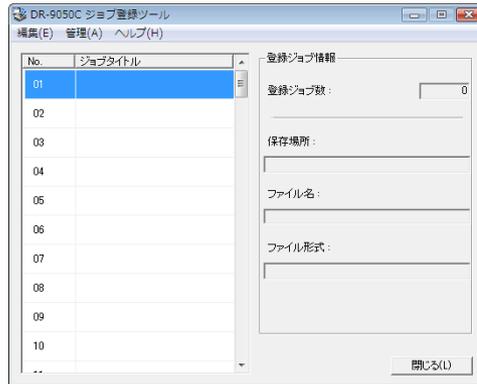


ジョブ登録ツールが起動します。



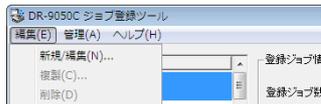
2. ジョブ登録ツール

ジョブ登録ツールは、以下のメイン画面と、「新規/編集」、「管理」の2つのダイアログボックスで構成されます。ダイアログボックスについてはそれぞれのダイアログボックスの説明を参照してください。



メニューバー

【編集】メニュー

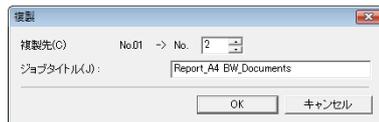


ジョブ一覧からジョブを選択して、ジョブの新規登録/編集および複製や削除を行います。(→ P.9-4 「新規/編集ダイアログボックス」)



ヒント

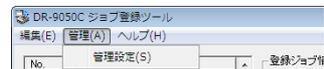
- 登録されているジョブを選択すると、「複製」と「削除」が有効になります。「複製」を選択すると、以下のダイアログボックスが表示され、複製先のジョブNo.とジョブタイトルを指定して [OK] ボタンをクリックするとジョブが指定したジョブ No. に複製されます。



- 削除を選択すると、確認のメッセージを表示します。
- 【編集】メニューの項目は、ジョブをマウスの「右ボタン」でクリックするとサブメニューで表示されます。



【管理】メニュー



【管理】ダイアログボックスを開き、画像を保存するフォルダの監視とジョブデータのバックアップについて設定します。(→ P.9-7 「管理ダイアログボックス」)

【ヘルプ】メニュー

ジョブ登録ツールのヘルプおよび、バージョン情報を表示します。



ジョブ一覧

ジョブ No. (01 ~ 99) とジョブタイトルを表示します。

登録ジョブ情報

ジョブ一覧で選択されているジョブの情報を表示します。

【閉じる】ボタン

ジョブ登録ツールを終了します。

3. 設定ダイアログボックス

ジョブ登録ツールの設定ダイアログボックスは「新規/編集」ダイアログボックスと、「管理」ダイアログボックスで構成されます。詳細についてはそれぞれのダイアログボックスの説明を参照してください。



ジョブ登録ツールで登録したジョブを実行する手順については、「[ジョブ機能について](#)」(→P.3-13)を参照してください。

「新規/編集」ダイアログボックス

「新規/編集」ダイアログボックスでは、ジョブの新規登録と登録されているジョブの編集を行います。



■ 「新規/編集」ダイアログボックスの開き方

ジョブ一覧に表示されているジョブNo.をマウスの「左ボタン」でダブルクリックすると「新規/編集」ダイアログボックスが開きます。

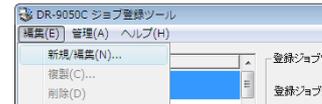


「新規/編集」ダイアログボックスは、以下の方法でも開くことができます。

- 登録するジョブNo.をマウスの「右ボタン」でクリックし、サブメニューの「新規/編集」をクリックします。



- 登録するジョブNo.をマウスの「左ボタン」で選択し、編集メニューの「新規/編集」をクリックします。



■ 「新規/編集」ダイアログボックスの設定

「新規/編集」ダイアログボックスでは以下の設定を行います。

No.

選択したジョブのNo.を表示します。

ジョブタイトル

操作パネルの表示パネルに表示させるジョブタイトルを入力します。

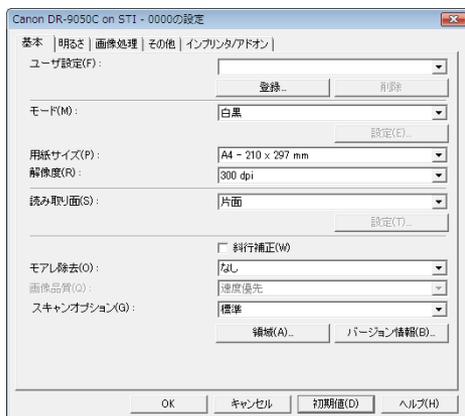


ヒント

- ジョブタイトルに入力できる文字数は、半角英数カナで最大29文字です。
- 半角カナの場合、濁音(゜)、半濁音(゛)も1文字になります。
- ジョブタイトルに欧州言語の文字に使用されるアクセント符号の付いた特殊文字を使用した場合、表示パネルにはアクセント符号は表示されません。

スキャナの設定

[設定]ボタンを押して、スキャナの設定を行います。



[ピクチャフォルダに保存する]チェックボックス

Windowsにログインしているユーザーのピクチャフォルダに画像ファイルを保存します。



ヒント

- [ピクチャ] は、お使いのWindowsの呼称に合わせて表示が変更します。
例) My Pictures, マイピクチャ、ピクチャ
- このチェックボックスをオフにすると、「保存場所」と「アクセス権の設定」ボタンが有効になります。

保存場所

[ピクチャフォルダに保存する]チェックボックスをオフにしたときに有効になり、スキャンした画像を保存するフォルダ名を任意に指定します。

ファイル名

保存するファイル名を入力します。



ヒント

- 入力できる文字数は、半角英数カナで最大32文字です。
- ファイル名には、スキャンしたときのタイムスタンプが付加されます。

ファイル形式

保存するファイル形式を選択します。



複数ページの原稿をスキャンしたときの画像ファイルはファイル形式によって以下のようになります。

- PDF : 全ページが1つの画像ファイルに保存されます。
- BMP : 1ページ/1ファイルで画像ファイルが保存されます。
- TIFF : 「設定」ボタンで表示される「TIFF設定」ダイアログボックスで複数ページの原稿をスキャンしたときの保存方法を設定します。
- JPEG : 1ページ/1ファイルで画像ファイルが保存されます。



ヒント

- [TIFF]または[PDF]を選択すると「設定」ボタンが有効になり、設定ダイアログボックスを表示します。
- スキャナの設定で[256階調グレー]、[24ビットカラー]以外のモードが選択されているとき、[JPEG]を選択して[OK]ボタンをクリックするとエラーが表示されます。エラーが表示されたときは、ファイル形式を変更するか、スキャナのモードを変更してください。

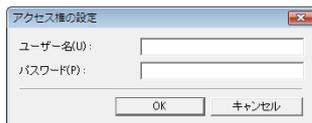


[設定] ボタン

ファイル形式で、[TIFF]または[PDF]を選択した場合に有効になり、それぞれの設定ダイアログボックスを表示します。

[アクセス権の設定] ボタン

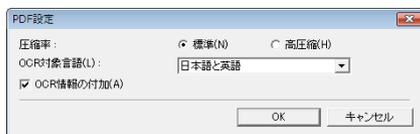
[ピクチャフォルダに保存する]チェックボックスをオフにしたときに有効になり、保存場所で指定したネットワーク上の共有フォルダにアクセスするためのユーザー名とパスワードを設定します。



重要 ネットワーク上の共有フォルダには、アクセス権を設定して利用者を制限している場合があります。この場合、ユーザー名とパスワードを入力しなければ共有フォルダにアクセスすることができません。コンピュータの管理者に共有フォルダに設定されているアクセス権を確認し、ユーザー名とパスワードを入力します。

■ [PDF 設定] ダイアログボックスの設定

[PDF 設定] ダイアログボックスでは以下の設定を行います。



圧縮率

PDF ファイルの圧縮率を [標準] と [高圧縮] から選択します。



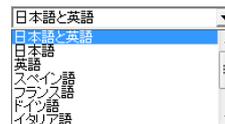
- [標準] を選択すると、標準の圧縮率で保存されます。
- [高圧縮] を選択すると、ファイルが高圧縮で保存されます。画質は若干劣化しますがファイルのサイズは小さくなります。



重要 圧縮率の設定は、スキャナ設定時に指定した読み取りのモードが [256 階調グレー] または [24 ビットカラー] の場合に有効です。読み取りのモードで [白黒]、[誤差拡散] などの 2 値画像を選択した場合、読み取る原稿によりファイルのサイズが変わります。

OCR 対象言語

[OCR 情報の付加] チェックボックスをオンにしたとき、読み取る活字の対象となる言語をリストボックスの中から選択します。



ヒント OCR 情報を付加した PDF ファイル (*.pdf) には、画像として取り込まれた原稿の文字列が文字認識されてテキストデータとして保存されています。

■ 「TIFF 設定」ダイアログボックスの設定

[TIFF 設定] ダイアログボックスでは以下の設定を行います。



マルチ TIFF 設定

複数ページの原稿をスキャンしたときの画像ファイルの保存方法を設定します。



- [1ページ] を選択すると、1ページ/1ファイルで画像ファイルが保存されます。
- [複数ページ] を選択すると、全ページが 1 つの画像ファイルに保存されます。

[圧縮する]チェックボックス

このチェックボックスをオンにすると、画像ファイルが圧縮されて保存されます。画像の種類が白黒 2 値の場合「CCITT_グループ 4」、画像の種類がグレーおよびカラーの場合は「JPEG」で圧縮されます。このチェックボックスをオフにした場合、保存されるファイルサイズが大きくなります。



- 「CCITT_グループ 4」は、FAX 機器などのデータ通信で使用されている圧縮形式で、白黒 2 値画像の圧縮形式として使用されます。
- 「JPEG」は、グレースケールやカラー画像の保存に使用されている圧縮形式です。「圧縮する」を選択した場合は、JPEG ファイルの標準の圧縮率が適用されます。

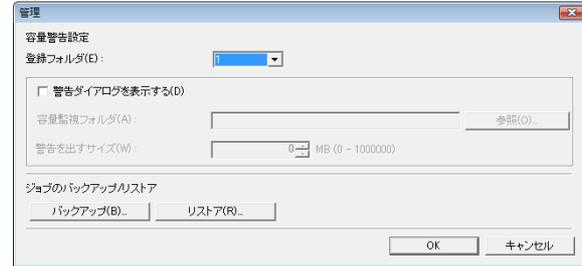


重要

お使いのアプリケーションが上記の圧縮形式に対応していない場合、スキャンした画像ファイルが開けないことがあります。このようなときは「圧縮する」をオフに変更してスキャンしてください。

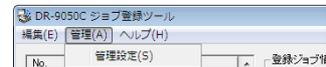
「管理」ダイアログボックス

「管理」ダイアログボックスでは、画像を保存するフォルダの監視とジョブデータのバックアップについて設定します。



■ 「管理」ダイアログボックスの開き方

「管理」ダイアログボックスは、管理メニューの「管理設定」をクリックして開きます。



■ 容量警告の設定

容量警告設定は、画像ファイルを保存するフォルダをあらかじめ特定しておき、特定したフォルダに対して保存できる容量を設定します。スキャン開始時または、スキャン中にファイルの総容量が設定したサイズを超えたときに警告メッセージを表示します。



登録フォルダ

容量警告設定は、最大5つのフォルダに設定することができ、[登録フォルダ] で登録するフォルダの番号（1-5）を選択します。



[警告ダイアログを表示する]チェックボックス

選択した登録フォルダの番号に対して容量制限を行う場合にチェックし、容量制限を監視するフォルダの指定と警告を出すサイズを設定します。

容量監視フォルダ

容量制限を行うフォルダを指定します。

警告を出すサイズ

指定したフォルダに保存されるすべてのファイルの合計の上限サイズを入力します。



重要

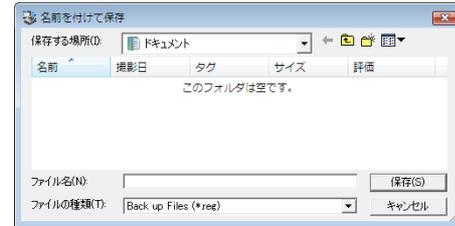
- CD-Rなどの媒体に保存するときは、媒体に保存できる容量を指定します。
- 容量制限が有効になっている場合、設定されたフォルダの中のファイルの総合計が上限サイズを超えていると、スキャン開始時に警告メッセージが表示されます。
- 警告が表示されたときは、メッセージに従い、そのまま継続するか、保存先を変更してスキャンを行ってください。

■ ジョブのバックアップの設定

ジョブのバックアップは、登録したジョブのバックアップと、複数のユーザーでWindowsにログインして使用するときや本機を複数台使用しているときなど異なる環境で同じジョブを使用するときに設定します。

[バックアップ]ボタン

登録したジョブデータのバックアップファイル(*.reg)を任意のフォルダに書き出します。



[リストア]ボタン

書き出したバックアップファイル(*.reg)を読み込んで、ジョブデータを復元します。



ヒント

登録されているジョブNo. と、バックアップファイルに同じジョブNo. がある場合、バックアップファイルのデータが登録されているジョブに上書きされます。

第 10 章 こんなときは

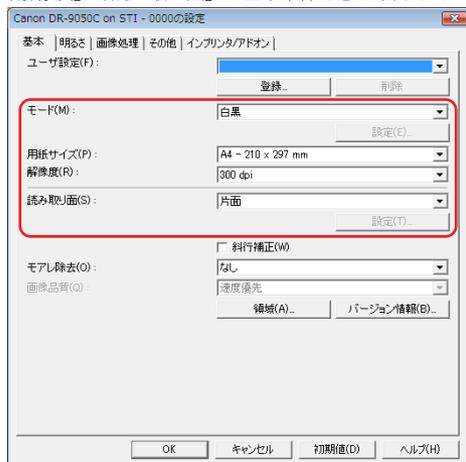
1. 基本条件の設定について	10-2
読み取りの基本条件の確認	10-2
2. こんなときは	10-3
用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り	10-3
スキャン領域の指定	10-4
目的に合わせたスキャナ設定	10-5
設定の登録	10-9

1. 基本条件の設定について

読み取りの設定を行う際に最低必要となる基本設定の項目の概略について説明します。設定の詳細については「第8章 ISIS/TWAINドライバの設定」を参照してください。

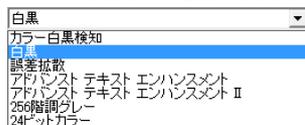
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、基本タブで「モード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



モード

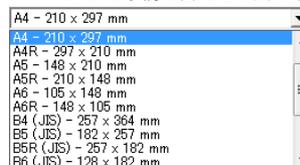
スキャンするモードを選択します。



- [アドバンスドテキストエンハンスメント] は、文字の周りの地色や背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。
- [カラー白黒検知] は、カラー原稿の場合はカラー画像、モノクロ原稿のときは白黒画像で保存します。

用紙サイズ

スキャンする原稿に合わせて読み取りサイズを選択します。



[自動検知] を選択すると、原稿のエッジを検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

解像度

スキャンする解像度を選択します。



解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなります。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



- 読み取り面を [白紙をスキップする] にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。
- [半折] は、原稿の両面をスキャンしてできた表裏の画像を1枚の画像に合成します。

2. こんなときは

読み取りの設定を行う際の、目的に合わせて設定する項目と概略について説明します。設定の詳細については「第8章 ISIS/TWAINドライバの設定」を参照してください。

用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

● 432mm より長い原稿の読み取り（長尺モード）

432mm より長い原稿を読み取るときは、本機の設定を長尺モードに設定し、用紙サイズの設定を「自動検知」に設定することにより3,000mm まで長さの原稿を読み取ることができます。

1. ユーザーモードで本機の「長尺モード」の設定を [ON1] または [ON2] にします。(→P.3-4「長尺モードの設定」)

チョウシ ャク モード
ON2 [ON1] OFF

2. 読み取りサイズを「自動検知」にして読み取ります。



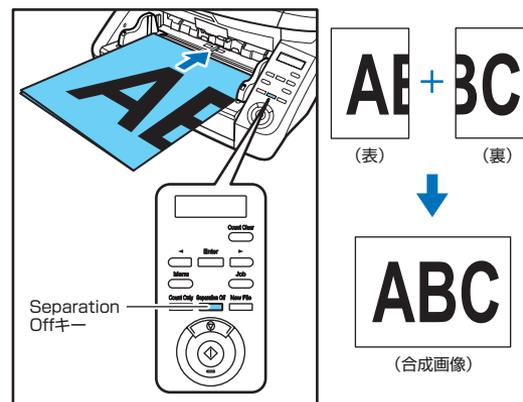
重要

- 長い原稿をスキャンするときは、原稿を1枚ずつセットしてスキャンしてください。
- 長尺モードを [ON1] に設定してスキャンする場合、読み取りモードをカラー、画像品質を「画質優先」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、白黒にしたり、画像品質を低くしてスキャンしてください。
- 長尺モードを [ON2] に設定してスキャンする場合、400/600dpi でスキャンしたり、読み取りモードをカラー、読み取り面を「両面」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、解像度を低くしたり、白黒にしたり、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。

- 長尺モードでスキャンする場合、「高画質モアレ除去」、「斜行補正」および画像回転の「90度」または「270度」は使用できません。

● 給紙口より幅の広い原稿の読み取り（半折りスキャン）

給紙口より幅の広い原稿を読み取るときは、原稿を2つ折りにして給紙トレイにセットし、読み取り面の設定を「半折り」に設定することにより給紙口より幅の広い原稿を読み取ることができます。(→P.4-6)

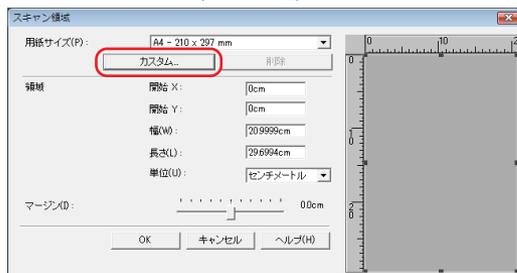


ヒント

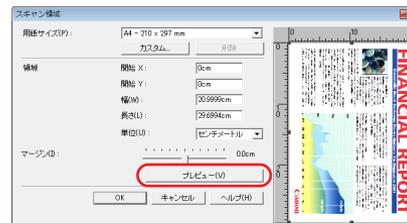
半折りスキャンでは、長尺モードとの組み合わせにより最大でA1サイズの原稿をスキャンすることができます。

● 用紙サイズに登録されていない非定形サイズの登録

用紙サイズに登録されていない非定形サイズの原稿は、基本タブの [領域] ボタンから開く [スキャン領域] ダイアログボックスの [用紙サイズ] の設定で、カスタム用紙サイズとして名前を付けて登録することができます。(→ P.8-12)



- TWAINドライバでは、領域を指定する原稿をセットして [プレビュー] ボタンを押すと原稿をスキャンして領域ウィンドウにプレビュー画像を表示します。表示されたプレビュー画像から領域を指定することができます。



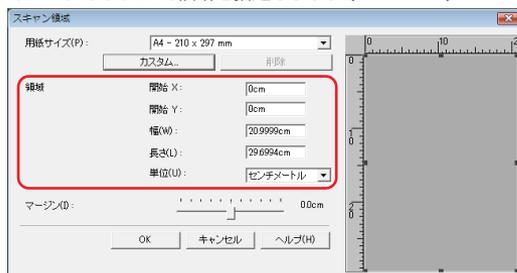
- CapturePerfect 3.0では、最後にスキャンした画像がプレビューウィンドウに表示されます。領域を設定する原稿を「スキャン」ページでスキャンすると、プレビューウィンドウに画像を表示させることができます。

スキャン領域の指定

原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

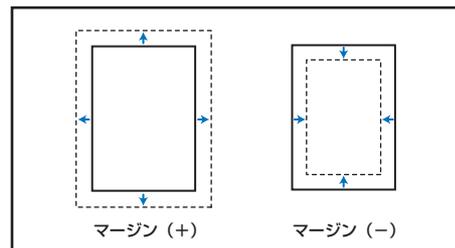
● 領域指定

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、スキャン領域ダイアログボックスで領域を指定します。(→ P.8-12)



● マージン調整

原稿がずれて画像が欠けたり、画像の周りに黒い枠ができるときはマージンでスキャンする領域を調整します。(→ P.8-13)

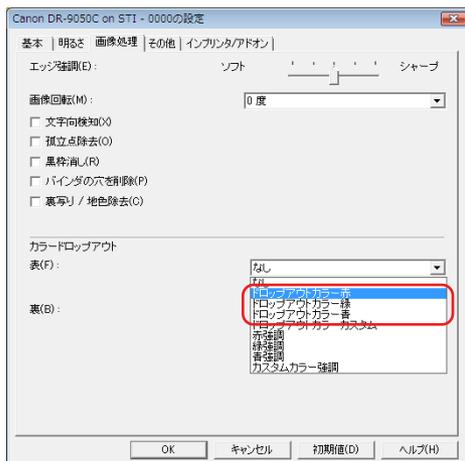


目的に合わせたスキャナ設定

スキャンする目的に合わせてスキャン条件を設定します。

- 色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい。

画像処理タブにあるカラードロップアウトの設定でドロップアウトさせる色(赤、青、緑)を指定すると、指定した色がスキャンされません。(→P.8-17)



- 特定の色を強調させたい。

画像処理タブにあるカラードロップアウトの設定で強調させる色(赤、青、緑)を指定すると、指定した色が強調されます。



- 中間色を読み飛ばし、または強調させたい。

画像処理タブにあるカラードロップアウトの設定でカスタムカラーを指定します。

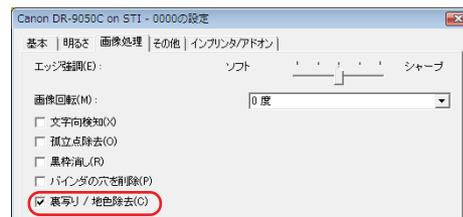


「設定」ボタンをクリックすると「色の設定」ダイアログボックスが表示され、色の範囲を指定して中間色をドロップアウト、または強調することができます。



- 薄紙の裏面の文字などの写り込み(裏写り)や原稿の地色を除去したい。

画像処理タブで「裏写り/地色除去」をチェックします。薄紙での裏写りや地色が除去されます。(→P.8-17)



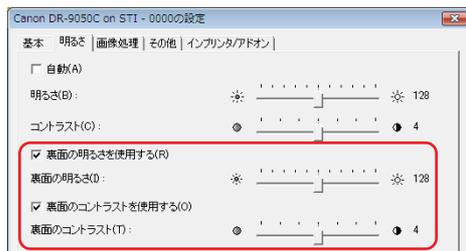
- 画像の輪郭をはっきりさせたい。

画像処理タブでエッジ強調の設定を調整します。(→ P.8-16)



- 原稿の表裏の濃淡に差がある原稿をスキャンするときに表裏の明るさを変えてスキャンしたい。

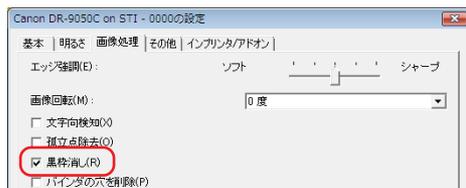
明るさタブで、裏面の明るさを設定します。(→ P.8-14)



アドバンステキストエンハンスメントでスキャンするときは、裏面の明るさを変更できません。

- 原稿の周りにできる黒い枠を除去したい。

画像処理タブで [黒枠消し] をチェックします。スキャンしたときにできる原稿の周りの黒い枠の部分が削除されます。



- 雑誌などのカラー写真を低解像度でスキャンしたときにできるモアレを低減したい。

基本タブにあるモアレ除去を設定すると、カラー写真を低解像度でスキャンしたときに発生するモアレを押さえることができます。(→ P.8-9)



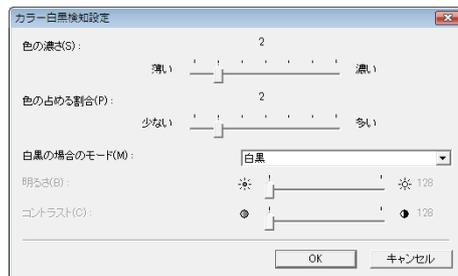
モアレ除去は解像度が300dpi以下のときに有効になり、[高速モアレ除去]は解像度が240dpi以下のときに表示されます。

- 白黒原稿とカラー原稿が混在した原稿をスキャンするとき
に白黒画像とカラー画像に分けて保存したい。

基本タブにあるモードの設定を [カラー白黒検知] にしてスキャンすると、原稿の色を検知して白黒画像とカラー画像に分けて保存されます。(→ P.8-7)



カラー白黒検知を選択すると [設定] ボタンが有効になり、カラー原稿を判断するための設定と、白黒と判断したときのモードを選択します。(→ P.8-11)



- スキャンした画像を白黒反転させたい。(TWAINドライバのみ)

画像処理タブにある [白黒反転] をチェックします。スキャンした画像を白黒反転して出力します。(→ P.8-16)

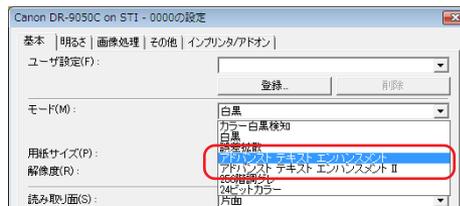


ISIS ドライバには白黒反転機能はありません。

ヒント

- 背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい。

基本タブにあるモードの設定で [アドバンステキストエンハンスメント] を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。(→ P.8-7)

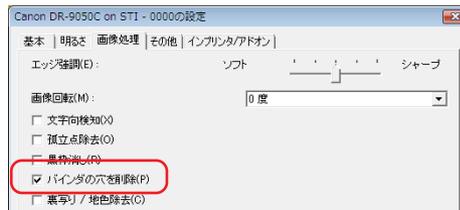


[アドバンステキストエンハンスメントII] は解像度が 300dpi 以下のときに表示されます。

ヒント

- バインダに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い穴の部分を削除したい。

画像処理タブで [バインダの穴を削除] をチェックします。原稿の穴の開いた黒い部分が削除されます。(→ P.8-17)



- 文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい。

画像処理タブにある「文字向検知」をチェックします。
(→ P.8-16)



原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるようにスキャンしたが画像を 90 度単位で回転させます。

文字の向き				
出力画像				

ヒント 「文字向検知」をチェックしたときは、画像回転が使用できません。

- 横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい。

画像処理タブにある「画像回転」で回転させる角度を指定します。
(→ P.8-16)

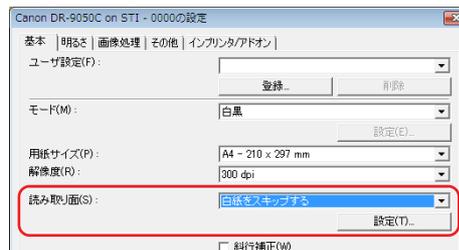


ヒント セットした原稿の向きと指定した角度によって画像が以下のように回転します。

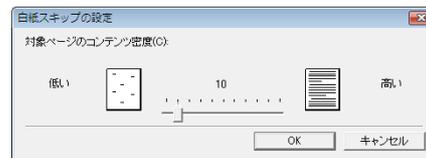
原稿の向き				
画像回転	0度	90度	180度	270度
出力画像				

- 両面原稿の間にある白紙ページの画像を削除したい。

基本タブにある読み取り面の設定を「白紙をスキップする」にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。(→ P.8-9)



ヒント 白紙スキップを選択すると「設定」ボタンが有効になり、白紙と判断するレベルが調整できます。

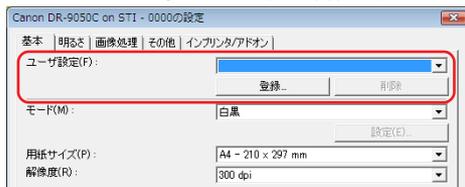


設定の登録

設定したスキャン条件を登録して次回も使用することができます。

■ スキャン条件の登録

基本タブのユーザ設定で、スキャン条件に名前を付けて登録します。登録したスキャン条件を使用するときは、登録した名前を選択することにより登録されている設定条件が反映されます。



Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER